

# 資料

## 目次

|   |     |
|---|-----|
| 教師用単元シートの作成・活用について                                | 1   |
| 児童用学習シートの作成・活用について                                | 2   |
| 低学年 授業実践① 第2学年 しつもんしあって、くわしくかんがえよう「あったらいいな、こんなもの」 |     |
| 指導案   | 3   |
| 教師用単元シート  | 19  |
| 児童用学習シート  | 21  |
| 授業実践② 第2学年 みんなで話をつなげよう「そうだんにのってください」              |     |
| 指導案   | 30  |
| 教師用単元シート  | 45  |
| 児童用学習シート  | 47  |
| 中学年 授業実践① 第4学年 対話の練習をしよう「あなたならどうする」               |     |
| 指導案   | 55  |
| 教師用単元シート  | 64  |
| 児童用学習シート  | 65  |
| 授業実践② 第4学年 役わりをいしきしながら話し合おう「クラスみんなで決めるには」         |     |
| 指導案   | 68  |
| 教師用単元シート  | 84  |
| 児童用学習シート  | 86  |
| 高学年 授業実践① 第6学年 対話の練習をしよう 「いちばん大事なものは」             |     |
| 指導案   | 94  |
| 教師用単元シート  | 103 |
| 児童用学習シート  | 104 |
| 授業実践② 第6学年 目的や条件に応じて、計画的に話し合おう「みんなで楽しく過ごすために」     |     |
| 指導案   | 109 |
| 教師用単元シート  | 122 |
| 児童用学習シート  | 124 |

※「話し合い」と「話し合い」の表記について

学習指導要領の表記を基に、基本的には「話し合い」としているが、教科書の表記は「話し合い」になっているため、児童に関わる部分（「めあて」「板書計画」「児童用学習シート」）では、「話し合い」を使用している。

# 教師用単元シートの作成・活用について

単元シート「みんなで楽しく過ごすために」

単元名または教材名 分かりやすい方を選んで記入

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                                |
|--|--|--|
| ①情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(1)イ) | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)<br>②「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) | ①積極的に、考えを広げたりまとめたりしながら、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 |

評価規準を記入します。当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項の文末を、「～している。」として作成します。[思考力、判断力、表現力等]は、冒頭に、指導する一領域を「(領域名)において、」と明記します。

|   | 学習活動   | 「おおむね満足できる」状況(B)  | 「努力を要する」状況(C)への手立て   |
|---|--|---|--|
| 1 | 議題を確かめ、目的と条件について考えをもつ活動を通して、学習の見通しをもつ。                       | 図などによる語句と語句との表し方を理解している。(知①)  | 教科書や板書を参考にするよう声を掛ける。   |
|   | 主な学習活動を記入します。  | 評価規準に照らし合わせて、本時の「おおむね満足できる」状況(B)の具体的な姿を記入します。   | 「努力を要する」状況(C)の児童への支援を具体的に記入します。  |
|   |  | 目的や条件に応じて、議題に関わる課題意識を明確にし、見通しをもって話し合おうとしている。(主①)  | 教科書や板書を参考にするよう声を掛ける。   |
| 2 | 進行計画と話し合いのポイントを確認し、グループの中で役割を決め、主張や理由、根拠が明確になるように自分の考えをまとめる。 | 自分の考えを、主張、理由、根拠に分けて、図などで整理している。(知①)   | 前時の図などによる語句と語句の表し方を示す。   |
|   | 授業後に、前時に見取った児童の様子や児童用学習シートの記入状況を基に、学習活動や留意点を追記するスペースです。      | 授業中に、質的な高まりや深まりをもっている児童とその様子をメモするスペースです。<br><br>授業後、児童用学習シートを確認して、質的な高まりや深まりをもっている児童をメモします。 | 努力を要する児童や支援をした児童と支援内容や様子をメモするスペースです。<br><br>授業後の児童用学習シートの記入から、「努力を要する」状況の児童をメモします。 |
|   |  | 授業後、このスペースでの記入を基に、児童用学習シートの「先生より」の枠に、助言や励ましを記入します。  |  |
|   |  | 目的や条件に沿った計画的な話し合いのために、主張することを決め、伝える内容を考えている。(思②)  | 教科書や板書で進行計画を確認するよう伝え、主張をまとめられるよう、例や選択肢を示したり担任が聞き取ったりする。                            |

「そうだんにのつてくださる」② 名前

第一時は、空欄にしておきます。  
第二時以降は、第一時に児童と確認した単元の課題を入れておきます。

たんげんのかだい

みんなで話をつなげて、そうだんことを話し合おう。

めあて

授業の始めに、児童と確認しためあてを記入できるようにしておきます。

友だちにそうだんしたいわだいを考えよう(思いつくだけ書いてみよう。)

学習活動や「おおむね満足できる」状況(B)を基にした活動や発問を設定します。本時の評価ができる内容を設定することが大切です。  
記述内容、発達段階や児童の実態に応じて、枠を付けたり、罫線を引いたりすることで、児童の取組の向上につながります。

まとめ

児童から出てきた言葉を使ったまとめを記入できるようにしておきます。

ふりかえり

振り返りの欄を設けることで、毎時間の振り返りを確実にできるようにします。

先生より

授業中の見取りや児童用学習シートの記述を基に助言を記入します。

## 国語科学習指導案

令和3年7月5日（月）～14日（水） 2年1組教室 指導者 山本 綾乃

### 1 単元名 しつもんをしあって、くわしく考えよう「あったらいいな、こんなもの」

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の「丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。（知識及び技能（1）キ）」「身近なことや経験したことなどから話題を集め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。（思考力・判断力・表現力等A（1）ア）」「話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。（思考力・判断力・表現力等A（1）エ）」を受けて設定したものである。

児童は、自分の考えや思いを話したり、話を聞いて感想を話したり質問したりする学習を、1年時から積み重ねてきている。2年上巻「ともだちをさがそう」では、大事なことを落とさずに、話したり聞いたりする学習をした。本単元では、その学習を生かしながら、大事なことを考えて質問し相手の考えを引き出したり、伝え合うために必要なことを選んで話したりできるようにしていきたい。

指導事項に関わる内容としては、「あったらいいな」と思うものを考え、それについて話すのに必要なことを選んだり、友達の説明を聞いて質問や感想を述べたりすることを学習する。聞き手として、「相手の考えを詳しく聞くために、大事なことは何かを考えて質問すること」が活動の中心となる。

言語活動に関わる内容としては、自分にとって「あったらいいな」と思うものについて、友達と話し合う活動である。「あったらいいなと思うわけ」「はたらき（できること）」「形、色、大きさ」などの観点を示し聞き手はどのような質問をすればよいか分かるようにする。話し手の「あったらいいな」と思うものが友達と話し合うことによってより具体的な形になっていくと考える。

#### (2) 指導方針

- ・教師が、学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートを作成する。授業時間内の児童の見取りや評価、「努力を要する」（C）の児童に対する授業中や授業後の支援に活用する。
- ・児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことのできる児童用学習シートを作成する。単位時間ごとに児童が記入し、自己の学びの整理や学んだ内容の再確認などに活用できるようにする。
- ・普段の生活や今までの経験の中で「あったらいいな」と思うものを考えて説明したり、説明を聞いて質問や感想を述べたりする言語活動を設定する。
- ・発達の段階を踏まえ、「あったらいいな」と思うものを絵で表現する活動を取り入れる。
- ・これまでの学習や経験を振り返り、話すときや聞くときに気を付けることを全体で確認する。
- ・教師用単元シートでの見取りを生かして児童用学習シートに助言を記入したり、児童用単元シートの記述から児童の実態を踏まえて学習活動を再考し教師用単元シートの学習活動に加筆したりするなど、二つのシートをつなげる指導の工夫をする。
- ・二人組の話合いを繰り返していくことで、より詳しく具体的なものにして、発表会では「あったらいいな」と思うものを詳しく伝えられるようにする。
- ・自分の考えで足りなかったものに気付いたり、考えを深めたりできるよう、質問の観点を示してから、二人組の話合いに入れるようにする。

- ・質問をするときには、よいところを伝えてから質問をすることや、否定的な表現をしないように確認する。
- ・友達と話し合った時のメモの中から、伝えたいことを選んでメモを作り発表できるようにする。
- ・発表会はグループで行うこととし、二人組の話し合いをした児童が同じグループにならないように配慮する。

### 3 研究との関わり

平成28年12月に、中央教育審議会において、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が示された。そこでは、新しい学習指導要領等に向けて、改善すべき事項をまとめ、枠組みを考えていくことが必要となる点の一つとして、「『何が身に付いたか』（学習評価の充実）」を挙げている。それを受けて、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月）では、学習評価の改善の基本的な方向性として、「児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと」「教師の指導改善につながるものにしていくこと」が示された。それらの答申や報告などを踏まえて国立教育政策研究所で作成された「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（令和2年3月）に、「学習指導要領改訂の趣旨を実現するためには、学習評価の在り方が極めて重要であり、すなわち、学習評価を真に意味あるものとし、指導と評価の一体化を実現することがますます求められている」とある。単に評価をして終わりにすることなく、毎時間の学習評価を充実させ授業改善につなげることが必要である。

小学校学習指導要領（平成29年3月公示）では、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理し、各教科等でのような資質・能力の育成を目指すのが明確化された。そして、教育目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育むことが求められている。

令和3年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）には、国語の授業改善のポイントとして、「ねらいを明確にした交流活動を設定」することが掲げられている。学びを深める交流活動を行うためには、相手に伝わるように話したり、話し手の伝えたいことの内容を捉えて聞いたりする力が不可欠であり、「話すこと・聞くこと」の指導の充実が重要であると考ええる。

研究協力校では、「話すこと・聞くこと」の力の個人差が大きく、自分の考えを相手に伝わるように話したり、相手の意図していることや話の要点を考えながら聞いたりすることが難しい児童もいる。教師側の課題としては、「話すこと・聞くこと」の学習場面で単元を通して必要な評価を行うことが難しく、指導改善につなげることが難しい現状がある。これらの課題からも、教師が毎時間の評価を指導改善につなげ、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高める工夫が必要であると考ええる。

以上のことから、本研究は、小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域の含まれる単元での指導において、教師が学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートと児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことができる児童用学習シートをつなげる指導の工夫を行い、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高められることを実践を通して明らかにしていくことをねらいとしている。そのため、本単元の学習を進める中で、教師用単元シートと児童用学習シートを活用し指導改善を図っていくことを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まったかを検証するものである。

### 4 単元目標

- 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うことができる。（知識及び技能）
- 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話し手の内容を捉えて感想をもったり、伝え合うために必要な事柄を選んだりすることができる。（思考力・判断力・表現力等）

○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

## 5 指導と評価の計画（全8時間予定）

●指導に生かす評価

○評定に用いる評価

|  |               |   |                |   |   |  |
|--|---------------|---|----------------|---|---|--|
| 評価<br>規<br>準                                     | 知識・技能         | ①丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。<br>（（1）キ）  |                |   |   |  |
|  | 思考・判断・表現      | ①「話すこと・聞くこと」において、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A（1）ア）<br>②「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A（1）エ） |                |   |   |  |
|  | 主体的に学習に取り組む態度 | ①粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。  |                |   |   |  |
| 時程   | 過程            | ○ねらい<br>めあて   | 評価の観点<br>知 思 態 |   |   | 評価項目<br>〈方法〉   |
| 第1時  | つかむ           | ○「あったらいいな、こんなもの」発表会をする計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。  |                |   | ● | 例示された絵について話し合っ、学習の見通しをもち、「あったらいいな、こんなもの」発表会を行おうとしている。<br>〈観察、シート〉                          |
| 単元の課題<br>しつもんしあいくわしく考えて、「あったらいいな」と思うものをはっぴょうしよう。 |               |   |                |   |   |  |
| 第2時  | 追究する          | ○「あったらいいな」と思うものを絵で表す活動を通して、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにする。<br><br>「あったらいいな」と思うものを考え、絵にかこう。  |                | ● |   | 身近なことから想像を広げ、「あったらいいな」と思うものを考えて、言葉と絵で表している。<br>〈絵、シート〉                                     |
| 第3時  |               | ○手本の対話を聞いた後、話し合う活動を通して、考えをより詳しくするための質問や相手が話しやすい聞き方を捉えることができるようにする。<br><br>どうぐのせつめいがくわしくなるようなしつもんとあい手が話しやすい聞き方を考えよう。           |                | ● |   | 手本の対話を集中して聞いて、より詳しくするための質問や相手が話しやすい聞き方を捉えている。<br>〈観察、シート〉                                  |
| 第4時  |               | ○二人組で、考えた道具の形や色などについて質問し合う活動で、友達の話を中心して聞いたり内容を捉えたりすることができるようにする。<br><br>友だちとしつもんしあって、「あったらいいな」と思うものをくわしく考えよう。                 |                | ● | ● | 進んで友達に自分の感想を伝えたり質問したりしている。<br>〈観察、シート〉<br>友達の話を中心して聞き、内容に合った質問をしたり内容を捉えたりしている。<br>〈観察、シート〉 |
| 第5時  |               | ○二人組で、考えた道具についてより詳しく質問し合う活動で、友達の話を中心して聞いたり内容を捉えたりすることができるようにする。   |                | ● | ● | 進んで友達に自分の感想を伝えたり前時にしなかった新たな質問をしたり  |

|     |      |  |   |   |   |  |
|-----|------|--|---|---|---|--|
|     |      | うにする。  |   |   |   | している。〈観察、シート〉<br>友達の話を中心して聞き、内容に合った質問をしたり内容を捉えたりして詳しく考えている。〈観察、シート〉          |
| 第6時 |      | <p>友だちとしつもんしあって、「あったらいいな」と思うものをくわしく考えよう。</p> <p>○発表の仕方を確かめて、発表メモを作る活動を通して、発表をするために必要な事柄を選ぶことができるようにする。</p> <p>はっぴょうのしかたをしり、はっぴょうメモをつくろう。</p> | ● | ● |   | 普通の言葉と丁寧な言葉の使い分けを理解している。〈観察、シート〉<br>「あったらいいな」と思うものを発表するために、必要な事柄を選んでいる。〈シート〉 |
| 第7時 |      | <p>○グループで発表会をすることを通して、丁寧な言葉で発表したり、友達の話の内容を捉えながら聞き感想をもったりすることができるようにする。</p> <p>「あったらいいな、こんなもの」はっぴょう会をしよう。</p>                                 | ○ | ● |   | 丁寧な言葉で発表している。〈観察、映像〉<br>友達の話を中心して聞き、感想をもっている。〈シート〉                           |
| 第8時 | まとめる | <p>○単元全体を振り返る活動を通して、発表するときや聞くときに気を付けることを理解できるようにする。</p> <p>「あったらいいな、こんなもの」をふりかえって、できるようになったことをたしかめよう。</p>                                    |   | ○ | ○ | 話を聞くとときや質問するとき気を付けることをまとめている。〈観察、シート〉<br>学んだことをどのように生かしていくか考えている。〈シート〉       |

## 6 本時の展開（1/8）

- (1) **ねらい** 「あったらいいな、こんなもの」発表会をする計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 挿絵 CD
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|--|
| <p>1 教科書の挿絵を見て、できることやどのようなときに使うのかを考え、「あったらいいな、こんなもの」を伝え合う学習であることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>猫の言葉を話せる機械だ。猫と話したいときに使う。</li> <li>高く飛べる靴で、ボールが木に引っかかったときに使うと、ボールがとれる。</li> <li>楽しそう。</li> <li>何がいいかな。</li> </ul> | 15分 | <p>○できること、使う場面を想像させることで、単元の学習課題につなげていく。</p> <p>(C)◎興味をもてない児童には、教師が身近な経験を話し、興味を引きそうなものを例に挙げる。<br/>(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◎児童用学習シートに単元のめあてを記入するよう声を掛ける。</p> <p>○CDを使って手本となる発表の様子を聞かせることで、ゴールをイメージしやすくする。</p> <p>○どうすれば手本のように詳しく話すことができるか考える時間をとる。</p> |
| <p>しつもんしあいぐわしく考えて、「あったらいいな」と思うものをはっぴょうしよう。</p>   |     |  |
| <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初の時間だから、計画を立てる。</li> </ul>  |     | <p>○本時は単元の課題を理解し、どのような学習をしていくか見通しをもつことがめあてであることを</p>   |



|   |     |  |
|---|-----|--|
|   |     | <p>伝える。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>   |
| <p>「あったらいいな、こんなもの」はっぴょう会をするために、学しゅうけいかくを立てよう。</p>   |     |  |
| <p>3 学習の進め方を確認し、見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵に描くと分かりやすい。</li> <li>・分からないことは聞いてみるといいと思う。</li> <li>・話すことを書いておきたい。</li> <li>・発表会の準備</li> <li>・練習する。</li> </ul> | 25分 | <p>○児童とやり取りをしながら、単元の課題を解決するために必要なことを考えさせていく。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C)◎これまでの学習を想起させたり、教科書を参考にしたりするよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>○発表会までの過程で、特に「質問によって考えを深める」ことに重点を置くことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、学習計画を記入するよう声を掛ける。</p> <p>◇主体的に学習に取り組む態度①</p> <p>例示された絵について話し合っ、学習の見通しをもち、「あったらいいな、こんなもの」発表会を行おうとしている。(観察、シート)</p> <p>○1年生での学びを振り返らせる。</p> <p>◎児童用学習シートに気を付けることを記入するよう声を掛ける。</p> |
| <p>4 話すとき、聞くときに気を付けることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で</li> <li>・ゆっくり</li> <li>・話す人を見る。</li> <li>・最後まで聞く。</li> </ul>  |     |  |
| <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそうだから早くやりたい。</li> <li>・いろいろ考えたいな。</li> <li>・友達の話を聞くのが楽しみ。</li> <li>・何にしようか考える。</li> </ul>               | 5分  | <p>◎発表会について思っていることを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、「あったらいいな」と思うものの絵を描くことを伝える。</p>   |

板書計画

|  |  |   |   |   |                      |
|--|--|---|---|---|----------------------|
| <p>学しゅうけいかく</p> <p>① あったらいいなと思うものを、絵にかく。</p> <p>② しつものしかたをたしかめる。</p> <p>③ しつもんしあつてくわしく考える。</p> <p>④ はっぴょうのメモをつくる。</p> <p>⑤ はっぴょう会をして、かんそうをつたえあう。</p>   | <p>めあて「あったらいいな、こんなもの」はっぴょう会をするために、学しゅうけいかくを立てよう。</p> | <p>たんげんのめあて</p> <p>しつもんしあいくわしく考えて、「あったらいいな」と思うものはっぴょうしよう。</p> | <p>挿絵 (靴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高くとべるくつ</li> <li>・ 木にひっかかったボールをとれる。</li> </ul> | <p>挿絵 (猫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねこと話せる。</li> <li>・ たのしそう。</li> <li>・ ねこと話したいときにつかう。</li> </ul> | <p>あったらいいな、こんなもの</p> |
| <p>話すとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きなこえで</li> <li>・ ゆっくり</li> <li>・ はっきり</li> </ul> <p>聞くとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話す人を見て</li> <li>・ さいごまで聞く。</li> <li>・ わからないことは聞く。</li> </ul> |  |   |   |   |                      |

## 本時の展開（２／８）

- (1) **ねらい** 「あったらいいな」と思うものを絵で表す活動を通して、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 画用紙 例の絵
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|---|-----|--|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・前の時間は計画を立てた。<br>・「あったらいいな」と思うものを考える。<br>・絵で表す。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時に立てた学習計画を確認する。<br>○前時で掲示した挿絵を見せて、絵の大きさや活動中での使い方を伝える。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| 「あったらいいな」と思うものを考えて、絵にかこう。   |     |  |
| 2 「あったらいいな」と思うものを学級全体で考える。<br>・運動会で早く走れる靴がほしい。<br>・プールの時間に、すいすい泳げる水着があるといいな。<br><br>3 「あったらいいな」と思うものを個人で考え、絵に描く。<br>・何にしようかな。<br>・思いつかない。<br>・速く走れる靴<br>・ケーキが出てくる箱<br>・すいすい泳げる水着<br>・小さくなる車 | 30分 | ○道具の働きに焦点が当たるよう、「□□のときに△△する道具」という話型を指定する。<br>○用途ごとに道具を整理して板書し、道具の傾向を視覚的に捉えさせ、多様な意見を引き出す。<br>○児童の自由な発想を大切に、前向きな言葉掛けをする。<br>○黒板に例の絵を掲示したり、児童用学習シートへの書き方を示したりする。<br>◎児童用学習シートに、「使う場面」や「できること」などを書いてから絵に描くよう声を掛ける。<br>(C) ◎どのようなことをやってみたいか、何ができたらいと思うかを問い掛け、それに使えそうなものを例示するなどして一緒に検討する。（教師用単元シートにある手立て）<br>○画用紙の大きさに合わせて、なるべく大きく描くよう声を掛ける。<br>○道具を使っている様子でも、道具だけの絵でもよいこととする。<br>◎机間指導しながら、児童の取組を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>◇思考・判断・表現①<br>身近なことから想像を広げ、「あったらいいな」と思うものを考えて、言葉と絵で表している。〈観察、シート〉 |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・いろいろ考えて、絵が描けた。<br>・もう少し描きたいな。<br>・言葉が少なかった。  | 10分 | ◎「あったらいいな」と思うものを言葉と絵で表したことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、考えをより詳しくするための質問や相手が話しやすい聞き方を学習することを伝える。  |

## 板書計画

|  |   |                           |   |  |  |   |  |                      |
|--|---|---------------------------|---|--|--|---|--|----------------------|
| <p>まとめ どんなときになにをしたいかをもとに、「あったらいいな」と思うものを考えた。</p> | <p>ことばで書こう<br/>空をとびたいとき<br/>じゆうに高くとべる。<br/>かるい。</p> | <p>えにかこう<br/>羽の<br/>絵</p> | <p>・じどうではくほうき<br/>・よごれないぞうきん<br/>べんきよう<br/>・じどうで書けるえんぴつ</p> | <p>うんどう<br/>・すいすいおよげる水ぎ<br/>・はやくはしれるくつ<br/>そうじ</p> | <p>挿絵<br/>(猫)<br/>木にひっかかったボールをとるときに、<br/>高くとべるくつ</p> | <p>挿絵<br/>(靴)<br/>ねこと話したいときに、ねこのことばが<br/>わかるどうぐ</p> | <p>めあて「あったらいいな」と思うものを考えて、<br/>絵にかこう。</p> | <p>あったらいいな、こんなもの</p> |
|--|---|---------------------------|---|--|--|---|--|----------------------|

### 本時の展開 (3/8)

- (1) **ねらい** 手本の対話を聞いた後、話し合う活動を通して、考えをより詳しくするための質問や相手が話しやすい聞き方を捉えることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート C D
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|--|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・「あったらいいな」と思うものを考えた。<br>・絵を描いた。<br>・言葉も少し書けた。<br>・もっと詳しくしないと。<br>・質問を考えよう。                             | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は「あったらいいな」と思うものを考えて、言葉と絵で表したことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。                                       |
| <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうぐのせつめいがくわしくなるようなしつもと<br/>あい手が話しやすい聞きかたを考えよう。</p> </div> |     |  |
| 2 より詳しく説明するための質問と相手が話しやすい聞き方を考える。<br>・大きさ ・色<br>・よく聞く。 ・返事をする。   | 30分 | ○手本の対話を聞かせる前に、児童にどのような質問をしたいか、どんな風に聞きたいか考えをもたせるようにする。<br>◎児童用学習シートに、自分の考えを書くよう声を掛ける。   |
| 3 手本の対話を聞いて、より詳しく説明するための質問や相手が話しやすい聞き方を話し合う。<br>・大きさを聞いていた。<br>・形を聞いていた。<br>・できることを聞いていた。<br>・名前を聞いていた。<br>・「あったらいいな」と思うわけを聞         |     | ○聞き方で気を付けることを確認してから、手本の対話を聞かせる。<br>◎聞きながら、質問していることやよい聞き方だと思ったところを児童用学習シートに記入できるようにする。<br>(C) ◎聞き方の確認をして、何度か聞かせる。ヒントカードを用意してどの質問をしていたか考えやすいようにする。(教師用単元シートにある手立 |

|  |     |   |
|--|-----|---|
| いていた。<br>・「とても楽しそう」と言っていた。   |     | て)<br>◎机間指導しながら、児童の取組を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>○質問項目を児童の発言をもとに、①道具を考えた理由、②その道具の働き、③形や大きさについての3点を詳しく聞いていることを確認する。<br>○質問の内容だけでなく、リアクションや褒め言葉を入れるなど、聞き方によって相手が話しやすくなることに気付けるようにする。<br>◇思考・判断・表現②<br>手本の対話を集中して聞いて、より詳しくするための質問や相手が話しやすい聞き方を捉えている。〈観察、シート〉 |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・大きさ、わけ、できることを聞くと、詳しくなる。<br>・質問だけでなく、感想も言うといい。 | 10分 | ◎質問や聞き方について分かったことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、実際に質問し合って詳しく考えることを伝える。   |

#### 板書計画

|  |  |   |
|--|--|---|
| あったらしいな、こんなもの<br>めあて どうぐのせつめいがくわしくなるような<br>しつもとあい手が話しやすい聞きかたを考えよう。 | しつもんすること<br>・形<br>・大きさ<br>・できること<br>・「あったらしいな」と思うわけ<br>・名前<br>話の聞き方<br>・「楽しそう」と言っていた。<br>・「そうなんだ」と言っていた。 | まとめ<br>しつもんすること<br>・あったらしいなと思うわけ。<br>・できること（はたらき）<br>・形や色、大きさなど<br>話の聞き方<br>・ほめたり、かんそうを言ったり、うなずいたりする。 |
|--|--|---|

#### 本時の展開（4/8）

- (1) **ねらい** 二人組で、考えた道具の形や色などについて質問し合う活動で、友達の話を中心して聞いたり内容を捉えたりすることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 児童の絵
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|---|----|--|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・前の時間は質問することが分かった。<br>・今日は友達に質問しよう。 | 5分 | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、説明を詳しくするための質問や話しやすい聞き方を学習したことを確認する<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を |

|  |     |   |
|--|-----|---|
|  |     | <p>掛ける。</p> <p>○二人組の話合いの目的を明確にしておく。</p>   |
| <p>友だちとしつもんしあって、「あったらいいな」と思うものをくわしく考えよう。</p>   |     |   |
| <p>2 二人組の話合いの進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさを聞こう。</li> <li>・できることを聞こう。</li> <li>・感想を伝えよう。</li> </ul> <p>3 二人組の話合いで、お互いに質問し合って詳しく考える。</p> <p>Q 大きさはどれくらい。</p> <p>A 両手を広げたくらい。</p> <p>Q 名前は何か。</p> <p>A まだ決まってない。</p> <p>4 質問したことをメモしたり、質問に答えて詳しくなったことを付け加えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きさはこの前書いてないから、書いておこう。</li> <li>・名前を付けておこう。</li> </ul> <p>(一方の児童が考えたものについて3、4の活動を行っていき、その後、もう一方の児童の考えたものについて、3、4の活動を行う)</p> | 30分 | <p>◎前時の児童用学習シートを活用する。</p> <p>○前時でまとめた質問や聞き方を全員で確認する。</p> <p>○二人組によって時間のずれが生じると考えられるので、あらかじめ時間を区切ることを伝える。</p> <p>○絵を二人で見ながらおしゃべりをするような感覚で行うよう伝える。</p> <p>○児童の実態に合わせて、教師側で二人組を設定しておく。</p> <p>(C)◎前時で確認した質問内容のカードを用意し、その中から選んで質問できるようにする。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◎質問したことを本時の児童用学習シートに、質問に答えて詳しくなったことを第2時の児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>(C)◎聞き方を確認し、もっと知りたいと思ったことを相手に質問して確認したり、質問したことをメモしたりするように促す。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>○質問したことや答えたことを忘れてしまった場合は、再度相手に確認しながらメモしてよいことを伝える。</p> <p>◎机間指導しながら、児童の取組を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>◇主体的に学習に取り組む態度①</p> <p>進んで友達に自分の感想を伝えたり質問したりしている。〈観察、シート〉</p> <p>◇思考・判断・表現②</p> <p>友達の話を中心して聞き、内容に合った質問をしたり内容を捉えたりしている。〈観察、シート〉</p> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん質問できた。</li> <li>・友達が面白いものを考えていていいなと思った。</li> <li>・質問をしてもらって詳しく考えられた。</li> </ul>  | 10分 | <p>◎二人組で話し合ったことで、がんばったこと、分かったこと、できたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、相手を替え、また質問し合って詳しく考える学習をすることを伝える。</p>   |

## 板書計画

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <p>まとめ    できることとわけがつくくわえられた。</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>あつたらいいな、こんなもの</p> <p>めあて友だちとしつもんしあって、「あつたらいいな」と思うものをくわしく考えよう。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>しつもんすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「あつたらいいな」と思うわけ</li> <li>・ できること（はたらき）</li> <li>・ 形や色、大きさなど</li> </ul> <p>ほかにも考えて聞いてみよう。</p> <p>話の聞き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほめる。</li> <li>・ かんそうを言う。</li> <li>・ うなづく。</li> </ul> <p>しつもんしたことをかこう。</p> <p>しつもんしたことえてくわしくなったことをつけくわえよう。</p> </div> </div> |
|----------------------------------|---|

### 本時の展開（５／８）

- (1) **ねらい** 二人組で、考えた道具についてより詳しく質問し合う活動で、友達の話を中心して聞いたり内容を捉えたりすることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 児童の絵
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・ 予想される児童の反応  | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|---|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・ 前の時間は質問して詳しくなった。<br>・ 今日は違う友達に質問しよう。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、説明を詳しくするために質問し合ったことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。<br>○二人組の話合いの目的を明確にしておく。         |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">           友だちとしつもんしあって、「あつたらいいな」と思うものをくわしく考えよう。         </div> |     |   |
| 2 二人組の話合いの進め方を確認する。<br>・ 今日は、使う場所も聞こう。<br>・ いつ使うか聞こうかな。<br>・ 感想を伝えよう。  | 30分 | ○前々時でまとめた質問や聞き方を全員で確認する。<br>○前時の話合いの様子を児童に確認しながら、必要に応じて新たな質問や聞き方を付け加え、さらに詳しくなるような質問ができるように助言する。<br>○二人組によって時間のずれが生じると考えられるので、あらかじめ時間を区切ることを伝える。 |
| 3 二人組の話合いで、お互いに質問し合って詳しく考える。<br>Q 何色かな。<br>A 赤だよ。<br>Q いつ使うの。<br>A 寝たいときだよ。  |     | ○絵を二人で見ながらおしゃべりをするような感覚で行うよう伝える。<br>○児童の実態に合わせて、教師側で前時と違う二人組を設定しておく。<br>(C) ◎質問内容のカードを用意し、その中から選んで質問できるようにする。（教師用単元シートにある手立て）                   |
| 4 質問したことをメモしたり、質問に答えて詳しくなったことを付け加えたりする。<br>・ 名前を考えたから、書いておこう。  |     | ◎質問したことを本時の児童用学習シートに、質問に答えて詳しくなったことを第2時のシートに記入するよう声を掛ける。  |

|  |     |   |
|--|-----|---|
| <p>・使うのはお風呂の中だ。</p> <p>(一方の児童が考えたものについて3、4の活動が続けて行い、その後、もう一方の児童の考えたものについて、3、4の活動を行う)</p> |     | <p>(C)◎聞き方を確認し、もっと知りたいと思ったことを相手に質問して確認したり、質問したことをメモしたりするように促す。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>○質問したことや答えたことを忘れてしまった場合は、再度相手に確認しながらメモしてよいことを伝える。</p> <p>◎机間指導しながら、児童の取組を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>◇主体的に学習に取り組む態度①<br/>進んで友達に自分の感想を伝えたり前時にしなかった新たな質問をしたりしている。〈観察、シート〉</p> <p>◇思考・判断・表現②<br/>友達の話を中心して聞き、内容に合った質問をしたり内容を捉えたりして詳しく考えている。〈観察、シート〉</p> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <p>・昨日よりもっと詳しくなった。</p> <p>・いっぱい質問できた。</p> <p>・楽しい名前を考えた。</p> | 10分 | <p>◎二人組で話し合ったことで、がんばったこと、分かったこと、できたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、発表の仕方を確かめて発表メモを作ることを伝える。</p>   |

#### 板書計画

|                                    |   |  |  |
|------------------------------------|---|--|--|
| <p>まとめ</p> <p>つかうばしよをつけくわえられた。</p> | <p>話の聞き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほめる。</li> <li>・かんそうを言う。</li> <li>・うなずく。</li> <li>・えがお</li> </ul> <p>しつもんしたことをかこう。</p> <p>しつもんにこたえてくわしくなったことをつけくわえよう。</p> | <p>ほかにも考えてきいてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つかうばしよ</li> <li>・形や色、大きさなど</li> <li>・できること(はたらき)</li> <li>・「あつたらしいな」と思うわけ</li> </ul> <p>しつもんすること</p> | <p>あつたらしいな、こんなもの</p> <p>めあて友だちとしつもんしあつて、「あつたらしいな」と思うものをくわしく考えよう。</p> |
|------------------------------------|---|--|--|

#### 本時の展開 (6/8)

- (1) **ねらい** 発表の仕方を確かめて、発表メモを作る活動を通して、発表に必要な事柄を選ぶことができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 各自のタブレット CD
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て                                    |
|---|----|--|
| <p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>・質問をし合って、「あつたらしいな」と思うものの説明が詳しくなっ</p> | 5分 | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、説明を詳しくするために質問し合ったこ</p> |



|   |     |   |
|---|-----|---|
| <p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の準備をする。</li> <li>・話すメモがあるといい。</li> </ul>  |     | <p>とを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">はっぴょうのしかたを知り、はっぴょうメモをつくろう。</div>  |     |   |
| <p>2 手本の発表を聞いて、上手な話し方確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～です。」と言っている。</li> <li>・みんなの前で話すときは、丁寧な言い方をする。</li> <li>・先生や大人と話すとき</li> </ul> <p>3 発表メモを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を言おう。</li> <li>・できることを説明しよう。</li> <li>・わけは入れた方がいいな。</li> <li>・大きさは言わなくてもいいかな。</li> </ul> <p>4 手本の質問や感想を聞いて、上手な聞き方を考え話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいところを伝える。</li> <li>・感想を言う。</li> <li>・自分の考えを伝える。</li> </ul> | 30分 | <p>○手本の発表を聞かせる前に、発表のときに気を付けることを考える時間をとる。</p> <p>○ここでは、発表の部分のみ聞かせることで、「～です」「～ます」の言い方に気付けるようにする。</p> <p>○ここでは、普通の言葉と丁寧な言葉の使い分けに重点を置く。</p> <p>◎児童用学習シートに、発表メモを記入するよう声を掛ける。</p> <p>○第2時の児童用学習シートの記述の中から、自分が伝えたいことを選んでメモを作成するよう伝える。</p> <p>(C)◎メモを見て、一緒に話をしながら発表したいと思うことを選ぶようにする。（教師用単元シートにある手立て）</p> <p>◎机間指導しながら、児童の取組を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートに記録する。</p> <p>○メモができた児童には、話す様子をタブレットを使って撮影して見直し、直すところを考えて練習するよう伝える。</p> <p>○手本の質問や感想を聞かせる前に、どんな風に聞いてもらうとうれしいかを聞く。</p> <p>○興味をもって集中して聞くことで、質問や感想が出てくることに気付けるようにする。</p> <p>◇知識・技能①<br/>普通の言葉と丁寧な言葉の使い分けを理解している。〈観察、シート〉</p> <p>◇思考・判断・表現②<br/>「あったらいいな」と思うものを発表するために、必要な事柄を選んでいる。〈シート〉</p> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明したいことを選んで発表メモを作ることが大切だ。</li> <li>・全部入れると分かりにくいので、選んで書く。</li> </ul>  | 10分 | <p>◎発表メモを作って分かったことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、グループで「あったらいいな、こんなもの」発表会を行うことを伝える。</p>   |



## 板書計画

|  |   |
|--|---|
| <p>あつたらしいな、こんなもの</p> <p>めあて はつぴょうのし方をしり、はつぴょう<br/>メモをつくろう。</p> | <p>はつぴょうのし方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなに聞こえるこえで話す。</li> <li>聞いている人を見る。</li> <li>「～です。」「～ます。」で話す。</li> <li>できることをくわしく話す。</li> </ul> <p>ていねいなことば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの前ではつぴょうするとき</li> <li>先生やおとなと話すとき</li> </ul> <p>はつぴょうメモのつくり方</p> <p>つたえたいことをえらんでかく。</p> <p>みじかいことばでかく。</p> <p>はつぴょうの聞き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話している人を見る。</li> <li>うなずきながら聞く。</li> <li>自分の考えをつたえる。</li> <li>いいところをつたえる。</li> </ul> <p>まとめ はつぴょうメモは、友だちにつたえたい<br/>ことをえらんでかく。</p> |
|--|---|

## 本時の展開（7/8）

- (1) **ねらい** グループで発表会をすることを通して、丁寧な言葉で発表したり、友達の話の内容を捉えながら聞き感想をもったりすることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 各自の絵 各自のタブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|--|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・発表メモを作った。<br>・発表のときは、丁寧な言葉を使う。<br>・話す人を見て聞く。<br>・今日は発表会だ。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、発表の仕方を学習し、発表メモを作成したことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| 「あつたらしいな、こんなもの」はつぴょう会をしよう。   |     |  |
| 2 発表会の進め方を確認する。<br>①一人が発表する。<br>②聞く人は質問をしたり感想を伝えたりする。<br>発表者はそれに答える。<br>③聞く人は、感想を書く。<br>発表者は、映像を確認する。<br>・誰と発表するか分かった。<br>・よく聞いて、感想を書くんだな。<br>・タブレットで撮影するんだ。 |     | ○二人組の話合いをしていない児童を組ませて、グループを作る。<br>○発表会の進め方は、黒板に掲示し、児童がいつでも確認できるようにする。<br>○自分のタブレットの前で撮影しながら発表できるよう場の設定をする。<br>○絵の裏に貼ってあるメモを見ながらでよいが、なるべく前を向き聞く人たちを見て話すよう伝える。<br>◎発表が終わったら、聞いていた児童は児童用学習シートに感想を書くよう伝える。 |
| 3 「あつたらしいな、こんなもの」発表会を行い、感想を書く。   | 30分 | ○発表の感想が出にくい場合は、児童の感想でよいものを取り上げたり、教師自身が感想を伝えたり  |

|  |     |  |
|--|-----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきり話していていいと思った。</li> <li>・丁寧な言葉で発表できた。</li> <li>・～がよく分かった。</li> <li>・～のところが面白い。</li> <li>・～をもっと知りたかった。</li> </ul> |     | <p>して、言いやすい環境を作る。</p> <p>(C)◎丁寧な言葉で発表するよう声を掛ける。「おもしろそう」「自分なら」などの言葉を例示し、感想を伝えたり書いたりできるようにする。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◎グループを見てまわりながら、児童の発表の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>◇知識・技能①<br/>丁寧な言葉で発表している。〈観察、映像〉</p> <p>◇思考・判断・表現②<br/>友達の話集中して聞き、感想をもっている。〈シート〉</p> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表をよく聞いて、たくさん質問できた。</li> <li>・そのときは感想を言えなかったけど、よく考えて書けた。</li> </ul>                 | 10分 | <p>◎発表をしたこと、聞いたことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、この単元でできるようになったことを確かめることを伝える。</p>   |

#### 板書計画

|                                    |   |   |                |  |                      |
|------------------------------------|---|---|----------------|--|----------------------|
| <p>まとめ<br/>よく聞いて、しつもんやかんそうを言う。</p> | <p>③聞く人は、かんそうをプリントに書く。<br/>・話し方のよかったところ<br/>・話のないようについて<br/>※なるべくたくさん書こう。<br/>かんそうを書くあいだ、はっぴようしやは、タブレットをかくにんする。</p> | <p>はっぴよう会のすすめ方<br/>①はっぴようする人は、じぶんのタブレットの前に立って、ろくがボタンを押して、はっぴようする。<br/>②聞く人は、手をあげてしつもんしたり、かんそうを言ったりする。<br/>③聞く人は、かんそうをプリントに書く。</p> | <p>発表のグループ</p> | <p>めあて 「あつたらいいな、こんなもの」<br/>はっぴよう会をしよう。</p> | <p>あつたらいいな、こんなもの</p> |
|------------------------------------|---|---|----------------|--|----------------------|

#### 本時の展開（８／８）

- (1) **ねらい** 単元全体を振り返る活動を通して、発表するときや聞くときに気を付けることを理解できるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 第１～７時の児童用学習シート 各自のタブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応     | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て |
|--------------------------|----|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 | 5分 | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする     |

|   |     |   |
|---|-----|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あったらいいな、こんなもの」発表会をした。</li> <li>・上手に発表できた。</li> <li>・いっぱい質問した。</li> <li>・今日はまとめの時間だね。</li> </ul>  |     | <p>る。</p> <p>○前時は、「あったらいいな、こんなもの」発表会を行ったことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>   |
| <p>「あったらいいな、こんなもの」をふりかえって、できるようになったことをたしかめよう。</p>   |     |   |
| <p>2 質問の仕方や話の聞き方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具のできることを質問する。</li> <li>・形や大きさを聞く。</li> <li>・名前を聞く。</li> <li>・よく聞いて、言ったことを質問しないようにする。</li> <li>・集中して聞く。</li> </ul> <p>3 丁寧な言葉と普通の言葉の使い分けを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な言葉は、みんなの前で話すときに使う。</li> <li>・丁寧な言葉は、先生や大人に話すときに使う。</li> <li>・普通の言葉は、友達としゃべるときに使う。</li> </ul> <p>4 本単元で学んだことを今後どのように生かせるか考える。(一般化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科の話し合いでよく聞く。</li> <li>・授業中の発言は丁寧な言い方をする。</li> <li>・日直の話で話すことを考えておく。</li> </ul> | 30分 | <p>◎前時までの全ての児童用学習シートを返却し、それらを見返しながら単元の学習を振り返ることができるようにする。</p> <p>○必要に応じて、発表会の自分の映像を見て振り返ってもよいことを伝える。</p> <p>◎個で考え児童用学習シートに記入する時間を確保した後、全体で交流する時間をとる。</p> <p>(C) ◎これまでの児童用学習シートを見返すように促し、どのシートに書いてあるか一緒に確認する。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◎机間指導しながら、児童の取組を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>○二人組の話し合いのときと発表会のときの言い方の違いを考えさせる。</p> <p>(C) ◎普段の生活や他の教科での学習を想起するよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇思考・判断・表現②</p> <p>話を聞くときや質問するときに気を付けることをまとめている。〈観察、シート〉</p> <p>◇主体的に学習に取り組む態度①</p> <p>学んだことをどのように生かしていくか考えている。〈シート〉</p> |
| <p>5 単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の聞き方や質問の仕方が分かったので、これから気を付けていきたい。</li> <li>・みんなの前で話すときは、丁寧な言葉を使っていこう。</li> </ul>   | 10分 | <p>◎一般化したことを踏まえながら、単元を通して学んだことや感じたことを、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○なかなか書けない児童には、本時の学習を振り返るよう助言する。</p>  |

あつたらいいな、こんなもの

めあて「あつたらいいな、こんなもの」をふりかえって、できるようになったことをたしめよう。

しつもんするとき

- ・ できること、色や形などを聞く。
- ・ ともだちのいいところをつたえてから聞く。
- ・ 話をよく聞いて、しつもんする。

ていねいなことば ↑ ↓ ふつうのことば

- ・ みんなの前で話すとき
- ・ 友だちと話すとき
- ・ 先生や大人と話すとき

まとめ

しつもんするとき

- ・ できること、色や形などを聞く。
  - ・ 友だちのいいところをつたえてから聞く。
  - ・ 話をよく聞いて、しつもんする。
- ていねいなことば
- ・ みんなの前で話すとき
  - ・ 先生やおとなと話すとき

これからどんなふうにかしていきたいか。

- ・ 生かつかで話しあうときによく聞きたい。
- ・ じゅぎょう中、ていねいなことばをつかおう。
- ・ 日ちよくの話をきいてしつもんしてみよう。

単元シート「あったらいいな、こんなもの」

| 知識・技能                             | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                |
|-----------------------------------|---|--|
| ①丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。(1)キ) | ①「話すこと・聞くこと」において、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A (1) ア)<br>②「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A (1) エ) | ①粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。 |

|   | 学習活動  | おおむね満足できる (B)   | 努力を要する (C) への手立て   |
|---|---|---|--|
| 1 | ○「あったらいいな」と思うものについて、質問し合って詳しく考えるという学習の見通しをもつ。 | 例示された絵について話し合っ、学習の見通しをもち、「あったらいいな、こんなもの」発表会を行おうとしている。(主①) | 興味を引きそうなものを例に挙げて声を掛けたり、これまでの学習を想起させたりして、見通しをもたせる。            |
|   |   |   |  |
| 2 | ○「あったらいいな」と思うものを考えて絵に描く。                      | 「あったらいいな」と思うものについて考え、言葉と絵で表している。(思・判・表①)                  | どんなことをやってみたいか、何ができたらいいなと思うかを問い掛け、それに使えそうなものを例示するなどして一緒に検討する。 |
|   |   |   |  |
| 3 | ○考えをより詳しくするための質問や相手が話しやすい聞き方を話し合う。            | 手本の対話を集中して聞いて、より詳しくする質問や相手が話しやすい聞き方を捉えている。(思・判・表②)        | 聞き方の確認をして、何度も聞かせる。ヒントカードを用意して、どの質問をしていたかを考えやすいようにする。         |
|   |   |   |  |
| 4 | ○考えた道具の形や色、大きさ、働き、あったらいいと思う訳などについて、二人組で質問し合う。 | 進んで友達に自分の感想を伝えたり質問したりしている。(主①)                            | 前時で確認した質問内容のカードを用意し、その中から選んで質問できるようにする。                      |
|   |   |   |  |
|   |   | 友達の話を集中して聞き、内容に合った質問をしたり内容を捉えたりしている。(思・判・表②)              | 聞き方を確認し、もっと知りたいと思ったことを相手に質問して確認したり、質問に答えたことをメモしたりするように促す。    |
|   |   |   |  |

|   |                                     |  |   |
|---|-------------------------------------|--|---|
| 5 | ○考えた道具について、より詳しくなるように、二人組で質問し合う。    | 進んで友達に自分の感想を伝えたり前時にしなかった新たな質問をしたりしている。(主①)         | 質問内容のカードを用意し、その中から選んで質問できるようにする。                          |
|   |                                     |  |   |
|   |                                     | 友達の話を中心して聞き、内容に合った質問をしたり内容を捉えたりして詳しく考えている。(思・判・表②) | 聞き方を確認し、もっと知りたいと思ったことを相手に質問して確認したり、質問に答えたことをメモしたりするように促す。 |
|   |                                     |  |   |
| 6 | ○発表の仕方を確かめて、発表メモを作る。                | 普通の言葉と丁寧な言葉の使い分けを理解している。(知・技①)                     | 二人組の話合いと発表の言葉の違いをよく聞くよう促す。                                |
|   |                                     |  |   |
|   |                                     | 「あったらいいな」と思う物を発表するために、必要な事柄を選んでいる。(思・判・表①)         | メモを見て、一緒に話をしながら発表したいと思うことを選べるようにする。                       |
|   |                                     |  |   |
| 7 | ○グループで発表会を行う。                       | 丁寧な言葉で発表している。(知・技①)                                | 丁寧な言葉で発表するよう声を掛ける。  |
|   |                                     |  |   |
|   |                                     | 友達の話を中心して聞き、感想をもっている。(思・判・表②)                      | 「おもしろそう」「自分なら」などの言葉を例示し、感想を伝えたり書いたりできるようにする。              |
|   |                                     |  |   |
| 8 | ○学習を通して学んだことを振り返り、今後どのように生かせるかを考える。 | 話を聞いたり質問するときに気を付けることをまとめている。(思・判・表②)               | これまでの児童用学習シートを見返すように促し、どのシートに書いてあるか一緒に確認する。               |
|   |                                     |  |   |
|   |                                     | 学んだことをどのように生かしていくか考えている。(主①)                       | 普段の生活や他の教科での学習を想起するよう声を掛ける。                               |
|   |                                     |  |   |

「あたらしくな、いんなもの」① 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

学しゅうのけいさく

話すときに気を付けること

聞くときに気を付けること

うりかえり

先生より

「あたららな、いんなもの」② 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

月 日

月 日

月 日

おとめ

ういかえり

先生より



「あーだーらーな、いんなもの」③ 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

|      |      |
|------|------|
| しゅもん | 聞きかた |
|------|------|

しゅもんしてらたーん

聞きかたでーんを聴いたーん

おとめ

うりかえり

先生より

「あたららな、いんなもの」④ 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

先生の「あたららな」と  
思うものを聞いて、しゅもんした

おとめ

ふりかえり

先生より

「あつたららな、いんなもの」⑤ 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

先生の「あつたららな」と  
思うものを聞いて、しゅもんした

おとめ

ふりかえり

先生より

「あつたふらふな、いんなもの」⑥ 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

はつちのうさぎをひける人

はつちのうさぎ

まじめ

ういかえり

先生より

「あたらしいな、いんなもの」⑦ 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

先生の「あたらしいな」を聞いたかんそう

おしめ

ふりかえり

先生より

やんの「あーだーらーな」を聞いたかんぞう

やんの「あーだーらーな」を聞いたかんぞう

「あーだーらーな、いーなまの」⑧ 名前

たんげんのめあて ※二時間目以降は、記入しておく

めあて

話を聞くとき

しつやするとき

はなすとき

これから、しつやするとき、はなすときに、みんなの話し合いがつかえるか考えよう。

「あーだーらーな、いーなまの」のうーかえり

先生より

## 国語科学習指導案

令和3年10月26日～11月8日 2年1組教室 指導者 山本 綾乃

### 1 単元名 みんなで話をつなげよう「そうだんにのってください」

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の「共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。（知識及び技能（2）ア）」「互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。（思考力・判断力・表現力等A（1）オ）」「身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。（思考力・判断力・表現力等A（1）ア）」を受けて、設定したものである。

児童は、一対一の対話で尋ねたり応答したりする経験を1年生から積み重ね、「まず人の話を聞く。受け止めてうなずき、自分の考えを言う」という対話の基本を繰り返し学習してきている。2年上巻「あったらいいな、こんなもの」では、大事なことを考えて質問し相手の考えを引き出した、伝え合うために必要なことを選んで話したりする学習をした。本単元では、その学習を生かしながら、相談したいことを話題に、話合いの基盤となる「互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて、話をつなぐこと」の力を付けていきたい。

指導事項に関わる内容としては、相手の困りごとを受け止めた上で、関連した発言をして話をつないでいくことを学習する。相手の発言を受けて話をつなぐためには、相手の発言を聞いて、質問する、復唱して確かめる、共感を示す、感想を言うことなどが考えられる。相手の発言があつての自分の考えであること、答えを出すというより受け止めてつないでいくことを意識させ、話がつながることの楽しさやよさを実感できるようにすることが大切である。

言語活動に関わる内容としては、グループで友達の相談事について話し合う活動である。話合いの流れを学習した後、グループで順番に相談する人になって話し合うことが、「話合いの力」を育む上で重要な活動であると言える。

#### (2) 指導方針

- ・教師が、学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートを作成する。授業時間内の児童の見取りや評価、「努力を要する」(C)の児童に対する授業中や授業後の支援に活用する。
- ・児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことのできる児童用学習シートを作成する。単位時間ごとに児童が記入し、自己の学びの整理や学んだ内容の再確認などに活用できるようにする。
- ・相談にのるとあるが、解決を図るだけの話合いではなく、話をつなげることの経験が重要であることを確認する。
- ・相談内容は、互いに関心をもって聞き共有できる話題になるように、話題の決め方を確認し、ゆっくりと時間をかけてそれぞれがふさわしい話題をもつことができるようにする。
- ・自分で話題を出すことが難しい児童が選べるよう、具体的な話題を教師が複数用意しておく。
- ・自分の相談内容をどのように伝えるか考える時間を確保する。
- ・話合いの仕方を確認するために、付録のCDや動画を活用する。
- ・話し方、聞き方を確認してから話合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。
- ・話のつなげ方（質問・復唱・共感・感想など）を具体的に確認し、表にして掲示することで、いつでも見られるようにする。



- ・話のつなげ方の学習では、具体的なロールプレイングを行い、実際に言われてどう思ったかを確かめて学びを実感したり、話をつなげる練習をしたりできるようにする。
- ・教師用単元シートの記録を児童用学習シートの助言に生かしたり、児童用学習シートの記述から実態を捉えて学習活動の再考や留意点の加筆を行ったりするなど、二つのシートをつなげる指導を行う。
- ・授業中、児童への支援や見取り、その記録に、教師用単元シートを活用する。『『おおむね満足できる』状況（B）』の欄には、質的な高まりや深まりをもっている児童の名前や様子を、『『努力を要する』状況（C）への手立て』の欄には、支援を行った児童の名前と様子や具体的な手立てなどを記録する。
- ・児童用学習シートは授業後に集約し、児童の記述を評価に生かしたり、教師が授業中に見取った様子や児童の記述をもとに助言を記入したりする。
- ・授業中の見取りや児童の記述から児童の実態を踏まえて、学習活動を再考したり、特に留意すべき点を考えたりして、教師用単元シートの「学習活動」の欄に記入する。
- ・グループで話し合った後には、うまくいったところやできなかったことについて話し合い、課題を共有する時間を確保する。

### 3 研究との関わり

平成28年12月に、中央教育審議会において、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が示された。そこでは、新しい学習指導要領等に向けて、改善すべき事項をまとめ、枠組みを考えていくことが必要となる点の一つとして、『『何が身に付いたか』（学習評価の充実）』を挙げている。それを受けて、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月）では、学習評価の改善の基本的な方向性として、「児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと」「教師の指導改善につながるものにしていくこと」が示された。それらの答申や報告などを踏まえて国立教育政策研究所で作成された『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』（令和2年3月）に、「学習指導要領改訂の趣旨を実現するためには、学習評価の在り方が極めて重要であり、すなわち、学習評価を真に意味あるものとし、指導と評価の一体化を実現することがますます求められている」とある。単に評価をして終わりにすることなく、毎時間の学習評価を充実させ授業改善につなげる必要がある。

小学校学習指導要領（平成29年3月公示）では、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理し、各教科等でのような資質・能力の育成を目指すのが明確化された。そして、教育目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育むことが求められている。

令和3年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）には、国語の授業改善のポイントとして、「ねらいを明確にした交流活動を設定」することが掲げられている。学びを深める交流活動を行うためには、相手に伝わるように話したり、話し手の伝えたいことの中心を捉えて聞いたりする力が不可欠であり、「話すこと・聞くこと」の指導の充実が重要であると考え。

研究協力校では、「話すこと・聞くこと」の力の個人差が大きく、自分の考えを相手に伝わるように話したり、相手の意図していることや話の要点を考えながら聞いたりすることが難しい児童もいる。教師側の課題としては、「話すこと・聞くこと」の学習場面で単元を通して必要な評価を行うことが難しく、指導改善につなげるのが難しい現状がある。これらの課題からも、教師が毎時間の評価を指導改善につなげ、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高める工夫が必要であると考え。

以上のことから、本研究は、小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域の含まれる単元での指導において、教師が学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートと児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことができる児

童用学習シートをつなげる指導を行い、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高められることを実践を通して明らかにしていくことをねらいとしている。そのため、本単元の学習を進める中で、教師用学習シートと児童用学習シートを活用し指導改善を図っていくことを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まったかを検証するものである。

#### 4 単元の目標

- 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知識及び技能）
- 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐとともに、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

#### 5 指導と評価の計画（全8時間予定） ●指導に生かす評価 ○評価に用いる評価

|   |               |  |       |   |   |   |
|---|---------------|--|-------|---|---|---|
| 評価<br>規<br>準  | 知識・技能         | ①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）   |       |   |   |   |
|   | 思考・判断・表現      | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ）<br>②「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） |       |   |   |   |
|   | 主体的に学習に取り組む態度 | ①積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。  |       |   |   |   |
| 時程  | 過程            | ○ねらい<br>めあて  | 評価の観点 |   |   | 評価項目<br>〈方法〉                                    |
|   |               |  | 知     | 思 | 態 |   |
| 第1時   | つかむ           | ○相談事を話し合う計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。  |       |   | ● | 学習の見通しをもち、関心をもって相談事の話合いに取り組もうとしている。<br>〈観察・シート〉 |
| <div>単元の学習課題</div> <div>みんなで話をつなげて、そうだんごとについて話し合おう。</div>       |               |  |       |   |   |   |
| 第2時   | 追究する          | ○相談するにあたってふさわしい話題の選び方を話し合う活動を通して、話題を考えることができるようにする。  |       |   | ● | 相談するにあたってふさわしい話題を考えている。<br>〈観察・シート〉             |
| <div>【本時の学習課題】</div> <div>そうだんするわだいのえらび方をかくにんして、わだいを考えよう。</div> |               |  |       |   |   |   |
| 第3時   |               | ○相談事について話し合う活動を通して、ふさわしい話題を決めることができるようにする。   |       |   | ○ | 相談するにあたってふさわしい話題を決めている。<br>〈観察・シート〉             |
| <div>【本時の学習課題】</div> <div>考えを出し合うために、そうだんするわだいをきめよう。</div>      |               |  |       |   |   |   |

|     |      |   |   |   |   |
|-----|------|---|---|---|---|
| 第4時 |      | ○手本の話合いを聞く活動を通して、話合いの仕方を確認できるようにする。<br><b>[本時の学習課題]</b><br>話合いのし方をたしかめよう。                                     | ● |   | 話合いの仕方を理解している。〈観察・シート〉  |
| 第5時 |      | ○ロールプレイングを通して、質問・復唱・共感・感想などの話のつなげ方を確認できるようにする。<br><b>[本時の学習課題]</b><br>話のつなげ方をたしかめよう。                          |   | ● | 話のつなげ方を考えている。〈観察・シート〉   |
| 第6時 |      | ○相談に関心をもち、グループの友達と話をつなげて、話合いができるようにする。<br><b>[本時の学習課題]</b><br>友だちと話をつないで、そうだんごとを話し合おう。                        | ○ | ● | 順序に気を付けて話し合い、友達の考えとの相違を受け止めている。〈観察・シート〉<br>話をつなげて話し合っている。〈観察・シート〉 |
| 第7時 |      | ○相談に関心をもち、グループの友達とより上手に話をつなげて、話合いができるようにする。<br><b>[本時の学習課題]</b><br>友だちともっとじょうずに話をつないで、そうだんごとを話し合おう。           | ○ | ○ | 話をつなげて話し合っている。〈観察・シート〉<br>積極的に話をつなぎ話し合おうとしている。〈観察・シート〉            |
| 第8時 | まとめる | ○単元全体を振り返る活動を通して、話をつなぐ話合いの仕方をまとめることができるようにする。<br><b>[本時の学習課題]</b><br>「そうだんにのってください」をふりかえって、話をつなぐ話合いのし方をまとめよう。 |   | ○ | 話をつなぐ話合いの仕方をまとめている。〈シート〉<br>学んだことをどのように生かしていくか考えている。〈観察・シート〉      |

## 6 本時の展開（1／8）

- (1) **ねらい** 相談事を話し合う計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。
- (2) **準備** CD 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|--|
| 1 教師の話の聞いたり、単元名や教材名から学ぶことを想像したりして、単元の学習課題を設定する。<br>・話をつなげるって、どうすれよいのだろう。<br>・相談するんだ。 | 10分 | ○教師が、困っていて相談したいことと単元名や教材名を伝えて、児童に投げ掛ける。<br>○話をつなげることに重点をおいた話合いであることを伝える。<br>◎児童用学習シートに単元の課題を記入するよう声を掛ける。 |
| <b>単元の学習課題</b><br>みんなで話をつなげて、そうだんごとについて話し合おう。  |     |  |

|   |     |   |
|---|-----|---|
| <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学習だから、計画を立てる。</li> <li>・どのような学習をするか、確認する。</li> </ul>  |     | <p>○本時は単元の課題を理解し、どのような学習をしていくか見通しをもつことがめあてであることを伝える。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>【本時の学習課題】</b></p> <p>そうだんごとについて話し合うためにひつようなことを話し合い、学しゅうのけいかくをたてよう。</p> </div>   |     |   |
| <p>3 具体的にどのような話し合いをするか音声でおおまかに捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町探検のことを話していた。</li> <li>・グループで話し合うんだ。</li> </ul> <p>4 単元全体の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談したいことを考えよう。</li> <li>・困っていることについて話したらどうかな。</li> <li>・話し合いの仕方が分からないとできないね。</li> <li>・話のつなぎ方を知りたい。</li> </ul> | 30分 | <p>○CDを使って手本となる発表の様子を聞かせることで、ゴールをイメージしやすくする。</p> <p>○児童の様子を見ながら、必要に応じて、声を掛けたり、途中で止めて確認したりする。</p> <p>○既習事項を想起したり、教科書を参考にしたりしながら、単元の課題を解決するために必要なことを各自が考える時間を確保する。</p> <p>○学習計画を大まかにつかませるために、全体で話し合う活動を入れる。</p> <p>○学習用語「話題」について、教科書 P164 を参照させて確認する。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(c) ◎教科書のどこに書かれているかを一緒に確認する。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇学習の見通しをもち、関心をもって相談事の話し合いに取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談することを考えておきたい。</li> <li>・早くやってみたいな。</li> </ul>   | 5分  | <p>◎相談事の話し合いへの思いや意気込み等を振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、相談する話題を考えることを伝える。</p>   |

## 板書計画

|   |  |   |  |  |
|---|--|---|--|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>わだい</b></p> <p>話すときに中心となることから。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>まとめ</p> <p>学しゅうのけいかく</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① わだいをきめる。</li> <li>② 話し合いのし方をたしかめる。</li> <li>③ グループで話し合う。</li> <li>④ よかったところを伝え合う。</li> </ol> </div> | <p>どのような話し合いをするか、聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町たんけんのこと</li> <li>・ パン屋さんのこと</li> <li>・ グループで話し合う。</li> </ul> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて</p> <p>そうだんごとについて話し合うために<br/>ひつようなことを話し合い、学しゅうの<br/>けいかくをたてよう。</p> </div> | <p>そうだんにのってください</p> <p>たんげんのかだい</p> <p>みんなて話をつなげて、そうだんごとについて話し合おう。</p> |
|---|--|---|--|--|

## 本時の展開（２／８）

- (1) **ねらい** 相談するにあたって、ふさわしい話題の選び方を話し合う活動を通して、話題を考えることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|---|-----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・話題を考えよう。<br>・どのような話題にしたらいかな。<br>・いろいろ考えたい。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、学習計画を立てたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【本時の学習課題】</b><br/>           そうだんするわだいのえらび方をかくにんして、わだいを考えよう。         </div>   |     |  |
| 2 どのような話題が相談にふさわしいか確かめる。<br>・みんなが知っていることがいい。<br>・学校のことならみんな分かるね。<br><br>3 相談する話題を考える。<br>・本の選び方を聞いてみたいな。<br>・町探検で〇〇に行くのに、どのようなことを聞いたらいいか相談したい。<br>・休み時間にみんなでどのような遊びをしたらいかな。<br>・お母さんの誕生日に喜ばせたいけど。<br>・もっとお手伝いしたいけど、友達はどのようなお手伝いをしているんだろう。 | 35分 | ○みんなが考えて話すことができるような話題がよいことを伝える。<br>○どのような話題なら考えを出し合えるか確認する。<br>○ゆっくりと時間をかけて、それぞれがふさわしい話題を考えることができるようにする。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(c) ◎話題が思いつかない児童には、もっとできるようになりたいことやできなくて困っていることを個別に問い掛ける。<br>(教師用単元シートにある手立て)<br>◇相談するにあたってふさわしい話題を考えている。【思考・判断・表現】（シート） |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・いろいろな話題を考えられた。どの話題にするかよく考えたい。<br>・友達はどのような話題を考えているのか知りたい。  | 5分  | ◎話題を考えたことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、相談したい話題を決めることを伝える。   |

## 板書計画

|   |   |                                 |
|---|---|---------------------------------|
| <p>めあて そうだんするわだいのえらび方を<br/>かくにんして、わだいを考えよう。</p> | <p>そうだんにつってください</p> <p>そうだんすること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからすること</li> <li>・なやんでいること</li> <li>・こまっていること</li> <li>・学しゅうのこと</li> <li>・にが手なこと</li> <li>・みんなで話し合えること</li> </ul> <p>※かぞくやちいきのことなど、みんなで<br/>話し合うことがむずかしいわだいはやめる。</p> <p>友だちにそうだんしたいわだいを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本のえらび方がわからない。</li> <li>・お手ついででどんなことができるか。</li> <li>・町たんけんでなにをしつもんしようか。</li> </ul> | <p>まとめ みんなで話し合えるわだいをえらぶとよい。</p> |
|---|---|---------------------------------|

### 本時の展開（3／8）

- (1) **ねらい** 相談事について話し合う活動を通して、ふさわしい話題を決めることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 「相談すること」提示資料
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|---|-----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・前の時間は話題を考えたよね。<br>・今日は一つ決めよう。<br>・どれにしようかな。                        | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、どのような話題がふさわしいかに気を付けながら話題を考えたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div> <b>【本時の学習課題】</b><br/>           考えを出し合うために、そうだんするわだいをきめよう。         </div>                 |     |  |
| 2 相談しようと考えている話題について友達と交流する。<br>・僕は、本の選び方を相談しようと思う。いつも迷ってしまうから。<br>・それなら、考えが出し合えるね。              | 35分 | ○どのような話題を考えているか、なぜそれ考えたかを友達と話し合う時間を確保する。<br>○交流では、みんなで考えを出し合うことのできる話題かどうかについて話し合うよう伝える。<br>○話題を決めるときに生かせるよう、いくつかの話題について交流させる。<br>○相談内容は、互いに関心をもって聞き共有できる話題になるように、話題の決め方を確認する。<br>○ゆっくりと時間をかけて、それぞれがふさわしい話題を決めることができるようにする。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを |
| 3 相談する話題を決める。<br>・本の選び方に決めよう。友達は、図書室でどんなふうに本を選んでいるか聞いてみよう。<br>・町探検で〇〇に行くから、どのようなことをしつもんしたらいいか相談 |     |  |



|  |    |  |
|--|----|--|
| しょう。何を質問したらいいかわからないから。   |    | 教師用単元シートにメモする。<br>(C) ◎自分で話題を出すことが難しい児童が選べるよう、具体的な話題を教師が複数用意しておく。(教師用単元シートにある手立て)<br>◇相談するにあたってふさわしい話題を決めている。【思考・判断・表現】(シート) |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・決められたから早く相談をしたい。<br>・みんなのようなことを相談すると決めたか知りたい。 | 5分 | ◎相談する話題を決めたことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、話合いの仕方を確かめることを伝える。   |

## 板書計画

|                                  |   |   |   |                                       |                     |
|----------------------------------|---|---|---|---------------------------------------|---------------------|
| <p>まとめ みんなで考えを出し合えるわだいで話し合う。</p> | <p>そうなんすのわだいをきめよう。</p> <p>・なぜそのわだいを考えたかきゆうもつたえよう。</p> <p>・みんなで考えを出し合えるか聞いてみよう。</p> <p>・いくつかのわだいについて話そう。</p> | <p>※かぞくやちいきのことなど、みんなが話し合うことがむずかしいわだいはやめる。</p> | <p>そうなんすること</p> <p>・これからすること</p> <p>・なやんでいること</p> <p>・こまっていること</p> <p>・学しゅうのこと</p> <p>・にが手なこと</p> <p>・みんなが話し合えること</p> | <p>めあて 考えを出し合うために、そうなんすのわだいをきめよう。</p> | <p>そうなんにのってください</p> |
|----------------------------------|---|---|---|---------------------------------------|---------------------|

## 本時の展開 (4 / 8)

- (1) **ねらい** 手本の話合いを聞く活動を通して、話合いの仕方を確認できるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート CD
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|----|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・相談する話題は決まった。<br>・どうやって相談の話合いをすればいいのかな。<br>・話合いの仕方が分からないと困るね。  | 5分 | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、相談するのにふさわしい話題を決めたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           話合いのし方をたしかめよう。         </div> |    |   |
| 2 話合いの手順を確かめる。   |    | ○教科書を参考に、話合いの手順を確認できるよ  |

|   |     |  |
|---|-----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めに挨拶をして、話題を話す。</li> <li>・一人ずつ順番に話す。</li> </ul> <p>3 話合いの様子を音声で確かめ、話合いで気を付けることについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後まで聞いてから話す。</li> <li>・自分の考えとその理由を話す。</li> <li>・うなずきながら聞いた方がいい。</li> <li>・自分の考えと同じかどうか伝える。</li> <li>・質問や感想を言う。</li> </ul> | 35分 | <p>うにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○始めと終わりの挨拶など、何通りか考える時間を確保し、話すときに選べるようにする。</li> <li>○付録のCDを活用する。</li> <li>○話合いでは、どのようなことに注意して、話したり、聞いたり、考えを出し合ったりすればよいかを確認する。</li> <li>○話す人、聞く人のそれぞれのポイントをまとめるようにする。</li> <li>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</li> <li>(C) ◎教科書を参考にするよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</li> <li>◇話合いの仕方を理解している。【知識・技能】(観察・シート)</li> </ul> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの仕方は分かったけど、話をつなぐためにはどうすればよいか知りたい。</li> </ul>   | 5分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎話合いの仕方について振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</li> <li>○次時は、話のつなぎ方を詳しく学習することを伝える。</li> </ul>  |

## 板書計画

|   |   |  |   |  |                            |                     |
|---|---|--|---|--|----------------------------|---------------------|
| <p>まとめ</p> <p>①②③のじゅんばんで話し合う。</p> <p>話す人・聞く人のポイントに気をつけながら話し合いをする。</p> | <p>話し合いのすすめ方</p> <p>※そうだなする人がすすめる。</p> <p>①わだいをたしかめる。</p> <p>②ひとりずつじゅんに考えを出し合う。</p> <p>③いいなと思った考えをつたえる。</p> <p>※早く終わったグループは、ともだちのよかったところをつたえ合う。</p> | <p>話し合いで気をつけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいごまで聞いてから話す。</li> <li>・じぶんの考えとそのりゆうを話す。</li> <li>・じぶんの考えと同じかどうかつたえる。</li> <li>・しつもんやかんそうを言う。</li> </ul> | <p>話す人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ、はやさに気をつける。</li> <li>・自分の考えをすすんで話す。</li> <li>・りゆうをはつきりと話す。</li> </ul> | <p>聞く人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話している人を見て、うなずきながら聞く。</li> <li>・さいごまで聞いてから話す。</li> </ul> | <p>めあて 話し合いのし方をたしかめよう。</p> | <p>そうだんにのってください</p> |
|---|---|--|---|--|----------------------------|---------------------|

## 本時の展開 (5 / 8)

- (1) **ねらい** ロールプレイングを通して、質問・復唱・共感・感想などの話のつなぎ方を確認できるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 動画 「話合いの仕方」提示資料
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て |
|----------------------|----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめ    |    | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習                             |



|  |     |  |
|--|-----|--|
| あてをつかむ。<br>・話合いの手順は分かった。<br>・話をうまくつなげるかな。<br>・話のつなぎ方をもっと知りたい。  | 5分  | を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○話合いの仕方や話す人と聞く人のポイントについてまとめた表を見ながら、前時に学習したことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【本時の学習課題】</b><br/>           話のつなぎ方をたしかめよう。         </div>       |     |  |
| 2 話合いの様子を動画で確かめる。<br>・うなずいていた。<br>・話す人の方を見て聞いていた。<br>・繰り返しをしていた。   | 35分 | ○動画を見ることによって、前時に確かめた話合いの仕方を復習できるようにする。<br>○必要に応じて途中停止しながら、確認していく。<br>○話のつなぎ方（質問・復唱・共感・感想など）を具体的に確認する。<br>○具体的な例を挙げて、どうつなげたらよいか考える時間を確保する。<br>○復唱や共感がない場合どう感じるかも考えられるようにする。<br>○教師が話題の設定を行い、ペアで具体的なロールプレイングを行う。<br>○話をつなぐことを意識した対話を行うことで、実際に言われてどう思ったかを確かめて、学びを実感できるようにする。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(C) ◎板書を参考にしよう声を掛けたり、一緒に話し方を考えたりする。（教師用単元シートにある手立て）<br>◇話のつなぎ方を考えている。【思考・判断・表現】（観察・シート） |
| 3 話のつなぎ方について、話し合う。<br>・よく聞いて、質問や感想を伝える。<br>・繰り返して確かめてから、自分の考えを話す。<br>・うなずいたり、「そうですね」と言ったりする。   |     |  |
| 4 ロールプレイングを行い、話のつなぎ方を確かめる。<br>・今朝は、パンを食べてきました。<br>・□□さんは、パンだったんですね。<br>私は、おにぎりと玉子焼きを食べました。パンの他に何を食べましたか。<br>・ヨーグルトを食べました。<br>・ヨーグルトは美味しいですね。 |     |  |
| 5 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・うなずいてもらおうと、聞いてくれていることがわかって嬉しい。<br>・よく聞いて、繰り返したり、質問したりすることが大切だと分かった。   | 5分  | ◎話のつなぎ方を確かめ、実際にやってみたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、四人一組で相談事について話し合うことを伝える。  |

## 板書計画

そうだんにのってください

めあて 話のつなげ方をたしかめよう。

話し合いの仕方 ※そうだんする人がすすめる。

① わだいをたしかめる。

② ひとりずつじゆんに考えを出し合う。

③ いいなと思った考えをつたえる。

※早く終わったグループは、ともだちのよかったところをつたえ合う。

話す人

・ 声の大きさ、はやさに気をつける。

・ 自分の考えをすすんで話す。

・ りゆうをはっきりと話す。

聞く人

・ 話している人を見て、うなずきながら聞く。

・ さいごまで聞いてから話す。

考えを出し合うときの話のつなげ方

・ 友だちが言ったことをくりかえしてたしかめる。

「～なんです。」

・ じぶんの考えと同じだったたりいい考えだなと思ったり、そのことをみんなにつたえる。

「～さんと同じ考えです。」「その考えいいですね。」

「そうですね。」「なるほど。」

・ しつもんをしたり、かんそうを言ったりする。

へ朝ごはんについて、話をしよう。✓

まとめ 話をつなげるには、くりかえしたり、「いいです。」「同じ考えです。」とつたえたり、しつ

もんをしたり、かんそうを言ったりする。

## 本時の展開（6／8）

- (1) **ねらい** 相談に関心をもち、グループの友達と話をつなげて、話し合いができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット 「話のつなげ方」提示資料
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・ 早く相談したい。<br>・ 話し合いがうまくできるかな。<br>・ 話をつなげていこう。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、話のつなげ方を学習したことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【本時の学習課題】</b><br/>           友だちと話をつないで、そうだんごとを話し合おう。         </div> |     |   |
| 2 話し合いのグループと進め方を確かめる。<br>・ この四人で話し合うんだ。<br>・ 順番に相談していく。<br>・ タブレットで撮影するんだね。  | 35分 | ○児童の実態に応じて、教師側で四人組を設定しておく。<br>○「話し合いの仕方」を壁面に掲示し、いつでも確認できるようにしておく。<br>○四人での話し合いを各自のタブレットで撮影して後で振り返ることができるようにしておく。<br>○話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。<br>○話をつなげることを意識して話し合うよう伝える。 |
| 3 四人で相談事について話し合う。<br>・ 私の相談にのってください。本の選び方が分からないので、教えてほしいです。<br>・ 本の選び方ですね。私は・・・  |     | ○一人ずつ話題を確かめて相談し、一人終わるごとに、相談してよかったことや友達の話し方や   |
| 4 全体でよかったところや困ったと  |     |   |

|  |    |  |
|--|----|--|
| <p>ころについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんがうなずきながら聞いていて話しやすかったです。</li> <li>・みんなの考えが聞けたので、相談してよかったです。</li> <li>・みんなが黙ってしまったときは困りました。</li> <li>・友達が言ったことを繰り返せばよかったと思います。</li> </ul> |    | <p>聞き方でいいなと思ったところを伝え合うよう声を掛ける。</p> <p>◎グループの話し合いが終わったら、児童用学習シートに記入する時間を確保する。</p> <p>○必要に応じてタブレットの映像を確認することを伝える。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(c) ◎話し合いの順序を守り、自分の考えと友達の考えを比べながら聞くように声を掛ける。話のつなげ方の表で確かめながら話をするよう促す。話し合いで意識することを一つ決め、まずそれができるように声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇順序に気を付けて話し合い、友達の考えとの相違を受け止めている。【知識・技能】(観察・シート)</p> <p>◇話をつなげて、話し合っている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく話をつなげられなかったので、次は頑張りたい。</li> <li>・うなずいてもらおうと話しやすいことが分かった。</li> </ul>   | 5分 | <p>◎話をつなげて話し合ったことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、異なった四人で話し合うことを伝える。</p>   |

#### 板書計画

|   |   |                                 |  |  |
|---|---|---------------------------------|--|--|
| <p>まとめ</p> <p>くふうが大切である。</p> <p>じょうずに話し合うためには、話をつなぐ</p> | <p>考えを出し合うときの話のつなげ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちが言ったことをくりかえしてたしかめる。</li> </ul> <p>「うなずいですね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じぶんの考えと同じだったたりいい考えだなと思ったら、そのことをみんなにつたえる。</li> </ul> <p>「うなずくと同じ考えです。」「その考えいいですね。」</p> | <p>※タブレットでじぶんをさつえいしながら話し合う。</p> | <p>グループ</p> <p>一はん<br/>二はん<br/>三はん<br/>四はん<br/>五はん</p> | <p>めあて</p> <p>友だちと話をつないで、そうだんごとを話し合おう。</p> <p>そうだんにのってください</p> |
|---|---|---------------------------------|--|--|

#### 本時の展開 (7 / 8)

- (1) **ねらい** 相談に関心をもち、グループの友達とより上手に話をつなげて、話し合いができるようになる。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット

(3) 展 開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間は、四人で話し合った。</li> <li>・今日は、もっと上手にできるかな。</li> <li>・いろいろな考えが聞きたい。</li> </ul>  | 5分  | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、四人で話し合い、よかったところなどを出し合ったことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>[本時の学習課題]</b></p> <p>友だちともっとじょうずに話をつないで、そうだんごとを話し合おう。</p> </div>  |     |   |
| <p>2 話合いのグループと進め方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日と違う四人で話し合うんだ。</li> <li>・順番に相談していく。</li> <li>・また、タブレットで撮影するんだね。</li> </ul> <p>3 四人で相談事について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私が相談したいのは、町探検で行く公民館のことです。公民館で何を質問すればよいのか分かりません。</li> <li>・公民館ですね。誰が使うところか聞いてみるのはどうでしょうか。</li> </ul> <p>4 全体でよかったところや困ったところについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後まで黙って聞いてくれたので、話しやすかったです。</li> <li>・答えは出なかったけど、いろいろな考えを聞くことができました。</li> <li>・うなずきながら聞くと、話しやすいと思います。</li> <li>・質問はできなかったけど感想を言うことができました。</li> </ul> | 35分 | <p>○児童の実態に応じて、教師側で前時と異なった四人組を設定しておく。</p> <p>○四人での話合いを各自のタブレットで撮影して後で振り返ることができるようにしておく。</p> <p>○話し方、聞き方を確認してから話合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。</p> <p>○前時に、うまく言った場面や困ったこととその対処について共有する。</p> <p>○一人ずつ話題を確かめて相談し、一人終わるごとに、相談してよかったことや友だちの話し方や聞き方でいいなと思ったところを伝え合うよう声を掛ける。</p> <p>◎グループの話合いが終わったら、児童用学習シートに記入する時間を確保する。</p> <p>○必要に応じてタブレットの映像を確認することを伝える。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(c) ◎話のつなげ方の表で確かめながら話をするよう促す。相手の話を集中して聞くよう伝え、復唱などできそうなことを勧める。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇話をつなげて、話し合っている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> <p>◇積極的に話をつなぎ話し合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前の話合いよりうまくつなげられた。</li> <li>・もっとうまくになりたい。</li> </ul>  | 5分  | <p>◎話をつなげて話し合ったことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、この単元のまとめをすることを伝える。</p>  |

めあて 友だちともっとじょうずに話をつないで  
そうだんごとを話し合おう。

グループ  
一はん  
二はん  
三はん  
四はん  
五はん

※タブレットでじぶんをさっえいしながら話し合う。

考えを出し合うときの話のつなげ方  
・友だちが言ったことをくりかえしてたしかめる。  
「うなずきですね。」  
・じぶんの考えと同じだったたりいい考えだなと思っ  
たら、そのことをみんなにつたえる。  
「うさんと同じ考えです。」「その考えいいです  
ね。」  
「そうですね。」「なるほど。」

きのうの話し合いをふりかえって  
・うなずきながら聞いてもらえて、話しやすかった。  
・「同じ考えです。」と言われて、うれしかった。  
・みんなだまってしまうてこまったけど、くりかえし  
てたしかめたら、話がつながった。

まとめ うなずいたり、くりかえしたりしながら  
よく聞いて、じぶんの考えをつたえると、  
じょうずに話をつなげることができる。

本時の展開（8／8）

- (1) **ねらい** 単元全体を振り返る活動を通して、話をつなぐ話し合いの仕方をまとめることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・最後の時間だからまとめだね。<br>・何ができるようになったかな。<br>・話し合いをしたね。         | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、四人で話をつなげて話し合ったことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div><p><b>【本時の学習課題】</b></p><p>「そうだんにつてください」をふり返って、話をつなぐ話し合いのし方をまとめよう。</p></div>     |     |  |
| 2 話をつなぐ話し合いの仕方を確認する。<br>・最後まで聞いてから話す。<br>・話す人を見て、うなずきながら聞く。<br>・繰り返す。<br>・質問や感想を伝える。 | 30分 | ○話し合いの仕方の中でも、特に話のつなげ方についてまとめられるようにする。<br>◎これまでの学習を振り返れるように、本単元の児童用学習シートの確認を促す。<br>○必要に応じて、タブレットの映像を確認することを伝える。 |
| 3 話をつなぐ話し合いの仕方、一番大切だと思うことをまとめる。<br>・はっきり話さない伝わらないから、声の大きさと速さに気を付けることが大切だと思う。         |     | ○話すとき、聞くとき、考えを出し合うとき、それぞれで一番大切だと思うことを、その理由とともにまとめる。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。                    |

|   |     |  |
|---|-----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの考えが確かめられるから、繰り返すことが大切だと思う。</li> </ul> <p>4 本単元で学んだことを今後どのように生かせるか考える。(一般化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科でグループで決めるときに、上手に話をつないでいきたい。</li> <li>・友達と話をするときに、しっかりうなずきながら聞いてから、自分が話す。</li> </ul> |     | <p>(C)◎これまでの児童用学習シートを見返したり教科書を参考にしたりするよう促し、どこに書いてあるか一緒に確認する。普段の生活や他の教科の学習を想起するよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇話をつなぐ話し合いの仕方をまとめている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> <p>◇学んだことをどのように生かすか考えている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>5 単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話のつなげ方が分かったので、これから話すときには、うなずいたり繰り返したりしながら、しっかり聞きたい。</li> </ul>   | 10分 | <p>◎一般化したことを踏まえながら、単元を通して学んだことや感じたことを、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p>  |

## 板書計画

|   |  |
|---|--|
| <p>めあて「そうだんにのってください」をふりかえって、話をつなぐ話し合いのし方をまとめよう。</p> | <p>そうだんにのってください</p> <p>話をつなぐ話し合いのし方</p> <p>話すとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ、はやさに気をつける。</li> <li>↓しっかりとつたわらないとこまるから。</li> <li>・自分の考えをすすんで話す。</li> <li>↓話し合いがすすまないから。</li> </ul> <p>聞くとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきながら。↓聞いていることがわかるから。</li> <li>・さいごまで聞いてから話す。</li> <li>↓とちゅうで話すとさいごまで言えないから。</li> </ul> <p>考えを出し合うとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～なんです。」と言う。↓かくにんができるから。</li> <li>・じぶんの考えと同じだったりいい考えだなと思ったら、そのことをみんなにつたえる。</li> <li>↓同じ考えだとわかるとうれいから。</li> <li>・しつもんをする。↓くわしくなるから。</li> </ul> <p>ここでの学しゅうをこれからどうつかうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科でグループで話し合うときに話をつないでいきたい。</li> <li>・友だちと話すときに、うなずきながら聞く。</li> <li>・これから話し合いをするときには、わだいをたしかめて話し合う。</li> </ul> |
|---|--|

単元シート「そうだんにのってください」

| 知識・技能                                   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                             |
|---|--|---|
| ①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)<br>②「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) | ①積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 |

|   | 学習活動                                    | 「おおむね満足できる」状況 (B)                       | 「努力を要する」状況 (C) への手立て                       |
|---|---|---|--|
| 1 | 相談事を話し合う計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつ。         | 学習の見通しをもち、関心をもって相談事の話合いに取り組もうとしている。(主①) | 教科書のどこに書かれているかを一緒に確認する。                    |
|   |   |   |  |
| 2 | 相談するにあたってふさわしい話題の選び方を話し合う活動を通して、話題を考える。 | 相談するにあたってふさわしい話題を考えている。(思②)             | もっとできるようになりたいことやできなくて困っていることを個別に問い掛ける。     |
|   |   |   |  |
| 3 | 相談事について話し合う活動を通して、ふさわしい話題を決める。          | 相談するにあたってふさわしい話題を決めている。(思②)             | 自分で話題を出すことが難しい児童が選べるよう、具体的な話題を教師が複数用意しておく。 |
|   |   |   |  |
| 4 | 手本の話合いを聞く活動を通して、話合いの仕方を確認する。            | 話合いの仕方を理解している。(知①)                      | 教科書を参考にするよう声を掛ける。                          |
|   |   |   |  |
| 5 | ロールプレイングを通して、質問・復唱・共感・感想などの話のつなげ方を確認する。 | 話のつなげ方を考えている。(思①)                       | 板書や教科書を参考にするよう声を掛けたり、一緒に話し方を考えたりする。        |
|   |   |   |  |

|   |                                    |                                     |  |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 6 | 相談に関心をもち、グループの友達と話をつなげて、話し合う。      | 順序に気を付けて話し合い、友達の考えとの相違を受け止めている。(知①) | 話し合いの順序を守り、自分の考えと友達の考えを比べながら聞くように声を掛ける。                    |
|   |                                    |                                     |  |
|   |                                    | 話をつなげて話し合っている。(思①)                  | 話のつなげ方の表で確かめながら話をするよう促す。話し合いで意識することを一つ決め、まずそれができるように声を掛ける。 |
|   |                                    |                                     |  |
| 7 | 相談に関心をもち、グループの友達とより上手に話をつなげて、話し合う。 | 話をつなげて話し合っている。(思①)                  | 話のつなげ方の表で確かめながら話をするよう促す。                                   |
|   |                                    |                                     |  |
|   |                                    | 積極的に話をつなぎ話し合おうとしている。(主①)            | 相手の話を集中して聞くよう伝え、復唱などできそうなことを勧める。                           |
|   |                                    |                                     |  |
| 8 | 単元全体を振り返る活動を通して、話をつなぐ話し合いの仕方をまとめる。 | 話をつなぐ話し合いの仕方をまとめている。(思①)            | これまでの児童用学習シートを見返したり教科書を参考にしたりするよう促し、どこに書いてあるか一緒に確認する。      |
|   |                                    |                                     |  |
|   |                                    | 学んだことをどのように生かしているか考えている。(主①)        | 普段の生活や他の教科の学習を想起するよう声を掛ける。                                 |
|   |                                    |                                     |  |



「なへだやじのんへだやら」① 名編

だやせのから

めあへ

新しあへるからへ

ういかへ

先生より

「そっぴんぽんぽんぽん」② 名詞

だんげんぽんぽん

めあて

女だちにそっぴんぽんぽんぽんを考えよう(思いつくだけ書いてみよう。)

おとめ

うりかえり

先生より

「えっ、だんじのいんぐだやろ」③ 名詞

だんけいのあかん

めあかん

えっ、だんするもたらをーじあかん

えっ、だんじだらうかん

あかん

うりかえり

先生より

「そつだんにのつてたから」④ 名詞

たんげのからだ

めあて

話し合ふのすゝめ方

話し合ふで氣を合はせる人

話す人

聞く人

せんせい

うかがひ

先生より

「ふっだやにのんふだやら」㊦ 名詞

だやけのふだら

めあて

ふっふだふ、器をけけけるふだやらふか考へよう。

かえり

ふりかえり

先生より

「そっぴんじのそっぴんじ」⑥ 名前

たんけんかた

めあて

じゅうんそっぴんじのそっぴんじ

じゅうんじにいる考え(「〇〇やんじのそっぴんじ」などの書き方をしよ。)

じゅうんじがう考え(「〇〇やんじのそっぴんじ」などの書き方をしよ。)

友だちのよからたう

話し合ひの中で、わたしは...

☆話し合ひのじゅうんじをまもれた できた まあまあ あまり できなかった

☆じゅうんじにいる考えやちがう考えがわかった わかった まあまあ あまり わからなかった

☆話をつないで話し合ひができた できた まあまあ あまり できなかった

まとめ

うりかえり

先生より

「なうたにのんくたから」⑦ 名前

たんげのからだ

278

בְּיָמֵינוּ הַיּוֹמִי הַזֶּה

じやうとくしんなる物、(「〇〇ヤ」の「ヤ」の物)が、この書、方なして、へ。)

じやうとんが、考へ(「〇〇やとんへ」考へ)なうの書やがな(やへ。)

友だちのよからだな

船し合の母、わたしは...

☆すすんで話し合えなかった できなかった まあまあ あまり できなかった

☆きのうより話をうながして話し合いができた　できた　まあまあ　あまり　できなかった

11628

ふりかえり

杭州 60

「そっぴんぐにのびんぐだやう」⑧ 名前

たんけんのからだ

めあて

うちはん大切だと思へることを書いて。なぜ大切だと思へるかも書いて。

|           |  |
|-----------|--|
| 話すとき      |  |
| りゆう       |  |
| 聞くとき      |  |
| りゆう       |  |
| 考えを出し合へとき |  |
| りゆう       |  |

これから、たんけんときに、たんけんが、いかにのびんぐがつかえるか考えよう。

「そっぴんぐにのびんぐだやう」のうたを

先生より



## 国語科学習指導案

令和3年9月 4年1組教室 指導者 研究協力校教諭

### 1 単元名 対話の練習をしよう「あなたなら、どう言う」

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の「言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。（知識及び技能（1）ア）」「考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。（知識及び技能（2）ア）」「目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たしながら話し合い，互いの意見の共通点や相違点に着目して，考えをまとめること。（思考力・判断力・表現力等A（1）オ）」「必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えをもつこと。（思考力・判断力・表現力等A（1）エ）」を受けて、設定したものである。

児童は、3年上巻「山小屋で三日間過ごすなら」で、一つ的话题に対して考えを広げたり集約したりする対話の練習を行った。本単元では、その学習を生かしながら、同じ事柄を違った視点から考える活動を設定し、よりよい対話の仕方を学習する。日常生活で起こりうるコミュニケーションの不具合を取り上げ、実際のやり取りや客観的な立場でやり取りを観察する活動を通して、よりよい対話について考えることができるようにする。

指導事項に関わる内容としては、一つの事象について異なる立場からやり取りするロールプレイによる話し合いを行う。互いの意見の共通点や相違点に着目し、立場が違えば主張が変わること、主張の仕方相手が受け止め方が変わることを学習する。同じ状況に対しての他者の感じ方を、言葉を介して知ることは、生活を共にする他者に対しての感度を高めていくことになると思う。

言語活動に関わる内容としては、「散らかった部屋」という状況にいる二人が、互いの立場から何を思い、どのような言葉を発するのか、その言葉を受けた相手がどのような感情になるのかを経験し、その感じ方を共有する活動である。ペアで役割を演じるだけでなく、やり取りを観察する人を置くことで、違った台詞を考えたり、状況を捉えなおして感想を話し合ったりすることもできると考える。

#### (2) 指導方針

- ・教師が、学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートを作成する。授業時間内の児童の見取りや評価、「努力を要する」(C)の児童に対する授業中や授業後の支援に活用する。
- ・児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことのできる児童用学習シートを作成する。単位時間ごとに児童が記入し、自己の学びの整理や学んだ内容の再確認などに活用できるようにする。
- ・児童の日常生活の中で、うまくやり取りができなかったことで相手に嫌な思いをさせたり、怒らせた経験について振り返ることから学習を始め、対話について考えることへと誘う。
- ・相手の都合や思いを理解するために、どのような関わり合いをすればよいのか、どのような言い方で伝えればよいのかを、実際に演じる中で考えたり話し合ったりする活動を設定する。
- ・話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。
- ・やり取りを行うときに、自信をもって始められるよう、最初の姉の一言を前時に考えて書く活動を取り入れる。
- ・教師用単元シートの記録を児童用学習シートの助言に生かしたり、児童用学習シートの記述から実態を捉えて学習活動の再考や留意点の加筆を行ったりするなど、二つのシートをつなげる指導の工

夫を行う。

- ・授業中、児童への支援や見取り、その記録に、教師用単元シートを活用する。『『おおむね満足できる』状況（B）』の欄には、質的な高まりや深まりをもっている児童の名前や様子を、『『努力を要する』状況（C）への手立て』の欄には、支援を行った児童の名前と様子や具体的な手立てなどを記録する。
- ・児童用学習シートは授業後に集約し、児童の記述を評価に生かしたり、教師が授業中に見取った様子や児童の記述をもとに助言を記入したりする。
- ・授業中に見取りや児童の記述から児童の実態を踏まえて、学習活動を再考したり、特に留意すべき点を考えたりして、教師用単元シートの「学習活動」の欄に記入する。
- ・言葉の選び方や言い方の違いによってどのようにやり取りが変わるのを感じられるよう、四人一組で、「お姉さん役」「弟役」「やり取りを聞く人」の立場を交代しながら経験できるようにする。
- ・振り返りの活動がしやすいよう、「お姉さん役」「弟役」はタブレットでやり取りを撮影すること、「やり取りを聞く人」は、二人のやり取りを聞きながら、よかったところや、トラブルやすれ違いが起こった原因だと思われるところをメモしておくことを伝える。

### 3 研究との関わり

平成28年12月に、中央教育審議会において、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が示された。そこでは、新しい学習指導要領等に向けて、改善すべき事項をまとめ、枠組みを考えていくことが必要となる点の一つとして、『『何が身に付いたか』（学習評価の充実）』を挙げている。それを受けて、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月）では、学習評価の改善の基本的な方向性として、「児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと」「教師の指導改善につながるものにしていくこと」が示された。それらの答申や報告などを踏まえて国立教育政策研究所で作成された『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』（令和2年3月）に、「学習指導要領改訂の趣旨を実現するためには、学習評価の在り方が極めて重要であり、すなわち、学習評価を真に意味あるものとし、指導と評価の一体化を実現することがますます求められている」とある。単に評価をして終わりにすることなく、毎時間の学習評価を充実させ授業改善につなげることが必要である。

小学校学習指導要領（平成29年3月公示）では、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理し、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確化された。そして、教育目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理された。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育むことが求められている。

令和3年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）には、国語の授業改善のポイントとして、「ねらいを明確にした交流活動を設定」することが掲げられている。学びを深める交流活動を行うためには、相手に伝わるように話したり、話し手の伝えたいことの内容を捉えて聞いたりする力が不可欠であり、「話すこと・聞くこと」の指導の充実が重要であると考ええる。

研究協力校では、「話すこと・聞くこと」の力の個人差が大きく、自分の考えを相手に伝わるように話したり、相手の意図していることや話の要点を考えながら聞いたりすることが難しい児童もいる。教師側の課題としては、「話すこと・聞くこと」の学習場面で単元を通して必要な評価を行うことが難しく、指導改善につなげることが難しい現状がある。これらの課題からも、教師が毎時間の評価を指導改善につなげ、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高める工夫が必要であると考ええる。

以上のことから、本研究は、小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域の含まれる単元での指導において、教師が学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートと児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことができる児童用学習シートをつなげる指導の工夫を行い、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高められることを実

践を通して明らかにしていくことをねらいとしている。そのため、本単元の学習を進める中で、教師用単元シートと児童用学習シートを活用し指導改善を図っていくことを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まったかを検証するものである。

#### 4 単元の目標

- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くとともに、考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。（知識及び技能）
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめるとともに、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

#### 5 指導と評価の計画（全3時間予定） ●指導に生かす評価 ○評価に用いる評価

| 評価<br>規<br>準 | 知識・技能    |  | ①言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（(1)ア）<br>②考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）  |   |   |
|--------------|----------|--|---|---|---|
|              | 思考・判断・表現 |  | ①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（A(1)オ）<br>②「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（A(1)エ） |   |   |
| 時程           | 過程       | ○ねらい<br>めあて  | 評価の観点   |   |   |
|              |          |  | 知   | 思 | 態   |
| 第1時          | つかむ      | ○対話について振り返り、単元の課題を確認し、姉の立場に立って考える活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。  |   |   | ●   |
|              |          | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>単元の学習課題</b><br/> よりよい対話の仕方を考えられるように、役わりを決めて話し合おう。 </div> |   |   |   |
| 第2時          | 追究する     | ○グループで、それぞれの立場でやり取りをして、それぞれの立場に立って思いを伝えたり、よりよい言い方について考えたりすることができるようにする。  | ●   | ● |   |
|              |          |  |   |   | それぞれの立場や思いに合わせた言葉を使ってやり取りをしている。〈観察・シート〉<br>それぞれの立場に立って、 |

|     |     |   |   |   |   |  |
|-----|-----|---|---|---|---|--|
|     |     |   |   |   |   | 思いを伝えたり、互いの発言の中心を捉え聞いたりしながら、よりよい言い方について考えている。〈観察・シート〉  |
|     |     | <b>[本時の学習課題]</b><br>グループで役わりを決めて話し合い、よりよい言い方について考えよう。   |   |   |   |  |
| 第3時 | まとめ | ○単元全体を振り返る活動を通して、よりよい言い方や対話をするときに大切なことを理解できるようにする。      | ○ | ○ | ○ | 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあること、立場によって思いや考えに違いがあることに気付いている。〈観察・シート〉<br>互いの意見の共通点や相違点に着目して、よりよい対話について考え、まとめている。〈シート〉<br>学んだことをどのように生かしていくか考えている。〈シート〉 |
|     |     | <b>[本時の学習課題]</b><br>「あなたなら、どう言う」をふり返って、よりよい対話の仕方をまとめよう。 |   |   |   |  |

## 6 本時の展開（1／3）

- (1) **ねらい** 対話について振り返り、単元の課題を確認し、姉の立場に立って考える活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。
- (2) **準備** 挿絵 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|--|
| 1 これまでの「対話」についての経験を振り返り、単元の学習課題を設定する。<br>・友達に優しく言ったつもりだったのに、言い方が嫌だと言われた。<br>・そんなつもりはなかったのに、怒らせてしまった。 | 10分 | ○児童の日常生活の中で、うまくやり取りができなかったことで相手に嫌な思いをさせたり、怒らせた経験について振り返ることで、対話について考えることへと誘う。<br>○なぜ、自分の意図した通りに相手に受け取ってもらえなかったのかを考えさせることで、単元の課題につなげられるようにする。<br>○対話は、相手の思いや考えだけでなく、背景も理解しようとするものであることを説明する。<br>◎児童用学習シートに単元の課題を記入するよう声を掛ける。 |

|  |     |  |
|--|-----|--|
| <div>単元の学習課題</div> よりよい対話の仕方を考えられるように、役わりを決めて話し合おう。  |     |  |
| 2 本時のめあてをつかむ。<br>・新しい学習だから、計画を立てる。<br>・どのような学習をするか、確認する。   | 30分 | ○本時は単元の課題を理解し、どのような学習をしていくか見通しをもつことがめあてであることを伝える。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div>[本時の学習課題]</div> よりよい対話の仕方を考えるために、学習の見通しをもとう。  |     |  |
| 3 教科書の挿絵を見て、どのような場面の対話について考えるのかを確認する。<br>・散らかってるね。<br>・お姉さんと弟だ。<br>・何て言うのかな。<br>4 お姉さんの立場に立って、どのような気持ちか、弟にどう言うかを考える。<br>・なんでこんなに散らかってるの。<br>・早く片付けてよ。<br>・友達が来るんだけど。<br>・いやだなあ、もう。 |     | ○児童とやり取りをしながら、単元の課題を解決するために必要なことを考えさせていく。<br>○姉の立場を確認して、その気持ちや弟に言う最初の一言を考えさせておくことで、次時の活動につながられるようにする。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(c) ◎これまでの学習を想起させたり、姉の立場や気持ちを考えたりするよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)<br>◇教科書の挿絵をもとに、どのような場面の対話について考えるのかを話し合い、対話の仕方を考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート) |
| 5 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・姉や弟になって話すのが楽しみだ。<br>・どう言うか考えておきたい。  | 5分  | ◎それぞれの立場に立ってやり取りすることについて思っていることを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、四人一組で、それぞれの立場に立ってやり取りすることを伝える。  |

## 板書計画

|   |  |   |  |  |
|---|--|---|--|--|
| <p>あなたなら、どう言う</p> <p>友達とけんかになってしまったことがある。<br/>意地悪を言ったわけではないのに、泣いちゃった。</p> <p>単元の課題</p> <p>よりよい対話の仕方を考えられるように、<br/>役わりを決めて話し合おう。</p> | <p>めあて</p> <p>よりよい対話の仕方を考えるために、学習<br/>の通しをもとう。</p> | <p>挿<br/>絵</p> <p>お姉さんが家に帰ってきた。<br/>・弟の本やおもちやが散らかっ<br/>ている。</p> | <p>お姉さん</p> <p>これから友達が遊びに来るので、部屋をきれい<br/>にしたいと思っている。</p> | <p>まとめ</p> <p>グループで役わりを決め、それぞれの立場<br/>でやり取りをして話し合い、よりよい対話<br/>の仕方を考えていく。</p> |
|---|--|---|--|--|

## 本時の展開（2／3）

- (1) **ねらい** グループで、それぞれの立場でやり取りをして、それぞれの立場に立って思いを伝えたり、よりよい言い方について考えたりすることができるようにする。
- (2) **準備** 挿絵 各自のタブレット 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|--|
| <b>1</b> 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・グループで話し合いをする。<br>・どういう言い方をするといいかな。<br>・お姉さん役と弟役でやるよね。  | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○教科書の挿絵を見ながら、前時に姉の立場に立って考えたことを想起させる。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>[本時の学習課題]</b><br/> グループで役割を決めて話し合い、よりよい言い方について考えよう。 </div> |     |  |
| <b>2</b> 四人組の話合いの仕方を確認する。<br>・お姉さん役、弟役、聞く人がいるんだ。<br>・タブレットで撮影するんだね。<br>・役割を交代しながらやろう。  | 35分 | ○姉と弟、それぞれの立場を確認する時間をとる。<br>○児童の実態に応じて、教師側で四人組を設定しておく。<br>○話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。<br>○姉、弟、やり取りを聞く人二人の役割があり、姉役と弟役を交代したら、やり取りを聞く人にな |
| <b>3</b> それぞれの立場でやり取りをする。<br>・これから友達が来るのに、何散らかしてるの。早く片付けて。   |     |  |

|   |    |   |
|---|----|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・散らかしてるんじゃないくて片付けてるんだよ。うるさいなあ。</li> </ul> <p>4 4回のやり取りを振り返り、よりよい言い方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けんかになっちゃったから、もっと優しく言えばいいと思う。</li> <li>・二人とも自分のことばかり言っていた。</li> <li>・相手の気持ちを考えるといいと思う。</li> <li>・言い方によって、気持ちが違う。</li> <li>・この言い方だと、嫌な気持ちにならないなあ。</li> </ul> <p>5 よりよい言い方を心掛けながら、再度やり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が来ることになっているから、早く片付けてほしいな。</li> <li>・散らかしているんじゃないくて、これからきれいにしていくんだ。</li> <li>・一緒に片付けよう。</li> </ul> |    | <p>り、全部で4回行うことを確認する。</p> <p>○姉役と弟役の児童は、自分のタブレットで撮影することで、やり取りを客観的に確認したり、容易に振り返ったりできるようにする。</p> <p>○「やり取りを聞く人」は、聞きながら、よかったところや、トラブルやすれ違いが起こった原因だと思われるところをメモしておくことを伝える。</p> <p>○なぜそのような言い方をしたのか、どうしたらお互いに納得してしたいことができるかも話し合うように伝える。</p> <p>○必要に応じて、タブレットの映像を確認しながら話し合う。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C)◎姉や弟の立場や思いを伝え、それをどう伝えるか一緒に考える。けんかにならない言い方や相手が嫌な気持ちにならない言い方を考えるよう助言する。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>○時間によっては、役割を姉と弟のみにして、二人組で立場を交代しながらやり取りを行わせることも考えておく。</p> <p>◇それぞれの立場や思いに合わせた言葉を使ってやり取りをしている。【知識・技能】(観察・シート)</p> <p>◇それぞれの立場に立って、思いを伝えたり、互いの発言の中心を捉え聞いたりしながら、よりよい言い方について考えている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> |
| <p>6 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思っていることをきちんと伝えるのが大事だと分かった。</li> <li>・優しく言うと、けんかにならない。</li> </ul>   | 5分 | <p>◎よりよい対話について考えたことや分かったことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、この単元のまとめをすることを伝える。</p>   |

## 板書計画

|  |                  |  |
|--|------------------|--|
| <p>あなたなら、どう言う</p> <p>めあて グループで役わりを決めて話し合い、よりよい言い方について考えよう。</p> | <p>話し合いのグループ</p> | <p>一回目 ①姉 ②弟 ③④聞く人</p> <p>二回目 ①弟 ②姉 ③④聞く人</p> <p>三回目 ①②聞く人 ③姉 ④弟</p> <p>四回目 ①②聞く人 ③弟 ④姉</p> <p>※姉役と弟役のときは、自分のタブレットを横においてさつえいする。</p> <p>※聞く人は、よかったところやトラブルの原因だと思ふところをメモする。</p> <p>※四回目のやり取りが終わったら、話し合う。</p> <p>どうしたら、おたがいになっとくして、したいことができるだろうか。</p> <p>まとめ 姉、弟、聞く人、それぞれの役わりになって、よりよい言い方について考えた。</p> |
|--|------------------|--|

## 本時の展開（3／3）

- (1) **ねらい** 単元全体を振り返る活動を通して、よりよい言い方や対話をするときに大切なことを理解できるようにする。
- (2) **準備** 各自のタブレット 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|---|-----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・お姉さん役も弟役もできた。<br>・グループで話をした。<br>・今日はまとめの時間だね。<br>・振り返りをしよう。  | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、グループで役割を決めてやり取りをして、よりよい言い方について話し合ったことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <b>【本時の学習課題】</b><br>「あなたなら、どう言う」をふり返って、よりよい対話の仕方をまとめよう。   |     |  |
| 2 よりよい対話の仕方を考える。<br>・私が弟だったら、優しい言い方をしてほしいと思うから、初めからきつい言い方をしない方がいいと思う。<br>・姉は弟に、おもちゃを出している理由を初めに聞いた方がよかった。<br>・相手の気持ちを考えた言い方をした方 | 35分 | ◎前時までの児童用学習シートを返却し、それらを見返しながら単元の学習を振り返ることができるようにする。<br>○必要に応じて、自分が姉役や弟役になってやり取りをした映像を見て振り返ってもよいことを伝える。<br>○教科書P119「自分とはちがう立場になって考え |



|  |    |   |
|--|----|---|
| <p>がよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや思いをしっかり伝えることが大事だ。</li> <li>・相手のことを考えるのって大切なんだと思った。</li> <li>・言い方や言葉遣いに気を付けると、お互いに気持ちいいと思う。</li> </ul> <p>3 本単元で学んだことを今後どのように生かせるか考える。（一般化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と話すときに、相手の気持ちを考えて話そう。</li> <li>・これからは、自分のことばかり言わないようにしましょう。</li> <li>・強い言い方をしないように気を付けよう。</li> </ul> |    | <p>る」を参考にしよう声を掛ける。</p> <p>◎個で考え、児童用学習シートに記入する時間を確保した後、前時のグループで交流する。</p> <p>(C) ◎前時の学習を振り返り、姉と弟のそれぞれの思いや言い分を想像してから考えるよう声を掛ける。（教師用単元シートにある手立て）</p> <p>(C) ◎普段の生活での友達や家族とのやり取りを想起するよう声を掛ける。（教師用単元シートにある手立て）</p> <p>◇言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあること、立場によって思いや考えに違いがあることに気付いている。【知識・技能】（観察・シート）</p> <p>◇互いの意見の共通点や相違点に着目して、よりよい対話について考え、まとめている。【思考・判断・表現】（シート）</p> <p>◇学んだことをどのように生かしていくか考えている。【主体的に学習に取り組む態度】（シート）</p> |
| <p>4 単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考えた言い方をすることが大切だと分かった。</li> <li>・これからは、友達に優しく言えるようにしたい。</li> </ul>  | 5分 | <p>◎一般化したことを踏まえながら、単元を通して学んだことや感じたことを、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○なかなか書けない児童には、本時の学習を振り返るよう助言する。</p>  |

## 板書計画

|   |  |                   |
|---|--|-------------------|
| <p>普段の生活で、これからどうにかせるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達にやさしく言う。</li> <li>・おこる前に、ちゃんと話を聞く。</li> <li>・相手の立場や気持ちを考える。</li> </ul> <p>・言葉づかいが大事</p> <p>・相手の気持ちを考えて話す。</p> <p>・初めからきつい言い方をしない。</p> <p>・言い方に気を付ける。</p> <p>・やさしい言い方</p> <p>・よりよい対話の仕方</p> <p>・よい言い方、気を付けること、大切なことなど</p> | <p>めあて 「あなたなら、どう言う」をふり返って、よりよい対話の仕方をまとめよう。</p> | <p>あなたなら、どう言う</p> |
|---|--|-------------------|

単元シート「あなたなら、どう言う」

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|---|--|
| ①言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア)<br>②考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) | ①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)<br>②「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ) | ①学習課題に沿って、様々な立場でやり取りを行い、互いの意見の共通点や相違点に着目して積極的に考えをまとめようとしている。 |

|   | 学習活動  | 「おおむね満足できる」状況(B)  | 「努力を要する」状況(C)への手立て                           |
|---|---|---|--|
| 1 | 単元の課題を確認し、姉の立場に立って考える活動を通して、学習の見通しをもつ。        | 教科書の挿絵をもとに、どんな場面の対話について考えるのかを話し合い、対話の仕方を考えようとしている。(主①)        | これまでの学習を想起させたり、それぞれの立場を考えたりするよう声を掛ける。        |
|   |   |   |  |
| 2 | グループで、それぞれの立場に立って思いを伝えたり、よりよい言い方について話し合ったりする。 | それぞれの立場や思いに合わせた言葉を使ってやり取りをしている。(知①②)                          | 姉や弟の立場や思いを伝え、それをどう伝えるか一緒に考える。                |
|   |   |   |  |
|   |   | それぞれの立場に立って思いを伝えたり、互いの発言の中心を捉え聞いたりしながら、よりよい言い方について考えている。(思①②) | けんかにならない言い方や相手が嫌な気持ちにならない言い方を考えるよう助言する。      |
|   |   |   |  |
| 3 | 単元全体を振り返る活動を通して、よりよい言い方や対話をするときに大切なことを理解する。   | 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあること、立場によって思いや考えに違いがあることに気付いている。(知①②)    | 前時の学習を振り返り、姉と弟のそれぞれの思いや言い分を想像してから考えるよう声を掛ける。 |
|   |   |   |  |
|   |   | 互いの意見の共通点や相違点に着目して、よりよい対話について考え、まとめている。(思①②)                  | 前時の学習を振り返り、姉と弟のそれぞれの思いや言い分を想像してから考えるよう声を掛ける。 |
|   |   |   |  |
|   |   | 学んだことをどのように生かしていくか考えている。(主①)                                  | 普段の生活での友達や家族とのやり取りを想起するよう声を掛ける。              |
|   |   |   |  |

「あなたなら、どう言う」① 名前

单元の課題

めあて

家に帰ってきて、散らかった部屋を見たお姉さんの気持ち

あなたがお姉さんの立場だったら、弟に対してどう言うか考えて、最初の一言を書きな。

まとめ

ふりかえり

先生より

「あなたなら、どう言う」② 名前

単元の課題

めあて

やり取り①を聞いて気付いたこと

やり取り②を聞いて気付いたこと

姉と弟の立場でやり取りしたり、やり取りを聞いたり、話し合ったりして考えたこと

まとめ

ふりかえり

先生より

「あなたなら、どう言う」③ 名前

|       |
|-------|
| 単元の課題 |
|-------|

|     |
|-----|
| めあて |
|-----|

よりよい対話の仕方（より言う方、気を付けること、大切なことなど）

これから、どんなときにどんなふうに、どんな学習をしかせるか考えよう。

「あなたなら、どう言う」④より言う方

|      |
|------|
| 先生より |
|------|

## 国語科学習指導案

令和3年11月 4年1組教室 指導者 研究協力校教諭

### 1 単元名 役わりをいしきしながら話し合おう「クラスみんなで決めるには」

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の「比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。（知識及び技能（2）イ）」「目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。（思考力・判断力・表現力等A（1）オ）」「目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。（思考力・判断力・表現力等A（1）ア）」を受けて、設定したものである。

児童は、3年下巻「はんで意見をまとめよう」で、少人数のグループで司会などの役割を果たしながら、一つの観点で意見をまとめる経験をした。本単元では、それを更に拡大し、学級全体で複数の観点から意見をまとめる学習を行う。児童の身の回りにある問題で、解決できるものを議題にすると、児童は意欲的に参加できる。さらに、複数の観点での話し合いを体験できるような議題が望ましい。

指導事項に関わる内容としては、司会や記録係、参加者などの役割に応じて、共通点や相違点に着目しながら話し合い、多くの人が納得できるように結論を導いていくことができるようにする。

「役割に応じて話し合う」とは、司会グループ（司会、記録係、時間係）や提案者、参加者それぞれの役割を理解し、その役割に応じて話し合いに参加することを意味する。

言語活動に関わる内容としては、互いの考えを伝えて学級全体で話し合い、意見をまとめていく活動である。学級全体での話し合いとなると、参加者が多く、多様な意見が出るため、司会や記録が意見を整理することが求められる。参加者の多い話し合いでは、一人当たりの参加度が下がってしまうことも考えられるため、児童の関心を引くことのできる議題にしたり、少人数での話し合いを適宜取り入れたりするなどの工夫が必要となる。

#### (2) 指導方針

- ・教師が、学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートを作成する。授業時間内の児童の見取りや評価、「努力を要する」（C）の児童に対する授業中や授業後の支援に活用する。
- ・児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことのできる児童用学習シートを作成する。単位時間ごとに児童が記入し、自己の学びの整理や学んだ内容の再確認などに活用できるようにする。
- ・児童の課題解決意欲を高めるために、議題は児童にとって身近な必要感があるものを設定できるようにする。
- ・司会、記録係、時間係、参加者といった異なる役割を自覚させるとともに、互いに見合い、聞き合う態度を育てる。
- ・自信をもって話し合いに臨めるよう、自分の考えをまとめる時間を十分に確保する。
- ・話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。
- ・必要に応じて意図的指名を司会に助言できるよう、前もってそれぞれの児童の考えを把握しておく。
- ・教師用単元シートの記録を児童用学習シートの助言に生かしたり、児童用学習シートの記述から実態を捉えて学習活動の再考や留意点の加筆を行ったりするなど、二つのシートをつなげる指導

を行う。

- ・授業中、児童への支援や見取り、その記録に、教師用単元シートを活用する。『『おおむね満足できる』状況（B）』の欄には、質的な高まりや深まりをもっている児童の名前や様子を、『『努力を要する』状況（C）への手立て』の欄には、支援を行った児童の名前と様子や具体的な手立てなどを記録する。
- ・児童用学習シートは授業後に集約し、児童の記述を評価に生かしたり、教師が授業中に見取った様子や児童の記述を基に助言を記入したりする。
- ・授業中の見取りや児童の記述から児童の実態を踏まえて、学習活動を再考したり、特に留意すべき点を考えたりして、教師用単元シートの「学習活動」の欄に記入する。
- ・本単元で司会グループ（司会、記録係、時間係）の役割を経験できる児童は限られる。今後、学級活動の話合いなどで、全員が司会グループを経験できる機会を設ける。

### 3 研究との関わり

平成28年12月に、中央教育審議会において、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が示された。そこでは、新しい学習指導要領等に向けて、改善すべき事項をまとめ、枠組みを考えていくことが必要となる点の一つとして、『『何が身に付いたか』（学習評価の充実）』を挙げている。それを受けて、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月）では、学習評価の改善の基本的な方向性として、「児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと」「教師の指導改善につながるものにしていくこと」が示された。それらの答申や報告などを踏まえて国立教育政策研究所で作成された『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』（令和2年3月）に、「学習指導要領改訂の趣旨を実現するためには、学習評価の在り方が極めて重要であり、すなわち、学習評価を真に意味あるものとし、指導と評価の一体化を実現することがますます求められている」とある。単に評価をして終わりにすることなく、毎時間の学習評価を充実させ授業改善につなげることが必要である。

小学校学習指導要領（平成29年3月）では、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理し、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確化された。そして、教育目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育むことが求められている。

令和3年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）には、国語の授業改善のポイントとして、「ねらいを明確にした交流活動を設定」することが掲げられている。学びを深める交流活動を行うためには、相手に伝わるように話したり、話し手の伝えたいことの中心を捉えて聞いたりする力が不可欠であり、「話すこと・聞くこと」の指導の充実が重要であると考ええる。

研究協力校では、「話すこと・聞くこと」の力の個人差が大きく、自分の考えを相手に伝わるように話し、相手の意図していることや話の要点を考えながら聞いたりすることが難しい児童もいる。教師側の課題としては、「話すこと・聞くこと」の学習場面で単元を通して必要な評価を行うことが難しく、指導改善につなげることが難しい現状がある。これらの課題からも、教師が毎時間の評価を指導改善につなげ、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高める工夫が必要であると考ええる。

以上のことから、本研究は、小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域が含まれる単元での指導において、教師が学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートと児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことができる児童用学習シートをつなげる指導を行い、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高められることを実践を通して明らかにしていくことをねらいとしている。そのため、本単元の学習を進める中で、教師用単元シートと児童用学習シートを活用し指導改善を図っていくことを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まったかを検証するものである。

#### 4 単元目標

- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。（知識及び技能）
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめるとともに、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

#### 5 指導と評価の計画（全8時間予定） ●指導に生かす評価 ○評価に用いる評価

| 評価<br>規<br>準   | 知識・技能         | ①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。（(2)イ）   |                |   |   |  |
|--|---------------|---|----------------|---|---|--|
|  | 思考・判断・表現      | ①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。（A(1)オ）<br>②「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。（A(1)ア） |                |   |   |  |
|  | 主体的に学習に取り組む態度 | ①進んで、目的や進め方を確認し司会などの役割を果たし、学習の見通しをもって、学級全体で話し合っている。   |                |   |   |  |
|  | 時程            | 過程  | 評価の観点<br>知 思 態 |   |   | 評価項目<br>〈方法〉   |
| 第1時  | つかむ           | ○「役割を意識しながら話し合う」とは<br>どういうことかを考え、計画を立てる<br>活動を通して、学習の見通しをもつこ<br>とができるようにする。   |                |   | ● | 学習の見通しをもち、関心<br>をもって話し合いに取り組も<br>うとしている。〈観察・シ<br>ート〉                               |
| <div>単元の学習課題</div> 目的や進め方をたしかめ役わりを果たしながら、クラスみんなで話し合おう。 |               |   |                |   |   |  |
| 第2時  | 追究する          | ○話し合う目的を意識して、学校生活の<br>中から必要感のある議題と役割を決め<br>ることができるようにする。  |                |   | ● | 話し合いの目的を意識して議<br>題を考えている。〈観察・<br>シート〉  |
| <div>[本時の学習課題]</div> クラスみんなで話し合う議題と役わり<br>を決めよう。       |               |   |                |   |   |  |
| 第3時  |               | ○手本の話し合いの様子を基に話し合いで<br>気を付けるとよいことを確かめる活動<br>を通して、よりよい話し合いの進め方<br>を考えられるようにする。   |                |   | ● | 自分の役割について、話し<br>合いで気を付けるとよいこと<br>を考えている。〈観察・シ<br>ート〉                               |
| <div>[本時の学習課題]</div> 話し合いで気を付けるとよいこと<br>を考えよう。         |               |   |                |   |   |  |
| 第4時  |               | ○それぞれの役割に応じた「気を付け<br>るとよいこと」を意識し話し合いの準備<br>をする活動を通して、自分の役割にと<br>って必要な事柄をまとめられるよう<br>にする。  | ●              | ● |   | 必要な語句を使って、役割<br>に応じて自分の考えを書き<br>留めている。〈観察・シ<br>ート〉<br>議題に対する自分の考えを<br>明確にし、話すことを選ん |



|     |      |   |     |     |  |
|-----|------|---|-----|-----|--|
|     |      | <div> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           話し合い①の準備をしよう。         </div>  |     |     | でいる。〈観察・シート〉   |
| 第5時 |      | ○「よりよい話し合いの進め方」を意識して、役割を果たしながら話し合いをすることができるようにする。<br><div> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           役わりをいしきしながら、話し合おう。         </div>                    |     | ● ● | 自分の役割を果たしながら話し合い、議題に対する考えをまとめている。〈観察・シート〉<br>進んで役割を果たしながら話し合っている。〈観察・シート〉      |
| 第6時 |      | ○話し合い①を振り返り、次の話し合いに向けて準備する活動を通して、自分の役割にとって必要な事柄をまとめられるようにする。<br><div> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           話し合い②の準備をしよう。         </div>              | ○ ○ |     | 必要な語句を使って、役割に応じて自分の考えを書き留めている。〈観察・シート〉<br>議題に対する自分の考えを明確にし、話すことを選んでいる。〈観察・シート〉 |
| 第7時 |      | ○話し合い①の振り返りを生かして、役割を果たしながら話し合いをすることができるようにする。<br><div> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           役わりをいしきしながら、より上手に話し合おう。         </div>                   | ○ ○ |     | 自分の役割を果たしながら話し合い、議題に対する考えをまとめている。〈観察・シート〉<br>進んで役割を果たしながら話し合っている。〈観察・シート〉      |
| 第8時 | まとめる | ○単元全体を振り返る活動を通して、よりよい話し合いの進め方をまとめることができるようにする。<br><div> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           「クラスみんなで決めるには」をふり返って、よりよい話し合いの進め方をまとめよう。         </div> | ○ ○ |     | よりよい話し合いの進め方をまとめている。〈観察・シート〉<br>学んだことをどのように生かしていくか考えている。〈観察・シート〉               |

## 6 本時の展開（1／8）

- (1) **ねらい** 「役割を意識しながら話し合う」とはどういうことを考え、計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|--|
| 1 これまでの話し合いを振り返り、単元の学習課題を設定する。<br>・話し合いが進まなくて困ったことがある。<br>・司会になったとき、なかなか意見がまとまらなくて大変だった。 | 15分 | ○教科書にある「四年上までの学びをたしかめよう」を活用する。<br>○これまでの話し合いで困ったことを想起させたり、単元名や教材名を伝えたりして、学習課題の設定につなげる。<br>○「役割を意識しながら」とはどういうことを確認する。<br>◎児童用学習シートに単元の課題を記入するよう声を掛ける。 |

|   |     |   |
|---|-----|---|
| <div>単元の学習課題</div> <div>目的や進め方をたしかめ役わりを果たしながら、クラスみんなで話し合おう。</div>   |     |   |
| 2 本時のめあてをつかむ。<br>・新しい学習だから、計画を立てる。<br>・どのような学習をするか、確認する。  | 25分 | ○本時は単元の課題を理解し、どのような学習をしていくか見通しをもつことがめあてであることを伝える。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div>[本時の学習課題]</div> <div>クラスみんなで話し合うために、計画を立てて、学習の見通しをもとう。</div>   |     |   |
| 3 学習計画を立てる。<br>・話し合うことを決める。<br>・役割を決める。<br>・話合いの準備では、自分の考えをまとめておく。<br>・司会はどう進めるかを考えておく。<br>・話し合って気付いたことを伝えよう。 |     | ○児童とやり取りをしながら、単元の課題を解決するために必要なことを考えさせていく。<br>○教科書にはないが、まず始めに議題を決めることを確認する。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(c) ◎これまでの学習を想起させたり、教科書を参考にしたりするよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)<br>◇学習の見通しをもち、関心をもって話合いに取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート) |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・何について話し合おうかな。<br>・司会をやってみよう。<br>・上手に話し合いたい。  | 5分  | ◎クラスみんなで話し合うことについての思いや意気込みを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、学校生活の中から必要感のある議題を考え、二つ決めることを伝える。  |

## 板書計画

|  |  |                         |
|--|--|-------------------------|
| <div>めあて</div> <div>クラスみんなで話し合うために、計画を立てて、学習の見通しをもとう。</div>  | <div>単元の課題</div> <div>目的や進め方をたしかめ役わりを果たして、クラスみんなで話し合おう。</div>  | <div>クラスみんなで決めるには</div> |
| <div>学習計画で必要なこと</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題を決める。</li> <li>・ 話し合いのじゅんぴをする。</li> <li>・ 自分の考えをまとめる。</li> <li>・ 役割を決める。</li> <li>・ クラス全員で話し合う。</li> <li>・ 話し合って気づいたことを伝え合う。</li> <li>・ 役わりのじゅんぴをする。</li> </ul> | <div>まとめ</div> <div>学習計画</div> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 目的と議題を決める。</li> <li>② 役割を決める。</li> <li>③ 話し合いのじゅんぴをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えをまとめる。</li> <li>・ 司会グループは、進行計画を立てる。</li> </ul> </li> <li>④ クラス全体で話し合う。</li> <li>⑤ 話し合いのしかたについて、気づいたことを伝え合う。</li> <li>⑥ 単元の学習をふり返る。</li> </ol> |                         |

## 本時の展開（２／８）

- (1) **ねらい** 話し合う目的を意識して、学校生活の中から必要感のある議題と役割を決めることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 「学習計画」 掲示資料
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・学習計画を立てたから、何をするか分かった。<br>・今日は、議題を決めるんだ。<br>・どのような議題がよいかな。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○掲示資料を見ながら、前時は学習の計画を立てたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           クラスみんなで話し合う議題と役割を決めよう。         </div>  |     |   |
| 2 話し合う議題を考え、二つ決定する。<br>・休み時間に教室で過ごす人が怪我をすることがあったので、教室での過ごし方について話し合いたい。<br>・焼き芋集会が近いので、成功させるために自分たちができることを話し合いたい。<br>・委員会のことをもっと知ってもらうためにできることを話し合いたい。<br>・図書室に行く人が少ないので、もっとたくさんの人が読書に取り組むにはどうしたらよいか話し合いたい。 | 35分 | ○児童の課題解決意欲を高めるために、議題は児童にとって身近な必要感があるものを設定できるようにする。<br>○議題は、「校内外の行事に関わるもの」「学級内の諸問題に関わるもの」など、特別活動と関連させる。<br>○課題を決めるに当たっては、一人一人が考えをもてるよう、個人で考える時間を十分に確保する。<br>○議題を挙げる際には、なぜそのことを話し合いたいのか、話し合う目的をはっきりさせるよう伝える。<br>○本単元では二つの議題について話し合う。議題案として挙げたもののうち今回取り上げないものは、別の機会に話し合うこととする。<br>○教科書 P37 <b>1</b> を読み、役割とすべき内容を確認する。それぞれの役割や話し合いに参加する際に大切なことについて板書し、どのようなことを意識して取り組む必要があるのかを視覚化する。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(c) ◎学校生活の中から、困っていることや予定されている行事などについて考えるよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)<br>◇話し合いの目的を意識して、議題を考えている。<br><b>【思考・判断・表現】（観察・シート）</b> |
| 3 話し合いでの役わりを2回分決める。<br>・司会グループがいるね。<br>・司会の人<br>・記録係<br>・時間係<br>・僕たちは参加者だね。  |     |   |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・私が考えた議題を話し合うことになって、話し合いが楽しんだ。<br>・今日決めた議題について、役割を果たしながら話し合えるよう頑張りたい。  | 5分  | ◎議題を考えたり、役割を決めたりしたことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、どのようなことを話し合いで気を付けるとよいかを考えることを伝える。  |

## 板書計画

|   |   |   |                  |  |  |   |
|---|---|---|------------------|--|--|---|
| <p>クラスみんなで決めるには</p> <p>めあて クラスみんなで話し合う議題と役割を決めよう。</p> | <p>話し合う議題を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室での過ごし方について</li> <li>・焼き芋集会を成功させるためにできること</li> <li>・委員会のことをもっと知ってもらう方法</li> <li>・もっとたくさんの人が読書に取り組むようにするためには</li> </ul> | <p>決まった議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼き芋集会を成功させるためにできること</li> <li>・教室での過ごし方</li> </ul> | <p>話し合いでの役わり</p> | <p>司会グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会</li> <li>・記録係</li> <li>・時間係</li> </ul> <p>※出された意見を整理しながら進行する。</p> | <p>参加者</p> <p>※進行にそって、自分の立場や考えを発言する。</p> | <p>まとめ 焼き芋集会のことと教室での過ごし方について話し合う。</p> <p>司会グループ（司会・記録係・時間係）と参加者の役わりがある。</p> |
|---|---|---|------------------|--|--|---|

## 本時の展開（3／8）

- (1) **ねらい** 手本の話合いの様子を基に話し合いで気を付けるとよいことを確かめる活動を通して、よりよい話し合いの進め方を考えられるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 「学習計画」 掲示資料
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題は、○○と△△になった。</li> <li>・僕は2回とも参加者だ。</li> <li>・よい話し合いをするにはどうすればよいのかな。</li> </ul>   | 5分  | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、議題と役割を決めたことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>  |
| <p><b>【本時の学習課題】</b></p> <p>話し合いで気を付けるとよいことを考えよう。</p>   |     |   |
| <p>2 手本の話合いを聞いたり教科書の話合いの例を読んだりして、話し合いで気を付けるとよいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会は、できるだけ多くの発言が出るように、声を掛ける。</li> <li>・記録は、出された意見を黒板で整理して示す。</li> <li>・参加者は、指名されてから発言する。</li> </ul> <p>3 学級全体で、よりよい話し合いを進めるために、気を付けるとよいことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループ</li> </ul> | 35分 | <p>○話し合いのイメージがもてるよう、付録のCDを活用する。</p> <p>○自分の役割で気を付けるとよいことを考える時間を確保した後、二つの司会グループと三つの参加者グループで、役割ごとに気を付けるとよいことを確認する。</p> <p>○司会グループは、司会、記録係、時間係の役割に分かれるが、司会グループを一つの役割と捉えて気を付けるとよいことを考えるように伝える。</p> <p>○本単元では話し合いを2回しか行わないため、全員が司会グループの役割を果たすことはできないが、それぞれの役割を果たすときに気を付けるとよいことを確認する。</p> |

|  |    |  |
|--|----|--|
| <p>できるだけ多くの意見が出るように、声を掛ける。<br/>出された意見を黒板で整理して示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者<br/>指名されてから発言する。<br/>賛成や反対など、自分の立場をはっきりさせる。</li> </ul> |    | <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎教科書の例が役割によって色分けされていることを示し、自分の役割に関わる場所を見付けるよう助言する。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇自分の役割について、話し合いで気を付けるとよいことを考えている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私は参加者なので、指名されてから発言すること、意見だけでなくその理由も話すことが大切だと分かった。</li> </ul>                        | 5分 | <p>◎自分の役割を中心に、よりよい話し合いの進め方について考えたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、1回目の話し合いの準備をすることを伝える。</p>   |

## 板書計画

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>まとめ<br/>それぞれの役わりの気をつけるとよいことをいしきすると、よりよい話し合いをすることができる。</p> | <p>・ ・ ・</p> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指名されてから発言する。</li> <li>賛成や反対など、自分の立場をはっきりさせる。</li> </ul> <p>・ ・ ・</p> <p>司会グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ多くの意見が出るように声を掛ける。</li> <li>出された意見を黒板で整理して示す。</li> </ul> <p>・ ・ ・</p> <p>〈よりよい話し合いの進め方〉</p> <p>よりよい話し合いをするために、自分の役わりで、気をつけるとよいことをまとめよう。</p> <p>同じ役わりのグループで、気をつけるとよいことを確かめよう。</p> | <p>クラスみんなで決めるには</p> <p>めあて 話し合いで気をつけるとよいことを考えよう。</p> |
|--|---|--|

## 本時の展開（４／８）

- (1) **ねらい** それぞれの役割に応じた「気を付けるとよいこと」を意識し話し合いの準備をする活動を通して、自分の役割にとって必要な事柄をまとめられるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート 「よりよい話し合いの進め方」掲示資料
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|----|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司会グループは、多くの参加者の意見が出るようにする。</li> <li>参加者は、考えと理由を言えるようにしておかないと。</li> <li>今日は、話し合いの準備をするんだ。</li> </ul> | 5分 | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、よりよい話し合いを進めるために、役割ごとに気を付けるとよいことを考えたことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声</p> |

|   |                  |   |
|---|------------------|---|
|   |                  | を掛ける。   |
|   | <b>[本時の学習課題]</b> | 話し合い①のじゅんびをしよう。   |
| <p>2 話し合いの議題と役割、それぞれの役割で気を付けるとよいことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループの気を付けるとよいことは…。</li> <li>・参加者は、…。</li> <li>・役割によって、気を付けるとよいことが違うんだ。</li> <li>・困ったらこれを見て考えよう。</li> </ul> <p>3 話し合いをするために、自分の役割に必要なことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループ<br/>司会：議題と話の進め方の確認をする。次に…。<br/>記録：まず、議題を大きく書いて…。<br/>(大まかな板書計画)<br/>時間係：司会グループで相談して、時間配分を決めておく。</li> <li>・参加者<br/>議題について、～～～がよいと思う。理由は、△△だから。</li> </ul> | 35分              | <p>○話し合いの準備をするに当たり、気を付けるとよいことは役割によって違うことを改めて確認する。</p> <p>○役割ごとの「気を付けるとよいこと」を、「よりよい話し合いの進め方」として掲示資料にまとめ、いつでも確認できるようにしておく。</p> <p>○自信をもって話し合いに臨めるよう、自分の考えをまとめる時間を十分に確保する。</p> <p>○司会グループは、司会、記録係、時間係それぞれの役割を確認し、進行計画やおおまかな板書計画を考えることを確認する。</p> <p>○参加者は、議題に対しての自分の考えとその理由をまとめることを確認する。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎役割に応じて活動内容を助言し、どのような言葉を使ってまとめたらいいかを一緒に考える。議題について普段の生活やこれまでの経験などから想起するよう声を掛けたり、例を挙げて助言したりする。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇必要な語句を使って、役割に応じて自分の考えを書き留めている。【知識・技能】〈観察・シート〉</p> <p>◇議題に対する自分の考えを明確にし、話すことを選んでいく。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会の準備がしっかりできたので、明日の話し合いはうまくできると思う。</li> <li>・自分の考えをはっきりさせることができた。話し合いでは、手を挙げて意見を言えるように頑張りたい。</li> </ul>   | 5分               | <p>◎それぞれの役割に応じて話し合いの準備をしたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、1回目の話し合いを行うことを伝える。</p>   |



## 板書計画

|   |                            |   |   |
|---|----------------------------|---|---|
| <p>まとめ</p> <p>司会グループは、話し合いの進行計画を立てる。</p> <p>参加者は、自分の考えと理由をまとめておく。</p> | <p>自分の役わりに必要なことをまとめよう。</p> | <p>・ ・ ・</p> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指名されてから発言する。</li> <li>・ 賛成や反対など、自分の立場をはっきりさせる。</li> <li>・ ・ ・</li> </ul> <p>・ 出された意見を黒板で整理して示す。</p> <p>・ ・ ・</p> <p>（よりよい話し合いの進め方）</p> <p>司会グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できるだけ多くの意見が出るように、声を掛ける。</li> </ul> | <p>めあて 話し合い①のじゅんぴをしよう。</p> <p>議題 ○○○○○○</p> <p>クラスみんなで決めるには</p> |
|---|----------------------------|---|---|

### 本時の展開（５／８）

- (1) **ねらい** 「よりよい話し合いの進め方」を意識して、役割を果たしながら話し合いをすることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・ 予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|---|-----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・ 話し合いの準備をした。<br>・ 今日は、クラスで話し合う。<br>・ 自分の役割を頑張ろう。   | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、それぞれの役割に応じて話し合いの準備をしたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           役わりをいしきしながら、話し合おう。         </div> |     |  |
| 2 クラス全体で議題について話し合う。   | 35分 | ○必要に応じて司会に意図的指名を助言できるよう、前もってそれぞれの児童の考えを把握しておく。<br>○話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。<br>○それぞれの役割のポイントを明確にして話し合いを観察し、全員参加になるような個への支援や司会グループへの助言を適宜入れていく。<br>○自分の発言や話し合いの様子を振り返ることができるよう、タブレットを活用する。<br>○自分の役割についての振り返りと、役割に関わらず、話し合ったことを基に議題に対する考え |
| 3 話し合いを振り返り、議題に対する  |     |  |

|   |    |   |
|---|----|---|
| <p>考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私は、〇〇〇がよいと思ったけれど、その考えの友達はいなかった。Aさんが考えた△△△という考えはすごいと思った。話合いの最後で、△△△に決まって、これならみんなで頑張っていけると思った。</li> <li>ぼくの役割は、記録係だった。みんながどんどん意見を言うので、記録するのが大変だったけど、司会グループで協力して分かりやすく記録ができたと思う。</li> </ul> |    | <p>をまとめるよう伝える。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎役割に応じて必要な声掛けをする。自分の役割を意識していたか、自分の役割をしっかりとできていたかなど具体的に問い掛けたり、議題に対する自分の考えと最後に決まったことを比べてみるよう声を掛けたりする。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇自分の役割を果たしながら話し合い、議題に対する考えをまとめている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> <p>◇進んで役割を果たしながら話し合っている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記録係としてしっかりできてうれしかった。次は参加者なので、頑張って意見を言いたい。</li> </ul>   | 5分 | <p>◎クラス全体で話し合ったことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、今日の話し合いをクラス全体で振り返り、次の話し合いの準備をすることを伝える。</p>   |

#### 板書計画

|   |                  |  |
|---|------------------|--|
| <p>まとめ</p> <p>よい。自分の役わりを果たしながら話し合うと</p> | <p>(話し合いの記録)</p> | <p>めあて</p> <p>クラスみんなで決めるには</p> <p>役わりをいしきしながら、話し合おう。</p> |
|---|------------------|--|

#### 本時の展開 (6 / 8)

- (1) **ねらい** 話し合い①を振り返り、次の話し合いに向けて準備する活動を通して、自分の役割にとって必要な事柄をまとめられるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応     | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て |
|--------------------------|----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 | 5  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるように        |



|  |     |   |
|--|-----|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回目の話し合いをした。</li> <li>・ 2 回目の話し合いの準備をする。</li> </ul>  | 分   | <p>する。</p> <p>○前時は、クラス全体で話し合ったことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>[本時の学習課題]</b></p> <p>話し合い②のじゅんぴをしよう。</p> </div>   |     |   |
| <p>2 前時の話し合いを振り返り、よかった点やうまくいかなかった点を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見が次々と出てきたので、話し合いが進んだ。</li> <li>・ 司会がいろいろな人に意見を聞いていて、最後に上手にまとめてくれた。</li> <li>・ 自分の考えを先に言われてしまって、意見が言えなかった。</li> </ul> <p>3 議題を確認し、話し合いをするために、自分の役割に必要なことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会グループ<br/>司会：議題と話の進め方の確認をする。次に・・・<br/>記録：まず、議題を大きく書いて・・・<br/>(大まかな板書計画)<br/>時間係：司会グループで相談して、時間配分を決めておく。</li> <li>・ 参加者<br/>議題について、～～～がよいと思う。理由は、△△だから。</li> </ul> | 35分 | <p>○多くの人が納得できる結論になっていたかも振り返るよう投げかける。</p> <p>○うまくいかなかった点は、改善の方法まで共有させることで、次の話し合いに生かせるようにする。</p> <p>○デジタルホワイトボードを活用し、グループで共有した後、クラス全体で共有する。</p> <p>○「よりよい話し合いの進め方」に、振り返りで共有した新たな項目を書き加える。</p> <p>○自信をもって話し合いに臨めるよう、自分の考えをまとめる時間を十分に確保する。</p> <p>○司会グループは、司会、記録係、時間係それぞれの役割を確認し、進行計画やおおまかな板書計画を考えることを確認する。</p> <p>○参加者は、議題に対しての自分の考えとその理由をまとめることを確認する。</p> <p>○前時の話し合いの振り返りを生かすよう声を掛ける。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎役割に応じて活動内容を助言し、どのような言葉を使ってまとめたらいいかを一緒に考える。議題について普段の生活やこれまでの経験などから想起するよう声を掛けたり、例を挙げて助言したりする。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇必要な語句を使って、役割に応じて自分の考えを書き留めている。【知識・技能】〈観察・シート〉</p> <p>◇議題に対する自分の考えを明確にし、話すことを選んでいく。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の話し合いでは参加者なので、自分の考えをまとめて理由も書けた。手を挙げて意見を言って、役割を果たしたい。</li> </ul>  | 5分  | <p>◎次の話し合いの準備をしたことについて振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、2 回目の話し合いを行うことを伝える。</p>  |

## 板書計画

|   |   |
|---|---|
| <p>まとめ</p> <p>司会グループは意見が出やすい工夫をする、参加者は自分の考えと比べながら聞いたり話したりすると、よりよい話し合いになる。</p> | <p>クラスみんなで決めるには</p> <p>めあて 話し合い②のじゅんぴをしよう。</p> <p>話し合い①をふり返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よかった点</li> <li>・うまくいかなかった点</li> </ul> <p>話し合い②の議題 △△△△△△△△ を確かめよう。</p> <p>〈よりよい話し合いの進め方〉</p> <p>司会グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多くの意見が出るように、声を掛ける。</li> <li>・出された意見を黒板で整理してしめす。</li> <li>・意見が出ないときは、近くの人と相談する時間をとる。</li> <li>・とどころで、そこまでに出了意見をまとめる。</li> </ul> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指名されてから発言する。</li> <li>・さんせいや反対など、自分の立場をはっきりさせる。</li> <li>・前の人の意見を受けているのか、ちがうことを話すのかを、発言の初めに言う。</li> <li>・よくわからないところは、しつもんする。</li> </ul> <p>自分の役わりに必要なことをまとめよう。</p> |
|---|---|

## 本時の展開（7／8）

- (1) **ねらい** 話し合い①の振り返りを生かして、役割を果たしながら話し合いをすることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目の話し合いのことを振り返った。</li> <li>・～～についての話し合いの準備をした。</li> <li>・今日は2回目の話し合いをする。</li> </ul> | 5分  | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、1回目の振り返りを生かして話し合いの準備をしたことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>  |
| <p><b>[本時の学習課題]</b></p> <p>役わりをいしきしながら、より上手に話し合おう。</p>   |     |   |
| <p>2 クラス全体で議題について話し合う。</p>   | 35分 | <p>○1回目の話し合いよりもよりよい話し合いができるように、振り返ったことを意識するよう伝える。</p> <p>○必要に応じて司会に意図的指名を助言できるよう、前もってそれぞれの児童の考えを把握しておく。</p> <p>○話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。</p> <p>○それぞれの役割のポイントを明確にして話し合いを観察し、全員参加になるような個への支援や司会グループへの助言を適宜入れていく。</p> |

|  |    |  |
|--|----|--|
| <p>3 話し合いを振り返り、議題に対する考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼくの役割は、司会だった。みんなから意見が出なかったの、近くの人と相談する時間を取った。司会グループで協力して話し合いが進められたと思う。</li> <li>・ 私は、〇〇〇がよいと思っていて、Aさんと同じ考えだった。他にも似たような考えの友達がいたし、理由もしっかりあったので、〇〇〇に決まった。これから一緒にやっていく上でよいことが決まったと思う。</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の発言や話し合いの様子を振り返ることができるよう、タブレットを活用する。</li> <li>○1回目の話し合いとの比較もしながら、自分の役割についての振り返りと、役割に関わらず、話し合ったことを基に議題に対する考えをまとめるよう伝える。</li> <li>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</li> <li>(C) ◎役割に応じて必要な声掛けをする。自分の役割を意識していたか、自分の役割をしっかりとできていたかなど具体的に問い掛けたり、議題に対する自分の考えと最後に決まったことを比べてみるよう声を掛けたりする。(教師用単元シートにある手立て)</li> <li>◇自分の役割を果たしながら話し合い、議題に対する考えをまとめている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</li> <li>◇進んで役割を果たしながら話し合っている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</li> </ul> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の話合いでは、参加者として自分の考えと理由をはっきり伝えることができた。1回目よりよくできたので、よかった。</li> </ul>   | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎クラス全体で話し合ったことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</li> <li>○次時は、この単元のまとめをすることを伝える。</li> </ul>   |

## 板書計画

|   |                  |  |
|---|------------------|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">まとめ</p> <p>話し合い①でうまくいかなかったところに<br/>気を付けて話し合いをするとよい。</p> </div> | <p>(話し合いの記録)</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">クラスみんなで決めるには</p> <p style="text-align: right;">めあて 役わりをいしきしながら、より上手に話し合おう。</p> </div> |
|---|------------------|--|

## 本時の展開 (8 / 8)

- (1) **ねらい** 単元全体を振り返る活動を通して、よりよい話し合いの進め方をまとめることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット

(3) 展 開

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間   | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C) 努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|---|------|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 回目の話し合いをした。</li> <li>・ 今日はこの単元の最後の時間だから、まとめをするんだ。</li> </ul>   | 5 分  | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、2 回目の話し合いをしたこと、本時はこの単元最後の時間であることを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【本時の学習課題】</b></p> <p>「クラスみんなで決めるには」をふり返って、よりよい話し合いの進め方をまとめよう。</p> </div>   |      |   |
| <p>2 これまでの学習を基に、よりよい話し合いを進めるために大切だと思うことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会は、なるべくたくさんの人が意見を出せるよう、考えて指名していく。</li> <li>・ 参加者は、自分の考えだけでなく理由も言えるようにしておく。</li> </ul> <p>3 本単元で学んだことを今後どのように生かせるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級活動で話し合いをするときには、司会として上手に意見をまとめられるようにしたい。</li> <li>・ 話し合いの時には、自分の役割を意識して話し合いに参加できるようにする。</li> <li>・ 委員会で話し合いをするときは、議題を確認して、自分の考えと理由を言う。</li> </ul> | 35 分 | <p>◎これまでの学習を振り返れるように、本単元の児童用学習シートの活用を促す。</p> <p>○役割ごとに整理して、よりよい話し合いの進め方の中から特に大切だと思うことを自分の言葉でまとめるよう声を掛ける。</p> <p>○必要に応じて、タブレットで、話し合いの様子を見返したり、話し合いの振り返りを確認したりしてもよいことを伝える。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎これまでの児童用学習シートを見返したり、教科書を参考にしたりするよう促し、どこに書いてあるか一緒に確認する。学校生活の様々な場面や他教科での学習を想起するよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇よりよい話し合いの進め方をまとめている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> <p>◇学んだことをどのように生かしていくか考えている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>4 単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい話し合いをするには、自分の役割を意識して話し合いをすることが大切だと分かった。これから、いろいろな役割を上手にできるようになりたいと思う。</li> </ul>  | 5 分  | <p>◎単元を通して学んだことや感じたことを、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p>  |

クラスみんなで決めるには

めあて 「クラスみんなで決めるには」をふり返って、よりよい話し合いの進め方をまとめよう。

よりよい話し合いの進め方

司会グループ

- ・ 司会は、なるべくたくさんの人が意見を出せるよう、考えて指名していく。
- ・ 記録係は、・・・・・・

参加者

- ・ 自分の考えだけでなく理由も言えるようにしておく。

・

ここで学習したことを、

これからどのようにいかしていくか考えよう。

- ・ 学級活動で話し合いをするときには、司会として上手に意見をまとめられるようにしたい。
- ・ 話し合いのときには、自分の役割を意識して話し合いに参加できるようにする。
- ・ 委員会で話し合うときは、議題を確認して、自分の考えと理由を言う。

単元シート「クラスみんなで決めるには」

| 知識・技能                                  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                       |
|--|---|---|
| ①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ) | ①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)<br>②「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) | ①進んで、目的や進め方を確認し司会などの役割を果たし、学習の見通しをもって、学級全体で話し合っている。 |

|   | 学習活動   | 「おおむね満足できる」状況(B)                      | 「努力を要する」状況(C)への手立て   |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1 | 「役割を意識しながら話し合う」とはどういうことかを考え、計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつ。              | 学習の見通しをもち、関心をもって話し合いに取り組もうとしている。(主①)  | これまでの学習を想起させたり、教科書を参考にしたりするよう声を掛ける。  |
|   |  |                                       |  |
| 2 | 話し合う目的を意識して、学校生活の中から必要感のある議題と役割を決める。                             | 話し合いの目的を意識して議題を考えている。(思②)             | 学校生活の中から、困っていることや予定されている行事などについて考えるよう声を掛ける。  |
|   |  |                                       |  |
| 3 | 手本の話し合いの様子を基に話し合いで気を付けるとよいことを確かめる活動を通して、よりよい話し合いの進め方を考える。        | 自分の役割について、話し合いで気を付けるとよいことを考えている。(思①)  | 教科書の例が役割によって色分けされていることを示し、自分の役割に関わる場所を見付けるよう助言する。                                  |
|   |  |                                       |  |
| 4 | それぞれの役割に応じた「気を付けるとよいこと」を意識し話し合いの準備をする活動を通して、自分の役割にとって必要な事柄をまとめる。 | 必要な語句を使って、役割に応じて自分の考えを書き留めている。(知①)    | 役割に応じて活動内容を助言し、どんな言葉を使ってまとめたらよいかを一緒に考える。   |
|   |  |                                       |  |
|   |  | 議題に対する自分の考えを明確にし、話すことを選んでいる。(思②)      | 議題について普段の生活やこれまでの経験などから想起するよう声を掛けたり、例を挙げて助言したりする。                                  |
|   |  |                                       |  |
| 5 | 「よりよい話し合いの進め方」を意識して、役割を果たしながら話し合う。                               | 自分の役割を果たしながら話し合い、議題に対する考えをまとめている。(思①) | 自分の役割を意識していたか、自分の役割をしっかりとできていたかなど具体的に問い掛けたり、議題に対する自分の考えと最後に決まったことを比べてみるよう声を掛けたりする。 |
|   |  |                                       |  |
|   |  | 進んで役割を果たしながら話し合っている。(主①)              | 役割に応じて必要な言葉掛けをする。  |
|   |  |                                       |  |

|   |  |                                       |  |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 6 | 話し合い①を振り返り、次の話し合いに向けて準備する活動を通して、自分の役割にとって必要な事柄をまとめる。 | 必要な語句を使って、役割に応じて自分の考えを書き留めている。(知①)    | 役割に応じて活動内容を助言し、どんな言葉を使ってまとめたらよいかを一緒に考える。   |
|   |  |                                       |  |
|   |  | 議題に対する自分の考えを明確にし、話すことを選んでいる。(思②)      | 議題について普段の生活やこれまでの経験などから想起するよう声を掛けたり、例を挙げて助言したりする。                                  |
|   |  |                                       |  |
| 7 | 話し合い①の振り返りを生かして、役割を果たしながら話し合う。                       | 自分の役割を果たしながら話し合い、議題に対する考えをまとめている。(思①) | 自分の役割を意識していたか、自分の役割をしっかりとできていたかなど具体的に問い掛けたり、議題に対する自分の考えと最後に決まったことを比べてみるよう声を掛けたりする。 |
|   |  |                                       |  |
|   |  | 進んで役割を果たしながら話し合っている。(主①)              | 役割に応じて必要な言葉掛けをする。  |
|   |  |                                       |  |
| 8 | 単元全体を振り返る活動を通して、よりよい話し合いの進め方をまとめる。                   | よりよい話し合いの進め方をまとめている。(思①)              | これまでの児童用学習シートを見返したり、教科書を参考にしたりするよう促し、どこに書いてあるか一緒に確認する。                             |
|   |  |                                       |  |
|   |  | 学んだことをどのように生かしていくか考えている。(主①)          | 学校生活の様々な場面や他教科での学習を想起するよう声を掛ける。  |
|   |  |                                       |  |

「クラスみんなで決めるには」① 名前

単元の課題

めあて

学習計画で必要なことを考えよう。

まとめ

ふりかえり

先生より



「クラスみんなで決めるには」② 名前

単元の課題

めあて

話し合う議題を考えよう。

決まった議題

①

②

話し合いでの役わり

自分の役わり ①

②

まとめ

ふりかえり

先生より

「クラスみんなで決めるには」③ 名前

|       |
|-------|
| 単元の課題 |
|-------|

|     |
|-----|
| めあて |
|-----|

よりよい話し合いをするために、自分の役わりで気を付けることよいことをおぼえよう。

〈よりよい話し合いの進め方〉

|        |     |
|--------|-----|
| 司会グループ | 参加者 |
|--------|-----|

|     |
|-----|
| まとめ |
|-----|

ふりかえり

|      |
|------|
| 先生より |
|------|

「クラスみんなで決めるには」④ 名前

単元の課題

めあて

議題

参加者は自分の考えとその理由をまとめよう。  
同会グループは、自分の役わりの進行計画を立てよう。

まとめ

ふりかえり

先生より

「クラスみんなで決めるには」⑤ 名前

単元の課題

めあて

話し合ったことをもとに、議題についての考えをまとめよう。

自分の役わり( )について、

気づいたこと・できたこと・次の話し合いに向けての気持ちなど、感想を書こう。

自分の役わりを果たすことができたか。      できた      まあまあ      あまり      できなかった

まとめ

うりかえり

先生より

「クラスみんなで決めるには」⑥ 名前

単元の課題

めあて

議題

参加者は自分の考えとその理由をまとめよう。  
司会グループは、自分の役わりの進行計画を立てよう。

まとめ

振り返り

先生より

「クラスみんなで決めるには」⑦ 名前

単元の課題

めあて

話し合ったことをもとに、議題についての考えをまとめてよう。

自分の役わり( )について、

気づいたこと・できたこと・がんばったこと・反省などを、感想を書こう。

自分の役わりを果たすことができたか。      できた      まあまあ      あまり      できなかった

まとめ

うりかえり

先生より

「クラスみんなで決めるには」⑧ 名前

単元の課題

めあて

よりよい話し合いの進め方の中から、特に大切だと思ふことをせよ。

11で学習したことを、これからどのようにいかしていかかを考えよ。

「クラスみんなで決めるには」の振り返り

先生より

## 国語科学習指導案

令和3年9月 6年1組教室 指導者 研究協力校教諭

### 1 単元名 対話の練習をしよう「いちばん大事なものは」

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の「思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。（知識及び技能（1）オ）」「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。（思考力・判断力・表現力等A（1）オ）」を受けて、設定したものである。

児童は、1学期に「聞いて、考えを深めよう」で、自分の考えを深めるために、どのような聞き方をすればよいか考える学習をした。本単元では、その学習を生かし、メンバーを変えながら同じ話題で語り合う話し合いを通して、自分の考えを広げたりまとめたりする学習を行う。「大切にしていきたい」と考えていることを、他者がどのように意味付けているのかを知り、自分の意味付け方を見直すことは、メタ認知的思考の獲得につながっていくと考える。

指導事項に関わる内容としては、他者の考え方の理由や背景をよく聞くことと、他者の声を通して自分の考えがどのように更新されていくかを明確に意識することに焦点を当てる。元の考えに対して、誰のどのような言葉に影響を受け、自分がどう考えるようになったかを言語化できるよう、メモやワークシートを用いて記録を残すなど、配慮する必要がある。

言語活動に関わる内容としては、これからの生活で、自分がどのようなものや考え方を大切にしていきたいと考えているかを友達と話し合う活動である。楽しくリラックスした雰囲気、互いの考えを否定することなく、尊重し合い、互いの意図に応じて自由に意見を伝え合う。比較的短時間で、多くの友達と考えを交流できるため、構成メンバーによって考えや表現が変わっていくことを実感できると考える。

#### (2) 指導方針

- ・教師が、学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができ、教師用単元シートを作成する。授業時間内の児童の見取りや評価、「努力を要する」(C)の児童に対する授業中や授業後の支援に活用する。
- ・児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことのできる児童用学習シートを作成する。単位時間ごとに児童が記入し、自己の学びの整理や学んだ内容の再確認などに活用できるようにする。
- ・手本となる対話を聞くことで学習の見通しがもてるよう、付録のCDを活用する。
- ・これまでの経験やCDでのやり取りをもとにして思考に関わる語句を確認し、考えの記述や話し合いで使うように促していく。
- ・自分の捉え方を見直し、新たな価値を見出すことができるよう、自分と考えが似ている友達や異なる友達との交流の場を設定する。
- ・各自の話す・聞く時間を十分に確保し、効率よく多くの人と対話するために、三人一組のグループを作る。
- ・話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。
- ・教師用単元シートの記録を児童用学習シートの助言に生かしたり、児童用学習シートの記述から実態を捉えて学習活動の再考や留意点の加筆を行ったりするなど、二つのシートをつなげる指導の工夫を行う。



- ・授業中、児童への支援や見取り、その記録に、教師用単元シートを活用する。『『おおむね満足できる』状況（B）』の欄には、質的な高まりや深まりをもっている児童の名前や様子を、『『努力を要する』状況（C）への手立て』の欄には、支援を行った児童の名前と様子や具体的な手立てなどを記録する。
- ・児童用学習シートは授業後に集約し、児童の記述を評価に生かしたり、教師が授業中に見取った様子や児童の記述をもとに助言を記入したりする。
- ・授業中の見取りや児童の記述から児童の実態を踏まえて、学習活動を再考したり、特に留意すべき点を考えたりして、教師用単元シートの「学習活動」の欄に記入する。
- ・互いの考えを否定することなく、尊重しながら話し合いを進めるよう伝える。
- ・友達の考えを聞いていくうちに考えが変わったり広がったりしたことを次の話し合いに生かすよう助言する。
- ・自分との共通点や相違点を明確にしたり、自分では気付かなかった考え方を理解したりできるように、メモを取りながら聞くよう助言する。
- ・三人での対話を各自のタブレットで撮影して確認できるようにしておくことで、対話を振り返ってメモできるようにする。
- ・最後に初めの三人組で交流する時間を確保することで、初めの考えから変わったことや、考えが広がったことを話し合うことができるようにする。

### 3 研究との関わり

平成28年12月に、中央教育審議会において、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が示された。そこでは、新しい学習指導要領等に向けて、改善すべき事項をまとめ、枠組みを考えていくことが必要となる点の一つとして、『『何が身に付いたか』（学習評価の充実）』を挙げている。それを受けて、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月）では、学習評価の改善の基本的な方向性として、「児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと」「教師の指導改善につながるものにしていくこと」が示された。それらの答申や報告などを踏まえて国立教育政策研究所で作成された『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』（令和2年3月）に、「学習指導要領改訂の趣旨を実現するためには、学習評価の在り方が極めて重要であり、すなわち、学習評価を真に意味あるものとし、指導と評価の一体化を実現することがますます求められている」とある。単に評価をして終わりにすることなく、毎時間の学習評価を充実させ授業改善につなげることが必要である。

小学校学習指導要領（平成29年3月公示）では、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理し、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確化された。そして、教育目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理された。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育むことが求められている。

令和3年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）には、国語の授業改善のポイントとして、「ねらいを明確にした交流活動を設定」することが掲げられている。学びを深める交流活動を行うためには、相手に伝わるように話したり、話し手の伝えたいことを中心に捉えて聞いたりする力が不可欠であり、「話すこと・聞くこと」の指導の充実が重要であると考えられる。

研究協力校では、「話すこと・聞くこと」の力の個人差が大きく、自分の考えを相手に伝わるように話したり、相手の意図していることや話の要点を考えながら聞いたりすることが難しい児童もいる。教師側の課題としては、「話すこと・聞くこと」の学習場面で単元を通して必要な評価を行うことが難しく、指導改善につなげることが難しい現状がある。これらの課題からも、教師が毎時間の評価を指導改善につなげ、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高める工夫が必要であると考えられる。

以上のことから、本研究は、小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域の含まれる単元での指導にお

いて、教師が学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができ、教師用単元シートと児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことができる児童用学習シートをつなげる指導の工夫を行い、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高められることを実践を通して明らかにしていくことをねらいとしている。そのため、本単元の学習を進める中で、教師用単元シートと児童用学習シートを活用し指導改善を図っていくことを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まったかを検証するものである。

#### 4 単元の目標

- 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。（知識及び技能）
- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

#### 5 指導と評価の計画（全3時間予定） ●指導に生かす評価 ○評価に用いる評価

| 評価<br>規<br>準  | 知識・技能         |  | ①思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。（(1)オ）                                 |   |   |  |
|---|---------------|--|--|---|---|--|
|   | 思考・判断・表現      |  | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ） |   |   |  |
|   | 主体的に学習に取り組む態度 |  | ①積極的に自分の考えを広げたりまとめたりしながら、学習の見通しをもって互いの考えを聞き合おうとしている。               |   |   |  |
| 時程  | 過程            | ○ねらい<br>めあて  | 評価の観点  |   |   | 評価項目<br>〈方法〉   |
|   |               |  | 知  | 思 | 態 |  |
| 第1時   | つかむ           | ○一番大事なものについて話し合うことを確認し、学習の見通しをもって、自分の考えをもつことができるようにする。 | ●  |   | ● | 思考に関わる語句を使っている。〈観察・シート〉<br>これからの生活で、自分が大切にしていきたいものなどについて考えようとしている。〈観察・シート〉                 |
| <div>単元の学習課題</div> <div>自分の考えを広げたりまとめたりできるように、いちばん大事なものについて話し合おう。</div> |               |  |  |   |   |  |
| 第2時   | 追究する          | ○互いの立場や意図を明確にしながら、対話を重ねることを通して、自分の考えを広げることができるようにする。   | ●  | ● | ○ | 思考に関わる語句を使っている。〈観察・シート〉<br>友達の考えや意見をメモして自分の考えを広げている。〈シート〉<br>三人組で互いの考えを聞き合おうとしている。〈観察・シート〉 |
| <div>[本時の学習課題]</div> <div>三人組で話し合い、自分の考えを広げよう。</div>                    |               |  |  |   |   |  |

|  |     |  |   |   |   |  |
|--|-----|--|---|---|---|--|
| 第3時  | まとめ | ○単元全体を振り返ることを通して、変わったり深まったりした自分の考えをまとめ、考えを広げるのに大切なことを理解できるようにする。 | ○ | ○ | ○ | 思考に関わる語句を使っている。〈シート〉<br>変わったり深まったりした考えをまとめている。〈シート〉<br>三人組で互いの考えを聞き合おうとしている。〈観察〉 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>[本時の学習課題]</b></p> <p>「いちばん大事なものは」をふり返って、自分の考えをまとめ、考えを広げるのに大切なことを確かめよう。</p> </div> |     |  |   |   |   |  |

## 6 本時の展開（1／3）

- (1) **ねらい** 一番大事なものについて話し合うことを確認し、学習の見通しをもって、自分の考えをもつことができるようにする。
- (2) **準備** CD 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|--|-----|--|
| 1 教師の話聞き、単元の学習課題を設定する。<br>・大切なものを考えるんだ。<br>・わたしだったら何だろう。<br>・友達の考えを聞きたい。<br>・話し合うとくわしくなると思う。   | 10分 | ○まず、教師が、自分がこれから大切にしていきたいものについて伝えて、児童に投げ掛ける。<br>○これからの生活で、自分がどのようなものや考え方を大切にしていきたいと考えているかを友達と話し合うことを確認する。<br>◎児童用学習シートに単元の課題を記入するよう声を掛ける。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>単元の学習課題</b></p> <p>自分の考えを広げたりまとめたりできるように、いちばん大事なものについて話し合おう。</p> </div> |     |  |
| 2 本時のめあてをつかむ。<br>・新しい学習だから、計画を立てる。<br>・どのような学習をするか、確認する。   |     | ○本時は単元の課題を理解し、どのような学習をしていくか見通しをもつことがめあてであることを伝える。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>[本時の学習課題]</b></p> <p>学習を見通し、自分の考えをもって、いちばん大事なものを決めて書こう。</p> </div>      |     |  |
| 3 手本のCDを聞いた後、自分の考えを発表し合う。<br>・僕は明るい心が一番だと思う。<br>・私は人と仲良くすること。  | 30分 | ○児童とやり取りをしながら、単元の課題を解決するために必要なことを考えさせていく。<br>○考えが決まった児童から発表させ、多様な観点から考えてよいことを示す。   |
| 4 思考に関わる言葉を確認する。   |     | ○CDの内容やこれまでの学習で出てきた思考に   |

|  |    |  |
|--|----|--|
| <p>・思う      ・考える      ・気付く</p> <p>5 自分にとって大切なものや考え方を決めて、その理由や経験したことなどを書く。</p> <p>・笑顔で過ごすことが一番大切だと思う。笑顔で過ごすと、毎日が楽しくなるから。</p> <p>・僕はサッカーが好きだから、一緒に遊んでくれる友達が大切だと思う。</p> |    | <p>関わる言葉を確認し、積極的に使うよう促す。</p> <p>○自分の考えをはっきりさせることができるよう、書く時間を十分に確保する。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎友達の発表を参考にしたり、好きなことを考えたりするよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇思考に関わる語句を使っている。【知識・技能】(観察・シート)</p> <p>◇これからの生活で、自分が大切にしていきたいものなどについて考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>6 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <p>・みんなの大切なことを聞いてみたい。</p> <p>・自分の考えを聞いてほしい。</p>  | 5分 | <p>◎一番大事なものについて話し合うことに対して思っていることを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、三人一組で話し合うことを伝える。</p>   |

## 板書計画

|  |  |   |  |   |
|--|--|---|--|---|
| <p>まとめ</p> <p>自分の考えを書いて、それをもとに友達と話し合って、考えを広げていく。</p> | <p>自分にとって大切なものや考え方を決めて書こう。</p> <p>・理由</p> <p>・経験</p> | <p>これからの生活の中で、どのようなものや考え方を大切にしていきたいと考えているか。</p> <p>・明るい心</p> <p>・人と仲よくすること</p> <p>・笑顔</p> | <p>めあて</p> <p>学習を見通し、自分の考えをもって、</p> <p>いちばん大事なものを決めて書こう。</p> | <p>単元の課題</p> <p>自分の考えを広げたりまとめたりできるように、</p> <p>いちばん大事なものについて話し合おう。</p> <p>いちばん大事なものは</p> |
|--|--|---|--|---|

## 本時の展開（２／３）

- (1) **ねらい** 互いの立場や意図を明確にしながら、話し合いを通して、自分の考えを広げることができるようにする。
- (2) **準備** タブレット 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|---|-----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・三人で話し合う。<br>・友達の大切なものを早く聞きたい。<br>・どうして大切かを聞いてみよう。  | 5分  | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、自分が大切にしていきたいものや考え方について決めて書いたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>[本時の学習課題]</b><br/>           三人組で話し合い、自分の考えを広げよう。         </div>  |     |  |
| 2 交流の仕方を確認する。<br>・三人組で3回話し合うんだ。<br>・タブレットで撮影しておくんだ。<br>・メモを取りながら聞けるとよいんだな。<br>・メモできなかったら、後でタブレットを見よう。   | 35分 | ○児童の実態に応じて、教師側で三人組を3回分設定しておく。<br>○自分との共通点や相違点を明確にしたり、自分では気付かなかった考え方を理解したりできるように、メモを取りながら聞くよう助言する。<br>○三人での話し合いを各自のタブレットで撮影して確認できるようにしておくことで、振り返ってメモできるようにする。<br>○話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。<br>○互いの考えを否定することなく、尊重しながら話し合いを進めるよう伝える。<br>○友達の考えを聞いていくうちに考えが変わったり広がったりしたことを次の話し合いに生かすよう助言する。<br>○2回目以降は、前のグループでどのような話が出てきたかを共有するよう伝える。<br>○メモが不十分な場合は、タブレットの映像を見返し、メモを取るよう促す。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。 |
| 3 メンバーを入れ替えながら、三人組で3回話し合う。<br>・僕が一番大切だと思うのは、友達だよ。<br>・どうして、友達が大切なのか。<br>・一緒に遊ぶのが楽しいから。二人は何が大切だと思うのか。<br>・私は、笑顔だな。<br>・僕は読書が大切だと思う。○○さんはどうして笑顔が大切だと思ったのか。<br>・笑顔を見るとうれしくなるし、笑顔だと楽しい気持ちになるから。<br>・みんな笑顔だとよいよね。友達が笑顔でいると、仲良く楽しく遊べるし。 |     | (C) ◎前時で確認した言葉を示す。話す順番や立場を確認して整理したり、話題を明確にできるよう具体的に問いかけたりする。話をよく聞き、思ったことや自分の考えを伝えるよう声を掛ける。<br>(教師用単元シートにある手立て)   |

|   |    |   |
|---|----|---|
|   |    | ◇思考に関わる語句を使っている。【知識・技能】（観察・シート）<br>◇友達を考えや意見をメモして自分の考えを広げている。【思考・判断・表現】（シート）<br>◇三人組で互いの考えを聞き合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】（観察・シート） |
| 4 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・いろいろ聞かれたので、考えが詳しくなった。<br>・何がどう大切かを考えられた。 | 5分 | ◎多くの友達と話し合い、自分の考えがどうなったかを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、この単元のまとめをすることを伝える。  |

#### 板書計画

|   |  |
|---|--|
| 三回目<br>二回目<br>一回目<br>三人組のグループ   | いちばん大事なものは<br>めあて 三人組で話し合い、自分の考えを広げよう。 |
| ◎各自のタブレットでさつえい（録音）しながら話し合う。<br>○メモを取りながら聞く。<br>○終わったら、メモをまとめたり、タブレットで見返してメモを取ったりする。 | まとめ 三人組で三回話し合って、自分とはちがう考えが分かった。        |

#### 本時の展開（3／3）

- (1) **ねらい** 単元全体を振り返ることを通して、変わったり深まったりした自分の考えをまとめ、考えを広げるのに大切なことを理解できるようにする。
- (2) **準備** タブレット 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|---|----|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・最後の時間だからまとめだね。<br>・最初の考えに付け足したいな。<br>・変わったところがあるよ。 | 5分 | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、三人組で3回話し合って、考えを広げたことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声 |

|   |     |  |
|---|-----|--|
|   |     | を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>【本時の学習課題】</b></p> <p>「いちばん大事なものは」をふり返って、自分の考えをまとめ、考えを広げるのに大切なことを確かめよう。</p> </div>   |     |  |
| <p>2 自分の考えをまとめ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は、明るい心が一番だと思っていましたが、〇〇さんの話を聞いているうちに、明るく過ごすには健康な体でいることも大切だと気付きました。だから、これからは、自分の心と体を大切にしていきたいと思います。</li> <li>・僕は、友達が一番大切だと考えています。でも、□□君の考えを聞いて、友達を大切にするにはどうすればよいか考えようと思いました。</li> </ul> <p>3 初めの三人組で、まとめ直した考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めに言っていたことが詳しくなったね。</li> <li>・前に言っていたことと関係があるけど、変わったんだね。</li> </ul> <p>4 自分の考えを広げるのに大切なことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと比べながら、友達の話聞く。</li> <li>・友達になぜそう考えるかを聞いてみる。</li> <li>・いろいろな話を聞いて、自分の考えと同じところや違うところを考える。</li> </ul> | 30分 | <p>○対話を通して、変わったり深まったりした自分の考えをまとめることで、新たな意味付けを自覚できるようにする。</p> <p>◎これまでの学習をふり返れるように、本単元の児童用学習シートを返却する。</p> <p>○必要に応じて、タブレットの映像を確認することを伝える。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎思考を表す言葉を確認する。前時のメモなどを一緒に見直し、最初にした考えに付け足したり、変えたりすることを確認する。話をよく聞き、思ったことや自分の考えを伝えるよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>○自分の考えの変容だけでなく、友達の変容を確認し、自分の話が人に影響を与えることを実感できるよう、最初のメンバーでの交流を設定する。</p> <p>○「話を聞く。」「話をする。」だけでなく、どのような聞き方をすればよいか、何を聞けばよいか等を考えられるよう助言する。</p> <p>○教科書P95「いろいろな考え方を聞いて、自分の考えにいかす」を参考にするよう声を掛ける。</p> <p>◇思考に関わる語句を使っている。【知識・技能】(観察・シート)</p> <p>◇変わったり深まったりした考えをまとめている。【思考・判断・表現】(シート)</p> <p>◇三人組で互いの考えを聞き合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察)</p> |
| <p>5 単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じことでも、人によって見方や考え方が違うことが分かった。これからは、何か考えるときに、いろいろな人の意見を聞いてみたい。</li> </ul>   | 10分 | <p>◎単元を通して学んだことと今後それをどのように生かせるかについて、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p>  |

いちばん大事なものは

めあて

「いちばん大事なものは」をふり返って、  
自分の考えをまとめ、考えを広げるのに  
大切なことを確かめよう。

三人組で三回話し合ったことをもとに、自分の  
考えをまとめ直そう。

- ・考えが変わったところ
- ・考えが深まったところ
- ・だれのどのような考えや言葉を聞いて

初めの三人組

初めの考えから

- ・変わったこと
  - ・深まったこと
- について伝え合おう。

考えを広げるには

- ・自分の考えと比べながら友達の話を聞く。
- ・いろいろな人と話してみる。
- ・自分の考えと同じところや違うところを  
考えながら話を聞く。
- ・その人がなぜそう考えるのかを聞いて、  
理由や背景を理解する。
- ・立場の違う人の意見を聞く。



単元シート「いちばん大事なものは」

| 知識・技能                            | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|----------------------------------|---|--|
| ①思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。(1)オ | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) | ①積極的に自分の考えを広げたりまとめたりしながら、学習の見通しをもって互いの考えを聞き合おうとしている。 |

|   | 学習活動  | 「おおむね満足できる」状況(B)                            | 「努力を要する」状況(C)への手立て                           |
|---|---|---|--|
| 1 | 学習を見通し、自分の考えをもって、大切なものや考え方を決めて書く。                         | これからの生活で、自分が大切にしていきたいものなどについて考えようとしている。(主①) | 友達の発表を参考にしたり、好きなことを考えたりするよう声を掛ける。            |
|   |   |   |  |
|   |   | 思考に関わる語句を使っている。(知①)                         | 確認した言葉を使うよう促す。                               |
|   |   |   |  |
| 2 | 三人組で3回話し合い、自分の考えを広げる。                                     | 思考に関わる語句を使っている。(知①)                         | 前時で確認した言葉を示す。                                |
|   |   |   |  |
|   |   | 友達の考えや意見をメモして自分の考えを広げている。(思①)               | 話す順番や立場を確認して整理したり、話題を明確にできるよう具体的に問い掛けたりする。   |
|   |   |   |  |
|   |   | 三人組で互いの考えを聞き合おうとしている。(主①)                   | 話をよく聞き、思ったことや自分の考えを伝えるよう声を掛ける。               |
|   |   |   |  |
| 3 | 単元全体を振り返ることを通して、変わったり深まったりした自分の考えをまとめ、考えを広げるのに大切なことを確かめる。 | 思考に関わる語句を使っている。(知①)                         | 思考を表す言葉を確認する。                                |
|   |   |   |  |
|   |   | 変わったり深まったりした考えをまとめている。(思①)                  | 前時のメモなどを一緒に見直し、最初にした考えに付け足したり、変えたりすることを確認する。 |
|   |   |   |  |
|   |   | 三人組で互いの考えを聞き合おうとしている。(主①)                   | 話をよく聞き、思ったことや自分の考えを伝えるよう声を掛ける。               |
|   |   |   |  |

「いちばん大事なものは」① 名前

|       |
|-------|
| 単元の課題 |
|-------|

|     |
|-----|
| めあて |
|-----|

これからの生活で、大切にしていきたいものや考え方

大切にしていきたいものや考え方を決めて、理由や経験を書こう。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

|     |
|-----|
| お返し |
|-----|

お返し

|      |
|------|
| 先生より |
|------|

「いちばん大事なものは」② 名前

単元の課題

めあて

× 1回目

2回目

3回目

まとめ

振り返り

先生より

「いちばん大事なものは」③ 名前

## 単元の課題

248

三人組で三回話し合って、変わったり深まったりした考えをまとめよう。

[illegible]

自分の考えを広げるのに大切なこと

「ちばん大事なものは」の振り返り

先生より

## 国語科学習指導案

令和3年11月 6年1組教室 指導者 研究協力校教諭

1 単元名 目的や条件に応じて、計画的に話し合おう「みんなで楽しく過ごすために」

### 2 考察

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。（知識及び技能（1）イ）」「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。（思考力・判断力・表現力等A（1）オ）」「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。（思考力・判断力・表現力等A（1）ア）」を受けて、設定したものである。

児童は、5年まで、身近な話題で「考えを広げる話し合い」と「考えをまとめる話し合い」を区別しながら、合意形成を図っていく話し合いの学習を続けてきた。9月の「対話の練習をしよう」では、話し合いを通して、自分の考えを広げたりまとめたりする学習を行った。本単元では、その学習を生かしながら、目的や条件に応じて計画的に話し合う学習を行う。学校生活を楽しむために、児童がグループで試行錯誤しながら身近で解決でき、自分と違う立場を考慮するような話題が適している。

指導事項に関わる内容としては、6年間最後の「話し合うこと」の単元として、進行計画を立てること、主張・理由・根拠を明確にして自分の考えをまとめておくこと、目的や条件に照らして話し合い、問題点を明らかにしながら協働的に解決策を創出することを学習する。実生活に生きる話し合いは、一度決めたことを基に試行錯誤しながら最適解を探し続ける過程であることを踏まえ、試行することで新たな課題を見付け、それを乗り越えるための話し合いができるようにする。

言語活動に関わる内容としては、小グループで、多様な立場から出された意見を検討し、まとめていく活動である。リラックスして話し合い、試行錯誤を許容できる雰囲気が大事である。その土台があることで、新しいアイデアを作り出す創造性も育みやすいと考える。話し合う際には、互いの主張に対して反論するなど、言いにくいことを伝える場面も出てくるだろう。「人」と「意見」を区別して、話し合いの中の意見は全て、よりよい結論を見付け出すためのものだということを確認する必要がある。

#### (2) 指導方針

- ・教師が、学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができ、教師用単元シートを作成する。授業時間内の児童の見取りや評価、「努力を要する」(C)の児童に対する授業中や授業後の支援に活用する。
- ・児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことのできる児童用学習シートを作成する。単位時間ごとに児童が記入し、自己の学びの整理や学んだ内容の再確認などに活用できるようにする。
- ・話し合いの仕方や進行の様子の確認では、付録のCDを活用する。
- ・最高学年としての意識をもち、目的や条件について自分たちで考えることで、主体的に話し合いに臨むことができるようにする。
- ・自分の考えが採用されるかどうか意識が向くことを避けられるよう、各自の意見を基にしながら、それらを組み合わせたりブラッシュアップさせたりして最適解を見付ける話し合いであることを伝える。
- ・質問や疑問を出してそれぞれの考えを明確にしていく「広げる話し合い」と、目的や条件に照らし合わせたり、実際に試して検証したりして決定していく「まとめる話し合い」があることを確認する。

- ・目的や条件、進行計画、時間配分を全員が意識しながら学習できるように、掲示物にまとめたりタイマーを用意したりする。
- ・話し方、聞き方を確認してから話合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。
- ・各自のタブレットで話合いを録画して、実際の話合いの様子を振り返ることができるようにする。
- ・教師用単元シートの記録を児童用学習シートの助言に生かしたり、児童用学習シートの記述から実態を捉えて学習活動の再考や留意点の加筆を行ったりするなど、二つのシートをつなげる指導を行う。
- ・授業中、児童への支援や見取り、その記録に、教師用単元シートを活用する。『『おおむね満足できる』状況（B）』の欄には、質的な高まりや深まりをもっている児童の名前や様子を、『『努力を要する』状況（C）への手立て』の欄には、支援を行った児童の名前と様子や具体的な手立てなどを記録する。
- ・児童用学習シートは授業後に集約し、児童の記述を評価に生かしたり、教師が授業中に見取った様子や児童の記述をもとに助言を記入したりする。
- ・授業中の見取りや児童の記述から児童の実態を踏まえて、学習活動を再考したり、特に留意すべき点を考えたりして、教師用単元シートの「学習活動」の欄に記入する。
- ・互いの考えを否定することなく、尊重しながら話合いを進めるよう伝える。
- ・仮の結論を実際に試すのは、他教科等の時間を活用したり、危険のないよう場所を確保したりして、課外での活動とし、児童が十分に試行錯誤できるようにする。

### 3 研究との関わり

平成28年12月に、中央教育審議会において、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が示された。そこでは、新しい学習指導要領等に向けて、改善すべき事項をまとめ、枠組みを考えていくことが必要となる点の一つとして、『『何が身に付いたか』（学習評価の充実）』を挙げている。それを受けて、「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（平成31年1月）では、学習評価の改善の基本的な方向性として、「児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと」「教師の指導改善につながるものにしていくこと」が示された。それらの答申や報告などを踏まえて国立教育政策研究所で作成された『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』（令和2年3月）に、「学習指導要領改訂の趣旨を実現するためには、学習評価の在り方が極めて重要であり、すなわち、学習評価を真に意味あるものとし、指導と評価の一体化を実現することがますます求められている」とある。単に評価をして終わりにすることなく、毎時間の学習評価を充実させ授業改善につなげることが必要である。

小学校学習指導要領（平成29年3月公示）では、全ての教科等の目標及び内容を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理し、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確化された。そして、教育目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理された。社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育むことが求められている。

令和3年度学校教育の指針（群馬県教育委員会）には、国語の授業改善のポイントとして、「ねらいを明確にした交流活動を設定」することが掲げられている。学びを深める交流活動を行うためには、相手に伝わるように話したり、話し手の伝えたいことの中心を捉えて聞いたりする力が不可欠であり、「話すこと・聞くこと」の指導の充実が重要であると考ええる。

研究協力校では、「話すこと・聞くこと」の力の個人差が大きく、自分の考えを相手に伝わるように話したり、相手の意図していることや話の要点を考えながら聞いたりすることが難しい児童もいる。教師側の課題としては、「話すこと・聞くこと」の学習場面で単元を通して必要な評価を行うことが難しく、指導改善につなげることが難しい現状がある。これらの課題からも、教師が毎時間の評価を指導改善に



つなげ、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高める工夫が必要であると考え。

以上のことから、本研究は、小学校国語科の「話すこと・聞くこと」領域が含まれる単元での指導において、教師が学習活動、おおむね満足できる児童の状況、努力を要する児童への手立てを明確にすることができる教師用単元シートと児童が単位時間のめあてから振り返りまでを見通すことができる児童用学習シートをつなげる指導を行い、児童の「話すこと・聞くこと」の力を高められることを実践を通して明らかにしていくことをねらいとしている。そのため、本単元の学習を進める中で、教師用単元シートと児童用学習シートを活用し指導改善を図っていくことを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まったかを検証するものである。

#### 4 単元目標

- 情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。（知識及び技能）
- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりするとともに、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。（学びに向かう力、人間性等）

#### 5 指導と評価の計画（全5時間予定） ●指導に生かす評価 ○評価に用いる評価

| 評価<br>規<br>準   | 知識・技能         | ①情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(1)イ）  |       |   |   |  |
|--|---------------|--|-------|---|---|--|
|  | 思考・判断・表現      | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。（A(1)オ）<br>②「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） |       |   |   |  |
|  | 主体的に学習に取り組む態度 | ①積極的に、考えを広げたりまとめたりしながら、学習の見通しをもって話し合おうとしている。   |       |   |   |  |
| 時程   | 過程            | ○ねらい<br>めあて  | 評価の観点 |   |   | 評価項目<br>〈方法〉   |
|  |               |  | 知     | 思 | 態 |  |
| 第1時  | つかむ           | ○議題を確かめ、目的と条件について考えをもつ活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。   | ●     |   | ● | 図などによる語句と語句との表し方を理解している。〈観察・シート〉<br>目的や条件に応じて、議題に関わる課題意識を明確にし、見通しをもって話し合おうとしている。〈観察・シート〉 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>単元の学習課題</b><br/>           考えを広げたりまとめたりできるように、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。         </div> |               |  |       |   |   |  |
| 第2時  | 追究            | ○進行計画と話し合いのポイントを確認し、グループの中で役割を決め、主張  | ○     | ○ |   | 自分の考えを、主張、理由、根拠に分けて、図などで整  |

|     |      |   |   |   |  |
|-----|------|---|---|---|--|
|     | する   | <p>や理由、根拠が明確になるように自分の考えをまとめることができるようにする。</p> <p><b>【本時の学習課題】</b><br/>進行計画と話し合いのポイントを確認し、役割を決め、自分の考えをまとめよう。</p>                |   |   | 理している。〈シート〉<br>目的や条件に沿った計画的な話し合いのために、主張することを決め、伝える内容を考えている。〈観察・シート〉                    |
| 第3時 |      | <p>○目的や条件に応じて計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりできるようにする。</p> <p><b>【本時の学習課題】</b><br/>進行計画に沿って、話し合おう。</p>                                 |   | ● | 互いの立場を明確にして進行計画や話し合いのポイントに沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。〈観察・シート〉                            |
| 第4時 |      | <p>○決まったことを実際に試したことを基に、改善点について更に話し合うことができるようにする。</p> <p><b>【本時の学習課題】</b><br/>実際にやってみたことをもとに、よりよくなるように話し合おう。</p>               | ○ | ○ | よりよい解決に向けて話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。〈観察・シート〉<br>よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。〈観察・シート〉       |
| 第5時 | まとめる | <p>○単元全体を振り返る活動を通して、計画的な話し合いについてまとめることができるようにする。</p> <p><b>【本時の学習課題】</b><br/>「みんなで楽しく過ごすために」をふり返って、計画的に話し合うときのポイントをまとめよう。</p> | ○ | ○ | 目的や条件に応じて計画的に話し合うことについてまとめている。〈観察・シート〉<br>学習を振り返り、今後の話し合いでも今回の学びを生かしていこうとしている。〈観察・シート〉 |

## 6 本時の展開（1／5）

- (1) **ねらい** 議題を確かめ、目的と条件について考えをもち計画を確認する活動を通して、学習の見通しをもつことができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|---|
| <p>1 「対話の練習をしよう」での学習を振り返ったり、単元名や教材名から学ぶことを想像したりして、単元の学習課題を設定する。</p> <p>・計画的に話し合うんだ。</p> <p>・この前の対話の練習では、友達の話</p> | 10分 | <p>○「話す・聞く」の前単位では、考えを広げたりまとめたりしたことを想起させ、本単位での学習で生かすことを確認する。</p> <p>○グループで、目的と条件に応じて計画的に話し合う活動であることを伝える。</p> <p>◎児童用学習シートに単元の課題を記入するよう</p> |

|   |     |   |
|---|-----|---|
| を聞いて自分の考えが広がった。<br>・考えをまとめた。<br>・何について話し合えばよいかな。  |     | 声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>単元の学習課題</b><br/>         考えを広げたりまとめたりできるように、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。       </div>  |     |   |
| 2 本時のめあてをつかむ。<br>・新しい学習だから、計画を立てる。<br>・どのような学習をするか、確認する。  |     | ○本時は単元の課題を理解し、学習の見通しをもつことがめあてであることを伝える。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>[本時の学習課題]</b><br/>         議題を決め、目的や条件を考えて、学習の見通しをもとう。       </div>   |     |   |
| 3 議題を確かめ、目的と条件について考え、単元全体の見通しをもつ。<br>・委員会のことを分かってもらえるように、仕事や活動している様子を全校に知らせるのはどうか。<br>・どうしたら、縦割り班でしっかり清掃に取り組めるか話したい。<br>・1年生と交流して、もっと仲良くなれるようにしたい。<br>4 図などによる語句と語句の表し方を確認する。<br>・表にすると分かりやすい。<br>・言葉を四角で囲むと見やすい。 | 30分 | ○今まで6年生として、学校や地域の行事の中心となって活動してきたことを思い出すよう声を掛ける。<br>○自分たちが中心となって何を決める必要があるのかを考えて出し合い決められるようにする。<br>○議題の目的や条件を考える時間を確保する。<br>○ここで挙げた条件が、この後の話し合いで常に意識していくものであることを確認する。<br>○教科書 P132 を参考に、単元の学習の進め方を確認する。<br>○次時で自分の考えまとめるときに図などを活用できるよう、教科書を参考にして確認できるようにする。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(C) ◎教科書や板書を参考にするよう声を掛ける。<br>(教師用単元シートにある手立て)<br>◇図などによる語句と語句との表し方を理解している。【知識・技能】(観察・シート)<br>◇目的や条件に応じて、議題に関わる課題意識を明確にし、見通しをもって話し合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート) |
| 5 本時の学習のまとめと振り返りをする。<br>・他の人の考えを聞いてみたい。<br>・自分の考えをまとめて、話せるようにしたい。   | 5分  | ◎議題について計画的に話し合うことに対して思っていることを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>○次時は、話し合いの進行計画を立て、自分の考えをまとめることを伝える。  |

## 板書計画

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>まとめ</p> <p>議題</p> <p>〇〇〇について考える</p> <p>目的</p> <p>△△△してみんなで楽しく過ごす</p> <p>条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間</li> <li>・場所</li> <li>・約束</li> <li>・約束</li> </ul> | <p>話し合うことと目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会のことを分かってもらえるように、仕事や活動している様子を全校に知らせるのとはどうか。</li> <li>・どうしたら、縦割り班でしっかり清掃に取り組めるか話し合いたい。</li> <li>・1年生と交流して、もっと仲良くなれるようにしたい。</li> </ul> | <p>みんなで楽しく過ごすために</p> <p>単元の課題</p> <p>考えを広げたりまとめたりできるように、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。</p> <p>めあて</p> <p>議題を決め、目的や条件を考えて、学習の見通しをもとう。</p> |
|--|---|---|

## 本時の展開（2／5）

- (1) **ねらい** 進行計画と話し合いのポイントを確認し、グループの中で役割を決め、主張や理由、根拠が明確になるように自分の考えをまとめることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート CD
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇について話し合うことになった。</li> <li>・目的は、△△△だ。</li> <li>・今日は、話し合いの進行計画を立てる。</li> <li>・話し合いのために、自分の考えをまとめないと困る。</li> </ul> | 5分  | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、議題を確かめ、目的や条件を考え、単元の学習の見通しをもったことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p>      |
| <p><b>【本時の学習課題】</b></p> <p>進行計画と話し合いのポイントを確認し、役割を決め、自分の考えをまとめよう。</p>   |     |   |
| <p>2 進行計画とよりよい話し合いをするためのポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、自分の考えと理由を伝える。</li> <li>・目的や条件に合うように考えを選んだりまとめたりする。</li> <li>・司会や記録係、時間配分を決めて話</li> </ul>               | 35分 | <p>○具体的な話し合いの様子を捉えやすいよう、付録のCDを活用する。</p> <p>○話し合うときの役割、意見の出し方、記録の取り方など、教科書を参考にするよう声を掛ける。</p> <p>○自分の考えが採用されるかどうか意識が向くことを避けられるよう、各自の意見を基にしながら</p> |

|  |           |   |
|--|-----------|---|
| <p>し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを広げる話合いと考えをまとめる話合いがある。</li> </ul> <p>3 グループごとに、話合いの役割を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、最初に司会をする。</li> <li>・次は、私が司会をする。</li> <li>・記録は、ぼくから交代でしょうか。</li> </ul> <p>4 議題に対して自分の考えを明確にし、主張、理由、根拠を整理して、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇〇〇がよいと思う。△△△だから。□□□□ができた。</li> <li>・△△△をしたい。□□□だから。〇〇〇したことがある。</li> </ul> |           | <p>ら、それらを組み合わせたりブラッシュアップさせたりして最適解を見付ける話合いであることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○質問や疑問を出してそれぞれの考えを明確にしていく「広げる話合い」と、目的や条件に照らし合わせたり、実際に試して検証したりして決定していく「まとめる話合い」があることを確認する。</li> <li>○児童の実態に応じて、教師側で五人組6グループを設定しておく。</li> <li>○主張、理由、根拠に分けて整理してまとめるよう伝える。</li> <li>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</li> <li>(C) ◎前時の図などによる語句と語句の表し方を示す。教科書や板書で進行計画を確認するよう伝え、主張をまとめられるよう、例や選択肢を示したり担任が聞き取ったりする。(教師用単元シートにある手立て)</li> <li>◇自分の考えを、主張、理由、根拠に分けて、図などで整理している。【知識・技能】〈シート〉</li> <li>◇目的や条件に沿った計画的な話合いのために、主張することを決め、伝える内容を考えている。【思考・判断・表現】〈観察・シート〉</li> </ul> |
| <p>5 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題に合ったことが考えられた。自分の意見が決まったので、早く話合いをしたい。</li> </ul>  | <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の考えをまとめたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</li> <li>○次時は、進行計画に沿って話し合うことを伝える。</li> </ul>  |

## 板書計画

|   |   |  |   |                           |   |
|---|---|--|---|---------------------------|---|
| <p>みんなで楽しく過ごすために<br/>めあて 進行計画と話し合いのポイントを確認して、役割を決め、自分の考えをまとめよう。</p> | <p><b>進行計画</b></p> <p>①一人ずつ意見を出し合う。<br/>②たがいに質問し合い、疑問点などを明らかにする。 <span style="float:right">広げる</span><br/>③目的や条件に照らして話し合い、仮の結論を決める。 <span style="float:right">話し合い</span><br/>④実際に試して、問題点がないかを確かめる。<br/>⑤必要に応じてさらに話し合い最終決定する。 <span style="float:right">まとめる</span><br/><span style="float:right">話し合い</span></p> | <p><b>広げる話し合い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結論や主張を先に言う。</li> <li>意図や理由・根拠をたずねる。</li> </ul> <p>☆まずはいろいろな意見を出し合う。</p> <p><b>まとめる話し合い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共通点や異なる点を明確にする。</li> <li>問題点と改善点を明確にする。</li> <li>目的と条件に照らして考える。</li> </ul> <p>☆目的や条件から考えの一つにまとめる。</p> <p>↓仮の結論<br/>↓実際にためして、改善点を見付ける。</p> | <p><b>役割を決める</b> グループで<br/>司会、記録係、時間係</p> | <p><b>考えをまとめる</b> 個人で</p> | <p><b>まとめ</b> 司会、記録係、時間係を決める。<br/>図などを使って表し方を工夫すると、考えを整理してまとめることができる。</p> |
|---|---|--|---|---------------------------|---|

### 本時の展開（3／5）

- (1) **ねらい** 目的や条件に応じて計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりできるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|---|
| <p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前の時間は、主張、理由、根拠に整理して考えをまとめた。</li> <li>今日は、五人で話し合うんだ。</li> <li>どのようなことがでてくるかな。</li> </ul> | 5分  | <p>◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。</p> <p>○前時は、進行計画と話し合いのポイントを確認し、役割を決めて、自分の考えをまとめたことを確認する。</p> <p>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。</p> |
| <p><b>[本時の学習課題]</b><br/>進行計画に沿って、話し合おう。</p>  |     |   |
| <p>2 進行計画に沿って話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくは〇〇〇がよいと考えます。理由は△△△だからです。</li> <li>本当に〇〇〇で楽しむことができますか。</li> <li>もっと、△△△した方がよいと思いま</li> </ul>   | 35分 | <p>○「考えを広げる話し合い」では、分からないことがあったらお互いに質問すること、「考えをまとめる話し合い」では、共通点や相違点、問題点や改善点を明確にしながら、仮の結論を決めることを確認する。</p> <p>○目的や条件、進行計画、時間配分を全員が意識</p>              |

|  |    |  |
|--|----|--|
| <p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• どの意見も、□□が同じですが、異なっているのは、×××です。</li> <li>• ○○○はよいと思いますが、×××は難しいので、△△でどうでしょうか。</li> <li>• では、△△を加えて、○○に決定します。</li> </ul> <p>3 話し合いの様子を振り返って、学習シートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 私は、○○○がよいと主張した。Aさんと同じような考えだった。△△を付け加えた方がよいことが分かった。□□という理由から、○○をすることに決まった。</li> </ul> |    | <p>しながら学習できるように、掲示物にまとめたりタイマーを用意したりする。</p> <p>○話し方、聞き方を確認してから話し合いを行い、声の大きさや聞く姿勢などに気を配り、必要に応じて声を掛ける。</p> <p>○互いの考えを否定することなく、尊重しながら話し合いを進めるよう伝える。</p> <p>○各自のタブレットで話し合いを録画して、実際の話し合いの様子を振り返ることができるようにする。</p> <p>○必要に応じて、タブレットの映像を確認することを伝える。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎話をよく聞き、思ったことや自分の考えを伝えるよう声を掛ける。グループの友達と確認しながら、話し合いのまとめをするよう助言する。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇互いの立場を明確にして進行計画や話し合いのポイントに沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> |
| <p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bさんと私の考えは、同じところがあったけど、Cさんとは××が違った。○○に決まったので、実際に試してみたいと思う。</li> </ul>  | 5分 | <p>◎話し合って考えを広げたりまとめたりしたことを振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p> <p>○次時は、実際に試したことを基に、更に話し合うことを伝える。</p>   |

#### 板書計画

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>まとめ</p> <p>「広げる話し合い」は、いろいろな意見を出し合い、質問し合う。</p> <p>「まとめる話し合い」は、共通点やちがう点、問題点と改善点を明確にし、目的や条件から考えを一つにまとめる。</p>   | <p>話し合いをふり返って、</p> <p>広げたりまとめたりしたことを書こう。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>↓実際の結論</p> <p>↓実際にためして、改善点を見付ける。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめる話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通点や異なる点を明確にする。</li> <li>・ 問題点と改善点を明確にする。</li> <li>・ 目的と条件に照らして考える。</li> </ul> <p>☆目的や条件から考えを一つにまとめる。</p> </div> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>広げる話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結論や主張を先に言う。</li> <li>・ 意図や理由・根拠をたずねる。</li> </ul> <p>☆まずはいろいろな意見を出し合う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて</p> <p>進行計画に沿って、話し合おう。</p> </div> |  |   |



本時の展開（４／５）

- (1) **ねらい** 決まったことを実際に試したことを基に、改善点について更に話し合うことができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応   | 時間  | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(c)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て   |
|--|-----|---|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・グループで話し合って、仮の結論を出した。<br>・昨日、試してみたよね。  | 10分 | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>○前時は、グループで話し合って仮の結論を出したことを確認する。<br>○課外で、実際に試してみたことを想起するよう声を掛ける。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【本時の学習課題】</b><br/>           実際にやってみたことをもとに、よりよくなるように話し合おう。         </div> |     |   |
| 2 試してみたことを基に、改善点などについて話し合う。<br>・うまくいかなかった原因はなんだろう。<br>・どうすればうまくいくかな。<br>・○○するとよい。<br>・もっと△△△することにしよう。  | 30分 | ○実際に試すのは、他教科等の時間を活用したり、危険のないよう場所を確保したりして、課外での活動とし、児童が十分に試行錯誤できるようにする。<br>○互いの考えを否定することなく、尊重しながら話し合いを進めるよう伝える。<br>○各自のタブレットで話し合いを録画して、実際の話し合いの様子を振り返ることができるようにする。<br>○必要に応じて、タブレットの映像を確認することを伝える。<br>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。<br>(c) ◎グループの友達と確認しながら、話し合いのまとめをするよう助言する。実際に活動したことを思い出したり、グループの友達の話を聞いて考えたりするよう促す。(教師用単元シートにある手立て)<br>◇よりよい解決に向け話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。【思考・判断・表現】(観察・シート)<br>◇よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート) |
| 3 話し合いの様子を振り返って、学習シートに記入する。<br>・△△を付け加えることにした。<br>・□□□がうまくいかなかったので、×××にする。<br>・○○することに最終決定した。  |     |   |
| 4 本時の学習のまとめと振り返り   |     | ◎改善点について更に話し合ったことについて   |



|  |    |   |
|--|----|---|
| をする。<br>・実際にやってみたらうまくいかないところが分かったので、もう一度話し合うことができてよかった。〇〇を付け加えたので、本番はうまくいくと思う。 | 5分 | 振り返り、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。<br>〇次時は、この単元のまとめをすることを伝える。 |
|--|----|---|

## 板書計画

|  |                                  |  |   |                                       |               |
|--|----------------------------------|--|---|---------------------------------------|---------------|
| まとめ<br>やってみて、うまくいかなかったことやその原因を考えて、改善点を話し合ってみると、よりよくなる。 | さらに話し合ったことをふり返って、広げたりまとめたことを書こう。 | まとめる話し合い<br>・共通点や異なる点を明確にする。<br>・問題点と改善点を明確にする。<br>・目的と条件に照らして考える。<br>☆目的や条件から考えを一つにまとめる。<br>↓仮の結論<br>↓実際にためして、改善点を見付ける。 | 広げる話し合い<br>・結論や主張を先に言う。<br>・意図や理由・根拠をたずねる。<br>☆まずはいろいろな意見を出し合う。 | めあて<br>実際にやってみたことをもとに、よりよくなるように話し合おう。 | みんなで楽しく過ごすために |
|--|----------------------------------|--|---|---------------------------------------|---------------|

## 本時の展開（5／5）

- (1) **ねらい** 単元全体を振り返る活動を通して、計画的な話し合いについてまとめることができるようにする。
- (2) **準備** 教師用単元シート 児童用学習シート タブレット
- (3) **展開**

| ○学習活動<br>・予想される児童の反応  | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価<br>(C)努力を要する児童への支援 ◇評価<br>◎研究上の手立て  |
|---|----|--|
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。<br>・最後の時間だからまとめだね。<br>・〇〇について話し合ってきた。<br>・計画的に話し合う学習をした。 | 5分 | ◎前時の児童用学習シートを返却し、自分の学習を振り返り、教師の助言等を確認できるようにする。<br>〇前時は、実際に試してみたことを基に、改善点について話し合ったことを確認する。<br>◎児童用学習シートに、めあてを記入するよう声を掛ける。 |
| <b>【本時の学習課題】</b><br>「みんなで楽しく過ごすために」をふり返って、計画的に話し合うときのポイントをまとめよう。                  |    |  |

|  |            |   |
|--|------------|---|
| <p>2 グループで、話し合った結果や感想、身に付いた力や気を付けたことなどについて確認し、クラスで報告し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Dさんが、××という改善点を出してくれたので、もっとよくなりました。</li> <li>・みんなの主張がばらばらだったので、初めは共通点が見つからず大変でしたが、理由を聞いたり質問し合ったりしていくうちに、だんだんまとまってきました。</li> </ul> <p>3 計画的に話し合うためのポイントをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行計画を立てておく。</li> <li>・「広げる話し合い」と「まとめる話し合い」を考えながら、話し合いを進める。</li> <li>・自分の主張、理由、根拠をはっきりさせてから話し合う。</li> </ul> <p>4 本単元で学んだことを、今後どのように生かせるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動で話し合うときには、主張だけでなく理由も考えておく。</li> <li>・委員会での話し合いでは、質問して考えを広げてから、一つにまとめる。</li> </ul> | <p>30分</p> | <p>◎これまでの学習を振り返るように、本単元の児童用学習シートの活用を促す。</p> <p>○前時までに学習したことや、進行計画、話し合いの記録、振り返りの記述などを確認するよう伝える。</p> <p>○グループで確認したことを互いに読み合えるよう、グループ活動では、デジタルホワイトボードを活用する。</p> <p>◎児童の様子を見取り、児童の名前や様子などを教師用単元シートにメモする。</p> <p>(C) ◎これまでの児童用学習シートを見返したり、教科書や各グループの報告を参考にしたりするよう促し、どこに書いてあるか一緒に確認する。今後のどのような話し合いで特にどの点を気を付けていきたいか考えて記入するよう声を掛ける。(教師用単元シートにある手立て)</p> <p>◇目的や条件に応じて計画的に話し合うことについてまとめている。【思考・判断・表現】(観察・シート)</p> <p>◇学習を振り返り、今後の話し合いでも今回の学びを生かしていこうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(観察・シート)</p> |
| <p>5 単元全体の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な話し合いの仕方が分かった。みんなの考えをまとめるのは難しかったけれど、決まってよかった。これから話し合いをするときには、自分の考えをはっきりさせて、理由も言えるようにしたい。</li> </ul>  | <p>10分</p> | <p>◎単元を通して学んだことや感じたことを、児童用学習シートに記入するよう声を掛ける。</p>  |

みんなで楽しく過ごすために

めあて 「みんなで楽しく過ごすために」をふり返  
って、計画的に話し合うときに気を付ける  
ことをまとめよう。

グループで話し合いについてふり返ろう

- ・ 結果
- ・ 感想
- ・ できたこと
- ・ 気を付けること      など

計画的に話し合うポイント

- ・ 広げる話し合いとまとめる話し合いを考える。
- ・ 広げる話し合いでは、わからないことを質問する。
- ・ まとめる話し合いでは、目的や条件に照らして考える。
- ・ 進行計画を立てる。
- ・ 役割を決める。
- ・ 主張だけでなく、理由や根拠も考える。

ここで学習したことを、

これからどのようにいかしていくか考えよう。

- ・ 学級活動で話し合うときには、主張だけでなく理由も考えておく。
- ・ 委員会での話し合いでは、質問して考えを広げてから、一つにまとめる。

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度                                |
|--|---|--|
| ①情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(1)イ) | ①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)<br>②「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) | ①積極的に、考えを広げたりまとめたりしながら、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 |

|   | 学習活動   | 「おおむね満足できる」状況(B)  | 「「努力を要する」状況(C)への手立て   |
|---|--|---|---|
| 1 | 議題を確かめ、目的と条件について考えをもつ活動を通して、学習の見通しをもつ。                       | 図などによる語句と語句との表し方を理解している。(知①)                            | 教科書や板書を参考にするよう声を掛ける。  |
|   |  |   |   |
|   |  | 目的や条件に応じて、議題に関わる課題意識を明確にし、見通しをもって話し合おうとしている。(主①)        | 教科書や板書を参考にするよう声を掛ける。  |
|   |  |   |   |
| 2 | 進行計画と話し合いのポイントを確認し、グループの中で役割を決め、主張や理由、根拠が明確になるように自分の考えをまとめる。 | 自分の考えを、主張、理由、根拠に分けて、図などで整理している。(知①)                     | 前時の図などによる語句と語句の表し方を示す。  |
|   |  |   |   |
|   |  | 目的や条件に沿った計画的な話し合いのために、主張することを決め、伝える内容を考えている。(思②)        | 教科書や板書で進行計画を確認するよう伝え、主張をまとめられるよう、例や選択肢を示したり担任が聞き取ったりする。         |
|   |  |   |   |
| 3 | 目的や条件に応じて計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりする。                          | 互いの立場を明確にして進行計画や話し合いのポイントに沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(思①) | 話をよく聞き、思ったことや自分の考えを伝えるよう声を掛ける。グループの友達と確認しながら、話し合いのまとめをするよう助言する。 |
|   |  |   |   |

|   |                                   |  |   |
|---|-----------------------------------|--|---|
| 4 | 決まったことを実際に試し、改善点について更に話し合う。       | よりよい解決に向け話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(思①)      | グループの友達と確認しながら、話し合いのまとめをするよう助言する。                               |
|   |                                   |  |   |
|   |                                   | よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。(主①)         | 実際に活動したことを思い出したり、グループの友達の話聞いて考えたりするよう促す。                        |
|   |                                   |  |   |
| 5 | 単元全体を振り返る活動を通して、計画的な話し合いについてまとめる。 | 目的や条件に応じて計画的に話し合うことについてまとめている。(思①)       | これまでの児童用学習シートを見返したり、教科書や各グループの報告を参考にしたりするよう促し、どこに書いてあるか一緒に確認する。 |
|   |                                   |  |   |
|   |                                   | 学習を振り返り、今後の話し合いでも今回の学びを生かしていこうとしている。(主①) | 今後のどんな話し合いで特にどの点に気を付けていきたいか考えて記入するよう声を掛ける。                      |
|   |                                   |  |   |

「みんなで楽しく過ごすために」① 名前

単元の課題

めあて

議題

みんなで決めた議題について、目的と条件を考えよう。

目的

条件

まとめ

振り返り

先生より

## 「みんなで楽しく過ごすために」② 名前

単元の課題

めあて

計画的な話し合いのポイントを確認しよう。

グループで役わりを決めよう。

自分の考えを書きよめよう。

|    |  |
|----|--|
| 主張 |  |
| 理由 |  |
| 根拠 |  |

まとめ

振り返り

先生より



「みんなで楽しく過ごすために」③ 名前

単元の課題

めあて

話し合いを振り返って、広げたりまとめたりしたことを書いて。

まとめ

振り返り

先生より

「みんなで楽しく過すために」④ 名前

単元の課題

めあて

やらに話し合ったことを振り返り、広げたりまとめたりしたことを書いて。

まとめ

振り返り

先生より

「みんなで楽しく過ごすために」⑤ 名前

単元の課題

めあて

計画的に話し合うポイントをもとめよう。

11で学習したことを、これからどのように生かしていくか考えよう。

「みんなで楽しく過ごすために」⑥より返す

先生より